

平成30年度

総合計画のための市民意識調査結果報告書

川口市

<目 次>

第1章 調査の概要

1. 回収結果	2
2. 報告書を読むにあたって	2
3. 標本誤差について	2
4. 調査回答者の属性	4
1) 性別	4
2) 年齢	4
3) 出生	5
4) 職業	5
5) 現在の勤務地及び学校所在地	6
6) 家族構成	6
7) 住居形態	7
8) 居住年数	7
9) 居住地域	8

第2章 調査結果

1. 川口市の居留意向	10
1) 居留意向	10
2) 居留意向（性別、性・年齢別）	11
3) 居留意向（出生別）	12
4) 居留意向（職業別）	12
5) 居留意向（勤務地別）	13
6) 居留意向（家族構成別）	13
7) 居留意向（住居形態別）	14
8) 居留意向（居住年数別）	14
9) 居留意向（地域別）	15
2. 川口市の良いところ	16
1) 良いところ、好きなおところ	16
2) 良いところ、好きなおところ（性・年齢別）	17
3) 良いところ、好きなおところ（出生別）	19
4) 良いところ、好きなおところ（勤務地別）	20
5) 良いところ、好きなおところ（住居形態別）	21
6) 良いところ、好きなおところ（居留意向別）	22
7) 良いところ、好きなおところ（地域別）	23

3. 川口市の良くないところ	24
1) 良くないところ、嫌いなところ	24
2) 良くないところ、嫌いなところ（性・年齢別）	25
3) 良くないところ、嫌いなところ（出生別）	27
4) 良くないところ、嫌いなところ（勤務地別）	28
5) 良くないところ、嫌いなところ（住居形態別）	29
6) 良くないところ、嫌いなところ（居住意向別）	30
7) 良くないところ、嫌いなところ（地域別）	31
4. 川口市の好きな場所、もの、行事	32
1) 好きな場所、もの、行事	32
2) 好きな場所、もの、行事（性・年齢別）	33
3) 好きな場所、もの、行事（勤務地別）	35
4) 好きな場所、もの、行事（居住意向別）	36
5) 好きな場所、もの、行事（地域別）	37
5. 川口市自治基本条例の周知状況	38
1) 川口市自治基本条例の周知状況	38
2) 川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）	39
6. 川口市の状況や取り組みについての実感	40
1) 状況や取り組みについての実感	40
2) 状況や取り組みについての実感（性・年齢別）	44
3) 状況や取り組みについての実感（地域別）	48
7. 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	51
1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	51
2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）	53
3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）	54
4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（地域別）	57
8. 川口市の都市整備に対する満足度	59
1) 都市整備に対する満足度	59
2) 都市整備に対する満足度（性・年齢別）	60
3) 都市整備に対する満足度（地域別）	61
9. 川口市の子育て・子育て環境づくりに対する充実度	62
1) 子育て・子育て環境づくりに対する充実度	62
2) 子育て・子育て環境づくりに対する充実度（性・年齢別）	64
3) 子育て・子育て環境づくりに対する充実度（地域別）	65
10. 合併による変化	66
1) 合併による変化	66
2) 合併による変化（性別、性・年齢別）	67
3) 合併による変化（地域別）	68

11. 町会・自治会への加入状況	69
1) 町会・自治会への加入状況	69
2) 町会・自治会への加入状況（性別、性・年齢別）	70
3) 町会・自治会への加入状況（地域別）	71
4) 町会・自治会への非加入意向の理由	72
5) 町会・自治会への非加入意向の理由（性・年齢別）	73
6) 町会・自治会への非加入意向の理由（地域別）	74
12. 相談できる人や機関	75
1) 相談できる人や機関	75
2) 相談できる人や機関（性別、性・年齢別）	76
3) 相談できる人や機関（地域別）	77
13. 便利だと考える防災・災害情報の配信方法	78
1) 便利だと考える防災・災害情報の配信方法	78
2) 便利だと考える防災・災害情報の配信方法（性・年齢別）	79
3) 便利だと考える防災・災害情報の配信方法（地域別）	80
14. 災害時の食料の備蓄	81
1) 災害時の食料の備蓄	81
2) 災害時の食料の備蓄（性別、性・年齢別）	82
3) 災害時の食料の備蓄（地域別）	83
15. 災害時に備えた持出し袋の用意	84
1) 災害時に備えた持出し袋の用意	84
2) 災害時に備えた持出し袋の用意（性別、性・年齢別）	85
3) 災害時に備えた持出し袋の用意（地域別）	86
16. 震災時における避難所の認知	87
1) 震災時における避難所の認知	87
2) 震災時における避難所の認知（性別、性・年齢別）	88
3) 震災時における避難所の認知（地域別）	89
17. インターネットの利用で使用している電子機器	90
1) インターネットの利用で使用している電子機器	90
2) インターネットの利用で使用している電子機器（性・年齢別）	91
3) インターネットの利用で使用している電子機器（地域別）	92
4) インターネットで利用しているサービス	93
5) インターネットで利用しているサービス（性・年齢別）	94
6) インターネットで利用しているサービス（地域別）	96
18. 川口市の行政情報の入手手段	97
1) 川口市の行政情報の入手手段	97
2) 川口市の行政情報の入手手段（性・年齢別）	98
3) 川口市の行政情報の入手手段（地域別）	99

19. 最も利用したい行政情報の入手手段	100
1) 最も利用したい行政情報の入手手段	100
2) 最も利用したい行政情報の入手手段（性・年齢別）	101
3) 最も利用したい行政情報の入手手段（地域別）	102
20. 日本人住民と外国人住民が互いに暮らしやすいまちだと感じるか	103
1) 互いに暮らしやすいまちだと感じるか	103
2) 互いに暮らしやすいまちだと感じるか（性別、性・年齢別）	104
3) 互いに暮らしやすいまちだと感じるか（地域別）	105
4) そう感じる理由	106
5) そう感じる理由（性・年齢別）	107
6) そう感じる理由（地域別）	108
7) そう感じない理由	109
8) そう感じない理由（性・年齢別）	110
9) そう感じない理由（地域別）	111
10) どちらともいえない理由	112
11) どちらともいえない理由（性・年齢別）	113
12) どちらともいえない理由（地域別）	114
21. 共生のために市が力を入れるべき施策	115
1) 共生のために市が力を入れるべき施策	115
2) 共生のために市が力を入れるべき施策（性・年齢別）	116
3) 共生のために市が力を入れるべき施策（地域別）	117
第3章 調査結果の分析	
1) 川口市の特徴	120
2) 川口市の課題	122
参考資料（調査票・単純集計結果）	

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 回収結果

- 本意識調査は、川口市内在住の18歳以上の男女5,000人を対象に、平成30年6月1日から6月22日にかけて郵送にて実施した。調査対象者は、住民基本台帳をもとに無作為抽出した。
- 有効回答者数は1,719、有効回答率は34.4%であった。

2. 報告書を読むにあたって

- 調査結果の%表記については、小数第2位を四捨五入した値であるため、単数回答でも合計が必ずしも100%になるとは限らない。
- 複数回答の質問は、回答数を100%として各選択肢の割合を算出しているため、合計は100%を超えている。
- 図表中のnは回答数（基数）を示している。
- 基数（n）が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- 表中の記号の意味は、以下のとおりである。

全体値より	☆：15.1ポイント以上高い	★：15.1ポイント以上低い
	○：10.1～15ポイント高い	●：10.1～15ポイント低い
	△：5.1～10ポイント高い	▲：5.1～10ポイント低い

3. 標本誤差について

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、95%の信頼度で、

$$\pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \cong \pm 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=1,719であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$\pm 2 \sqrt{\frac{0.2 \times (1 - 0.2)}{1,719}} \approx \pm 0.0193$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±1.93%の範囲内（18.07%～21.93%）にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

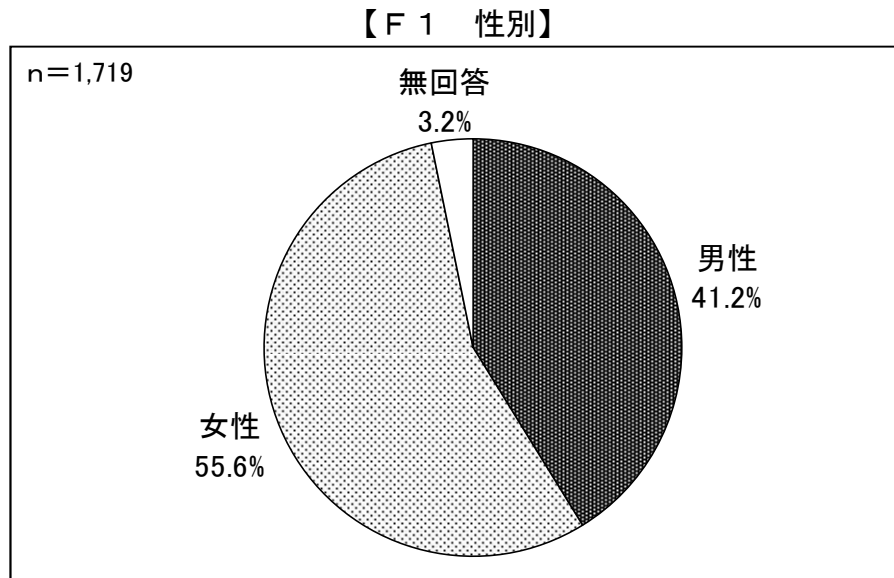
[標本誤差早見表]

基数(n)	回 答 率(P)				
	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,719	± 1.45	± 1.93	± 2.21	± 2.36	± 2.41
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
100	± 6.00	± 8.00	± 9.17	± 9.80	± 10.00

4. 調査回答者の属性

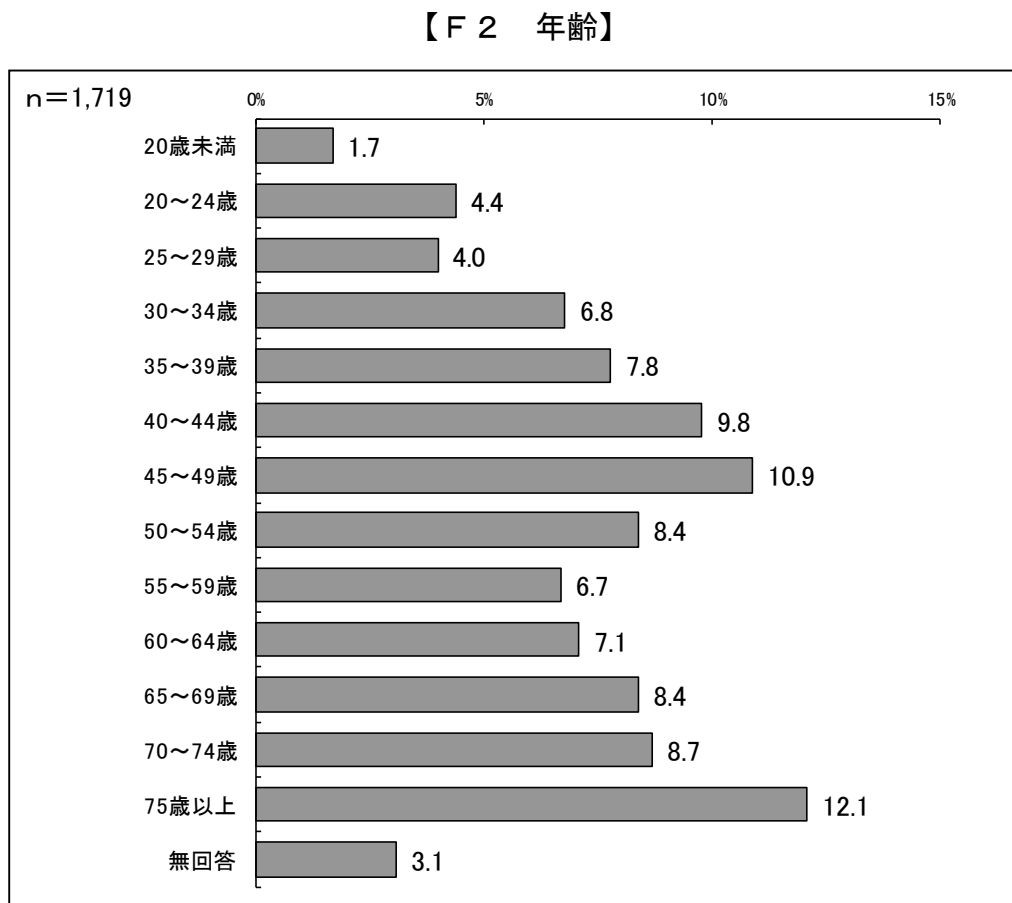
1) 性別

- 回答者の性別は、「男性」41.2%、「女性」55.6%と「女性」が高くなっている。



2) 年齢

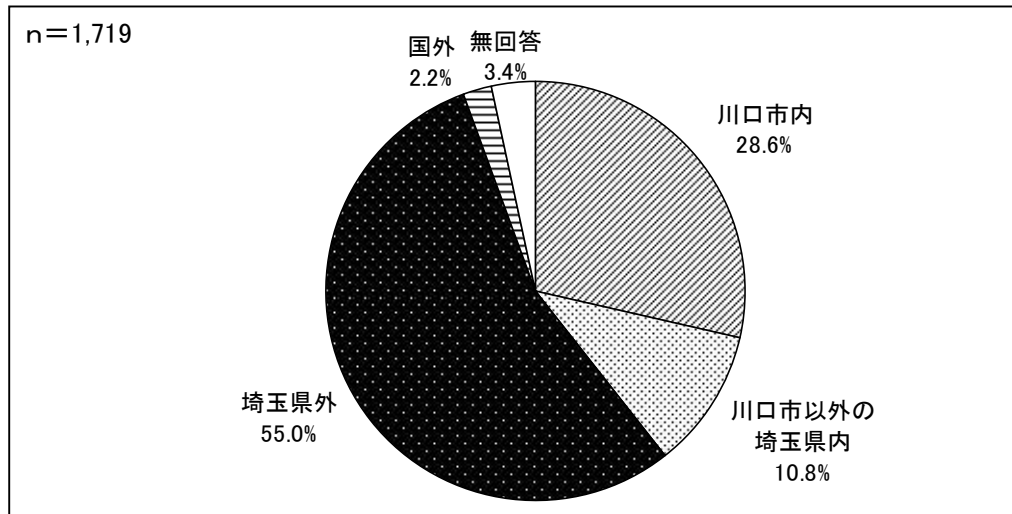
- 回答者の年齢は、「75歳以上」が12.1%と高くなっている。



3) 出生

- 回答者の出生は、「埼玉県外」が55.0%と高くなっている。

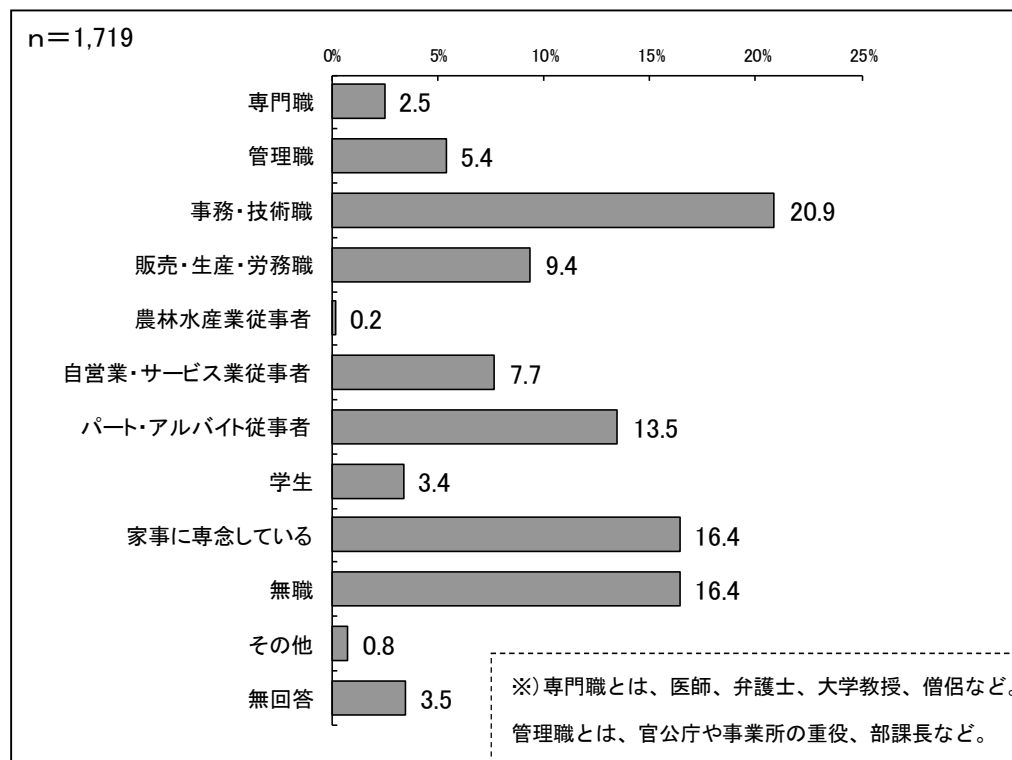
【F3 出生】



4) 職業

- 回答者の職業は、「事務・技術職」が20.9%と最も高く、次いで、「家事に専念している」、「無職」、「パート・アルバイト従事者」、「販売・生産・労務職」、「自営業・サービス業従事者」となっている。

【F4 職業】

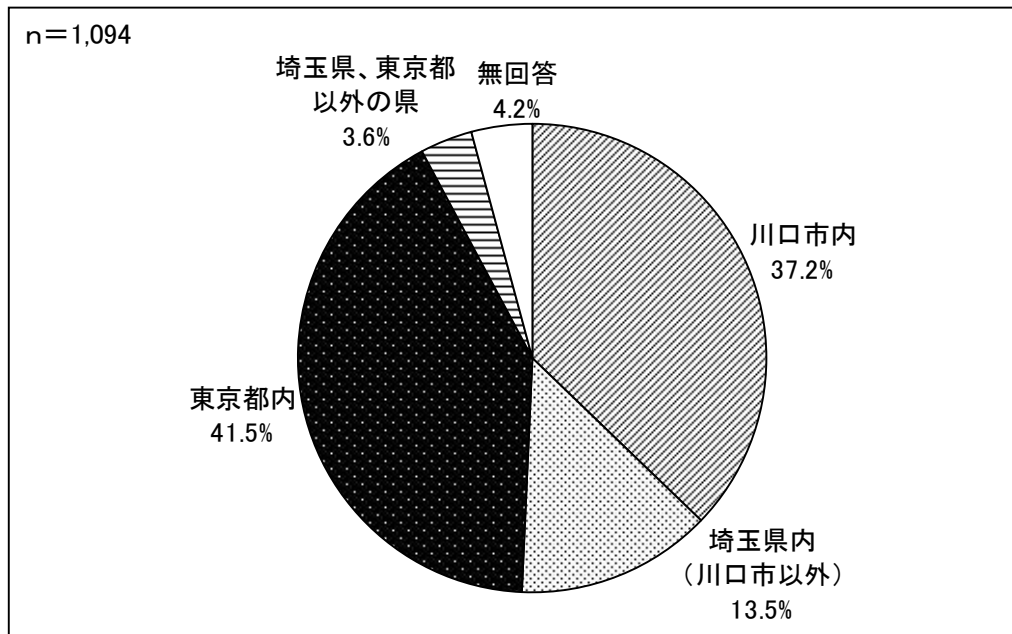


※) 専門職とは、医師、弁護士、大学教授、僧侶など。
 管理職とは、官公庁や事業所の重役、部課長など。
 事務・技術職とは、一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など。
 販売・生産・労務職とは、店員、工員、職人、運転手、作業員など。

5) 現在の勤務地及び学校所在地

- 回答者の中で就業者及び学生（家事に専念している、無職を除く）の勤務地等は、「東京都内」が41.5%と最も高く、「川口市内」が37.2%となっている。

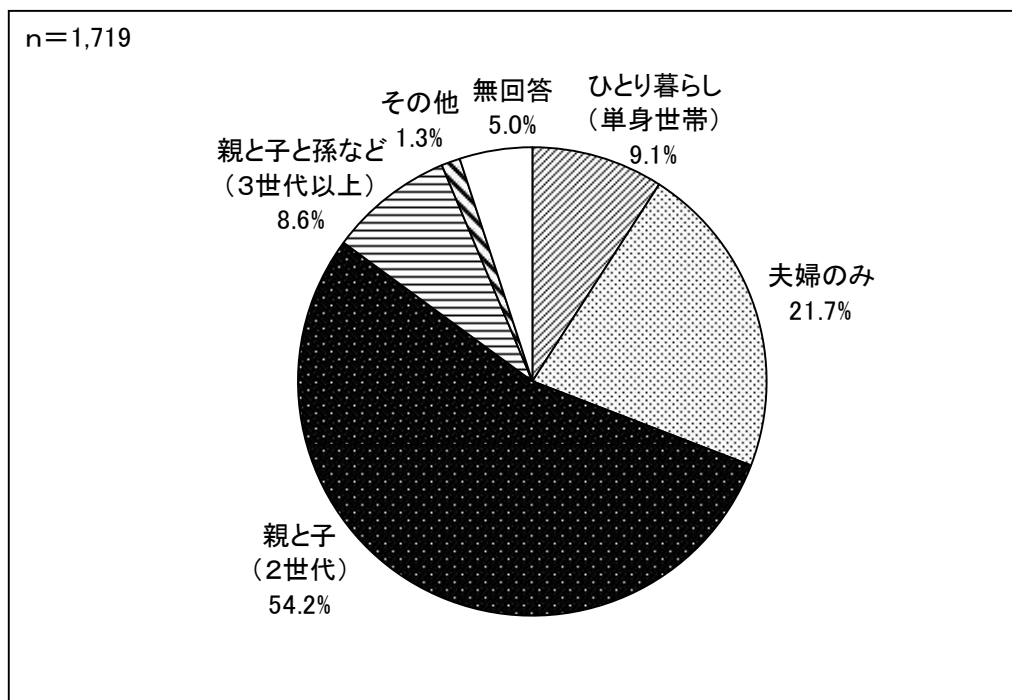
【F5 勤務地】



6) 家族構成

- 回答者の家族構成は、「親と子(2世代)」が54.2%と全体の半数以上を占めている。

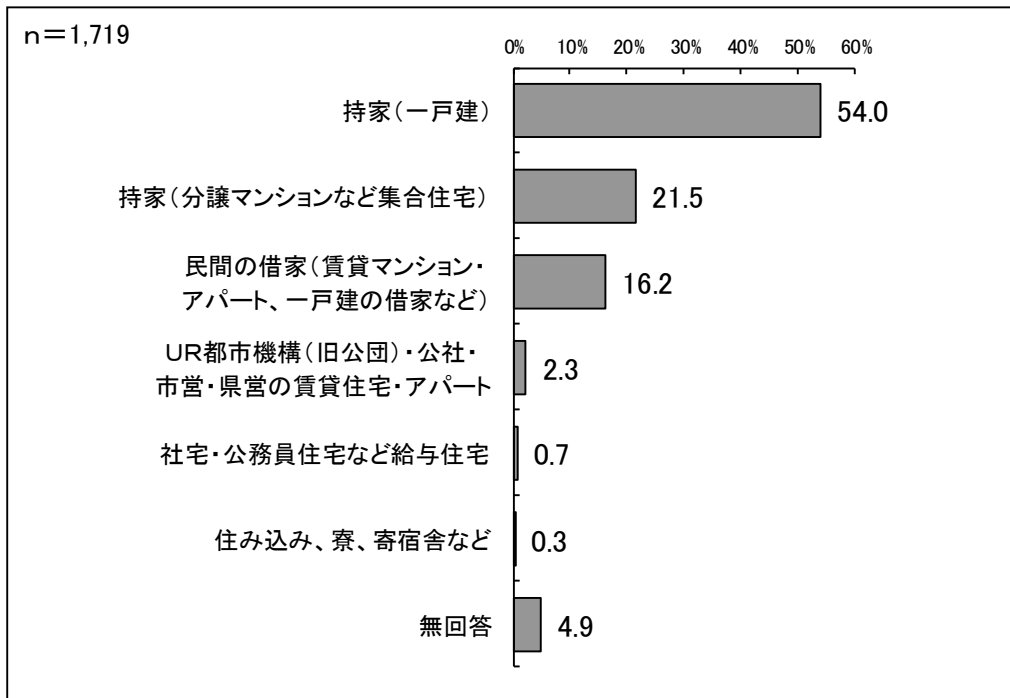
【F6 家族構成】



7) 住居形態

- 回答者の住居形態は「持家（一戸建）」が54.0%と全体の半数以上を占めている。

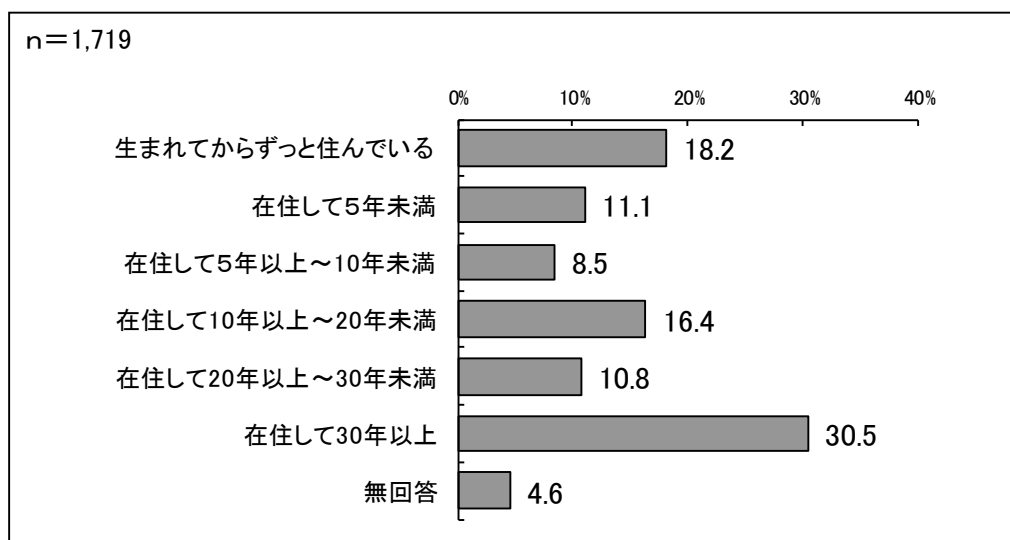
【F7 住居形態】



8) 居住年数

- 回答者の居住年数は、「在住して30年以上」が30.5%と最も高く、次いで、「生まれてからずっと住んでいる」が18.2%と長期居住者の割合が高くなっている。

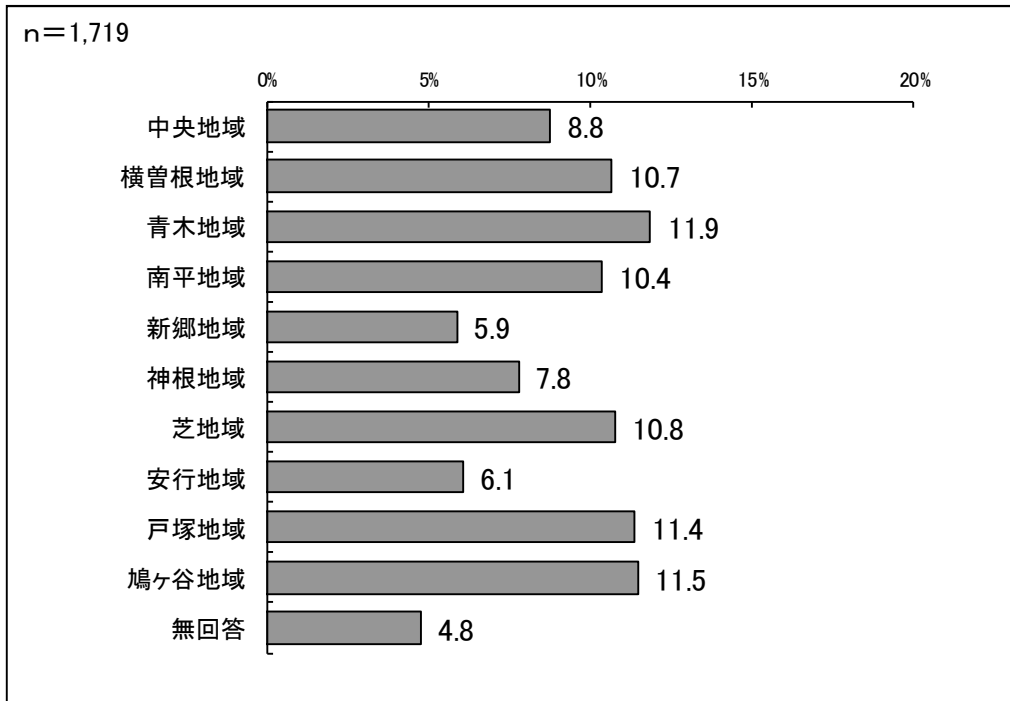
【F8 居住年数】



9) 居住地域

- 回答者の居住地域は、「青木地域」、「鳩ヶ谷地域」、「戸塚地域」、「芝地域」、「横曽根地域」、「南平地域」が10%以上でやや高くなっている。

【F 9 居住地域】



第2章 調査結果

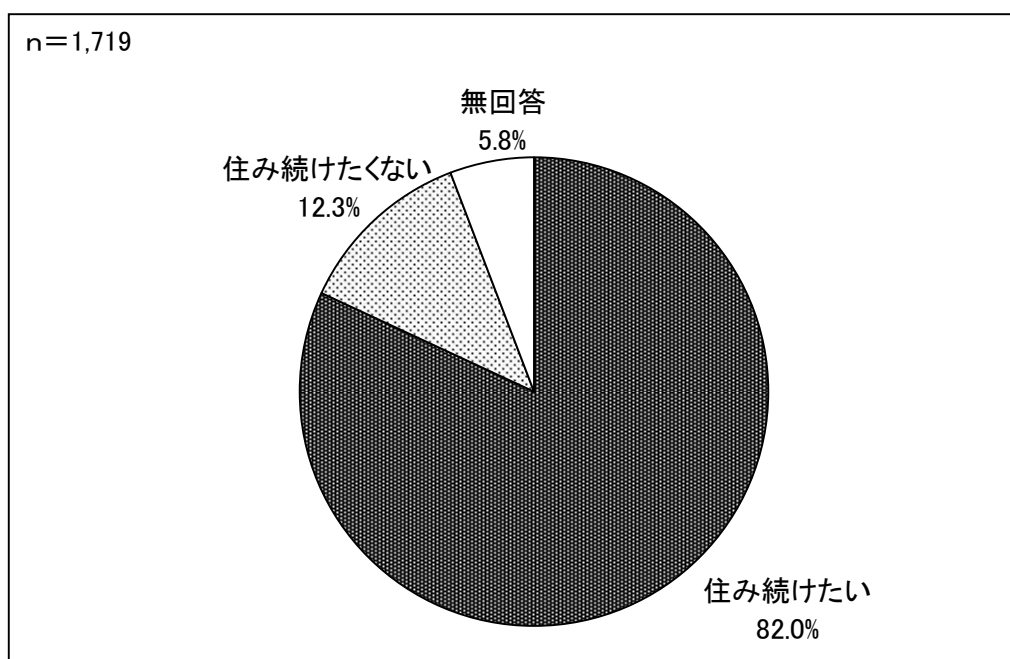
第2章 調査結果

1. 川口市の居住意向

1) 居住意向

- 川口市の居住意向では、82.0%が今後も川口市に「住み続けたい」と回答しており、非常に高い割合を示している。
- 「住み続けたくない」と回答した人は12.3%にとどまっている。

【居住意向（全体）】



【居住意向の推移】

年度	(人)			(%)
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
平成18年度	1,763	76.8	21.9	1.3
平成19年度	1,882	84.1	14.6	1.3
平成20年度	1,792	82.6	11.4	6.0
平成21年度	1,607	83.2	10.3	6.5
平成22年度	1,900	84.1	10.4	5.5
平成23年度	1,662	84.9	10.3	4.8
平成24年度	1,610	82.7	11.1	6.2
平成25年度	1,558	82.1	11.9	6.0
平成26年度	1,513	83.2	15.1	1.7
平成27年度	1,621	82.2	12.2	5.6
平成28年度	1,785	83.3	10.5	6.2
平成29年度	1,822	83.8	10.5	5.7
平成30年度	1,719	82.0	12.3	5.8

2) 居留意向（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「住みたい」との回答は、女性 75 歳以上が 90.9%、女性 60～64 歳が 87.9%、男性 75 歳以上が 87.4%と高くなっている。一方、「住みたくない」との回答は、男性 18～29 歳が 23.4%、男性 30～39 歳が 19.8%と高くなっている。

【居留意向（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体		1,719	82.0	12.3	5.8
男性		709	82.8	12.0	5.2
女性		955	81.6	12.6	5.9
男 性	18～29歳	77	▲ 75.3	○ 23.4	1.3
	30～39歳	101	78.2	△ 19.8	2.0
	40～49歳	138	81.2	14.5	4.3
	50～59歳	109	85.3	10.1	4.6
	60～64歳	64	85.9	▲ 6.3	7.8
	65～74歳	132	85.6	▲ 6.1	8.3
	75歳以上	87	△ 87.4	▲ 4.6	8.0
女 性	18～29歳	96	77.1	16.7	6.3
	30～39歳	150	▲ 76.7	16.0	7.3
	40～49歳	218	79.8	17.0	3.2
	50～59歳	151	78.1	15.2	6.6
	60～64歳	58	△ 87.9	8.6	3.4
	65～74歳	160	85.0	▲ 6.9	8.1
	75歳以上	121	△ 90.9	▲ 3.3	5.8

3) 居住意向（出生別）

- 出生別にみると、大きな差はみられない。

【居住意向（出生別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
川口市内	491	84.1	10.8	5.1
川口市以外の埼玉県内	186	83.9	10.8	5.4
埼玉県外	946	80.5	13.6	5.8
国外	38	81.6	7.9	10.5

4) 居住意向（職業別）

- 職業別にみると、大きな差はみられない。

【居住意向（職業別）】

	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
専門職	43	83.7	14.0	2.3
管理職	92	79.3	15.2	5.4
事務・技術職	359	78.6	16.4	5.0
販売・生産・労務職	162	84.0	11.7	4.3
農林水産業従事者	3	☆ 100.0	● 0.0	▲ 0.0
自営業・サービス業従事者	132	84.1	11.4	4.5
パート・アルバイト従事者	232	83.2	12.1	4.7
学生	58	▲ 75.9	△ 20.7	3.4
家事に専念している	282	83.0	10.6	6.4
無職	282	83.7	▲ 7.1	9.2
その他	13	84.6	15.4	▲ 0.0

5) 居住意向（勤務地別）

- 勤務地別にみると、「住みたい」との回答は、勤務地等が埼玉県、東京都以外の県が 89.7%、埼玉県内（川口市以外）が 87.8%と高くなっている。一方、「住みたくない」は、東京都内が 18.9%と高くなっている。

【居住意向（勤務地別）】

	(人)			(%)
	合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
川口市内	407	84.3	11.8	3.9
埼玉県内（川口市以外）	148	△ 87.8	8.1	4.1
東京都内	454	▲ 75.8	△ 18.9	5.3
埼玉県、東京都以外の県	39	△ 89.7	7.7	2.6

6) 居住意向（家族構成別）

- 家族構成別にみると、「住みたい」との回答は、親と子と孫など（3世代以上）が 76.4%と低くなっている。

【居住意向（家族構成別）】

	(人)			(%)
	合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
ひとり暮らし（単身世帯）	157	78.3	14.0	7.6
夫婦のみ	373	84.7	9.9	5.4
親と子（2世代）	932	83.0	12.9	4.1
親と子と孫など（3世代以上）	148	▲ 76.4	12.8	10.8
その他	23	78.3	8.7	△ 13.0

7) 居住意向（住居形態別）

- 住居形態別にみると、「住みたい」との回答は、持家（一戸建）が85.2%と高くなっている。一方、「住みたくない」は、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）が21.5%と高くなっている。

【居住意向（住居形態別）】

	(人)	(%)		
	合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
持家（一戸建）	928	85.2	9.3	5.5
持家（分譲マンションなど集合住宅）	370	82.2	13.0	4.9
民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	279	▲ 72.4	△ 21.5	6.1
UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート	40	△ 90.0	▲ 5.0	5.0
社宅・公務員住宅など給与住宅	12	83.3	16.7	▲ 0.0
住み込み、寮、寄宿舍など	6	★ 66.7	☆ 33.3	▲ 0.0

8) 居住意向（居住年数別）

- 居住年数別にみると、川口市での居住年数が長くなるにしたがい、「住みたい」との回答が概ね高くなる傾向にあり、在住して30年以上では89.3%、生まれてからずっと住んでいるでは85.6%となっている。一方、「住みたくない」との回答は、在住して5年未満が27.2%と最も高くなっている。

【居住意向（居住年数別）】

	(人)	(%)		
	合計	住みたい	住みたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
在住して5年未満	191	★ 64.4	○ 27.2	8.4
在住して5年以上～10年未満	146	80.8	15.1	4.1
在住して10年以上～20年未満	282	81.2	14.5	4.3
在住して20年以上～30年未満	185	78.4	16.8	4.9
在住して30年以上	524	△ 89.3	▲ 4.0	6.7
生まれてからずっと住んでいる	312	85.6	10.9	3.5

9) 居住意向（地域別）

- 地域別にみると、「住み続けたい」との回答は、「神根地域」、「新郷地域」でやや高く、一方「住み続けたくない」との回答は、「芝地域」、「横曽根地域」でやや高くなっている。

【居住意向（地域別）】

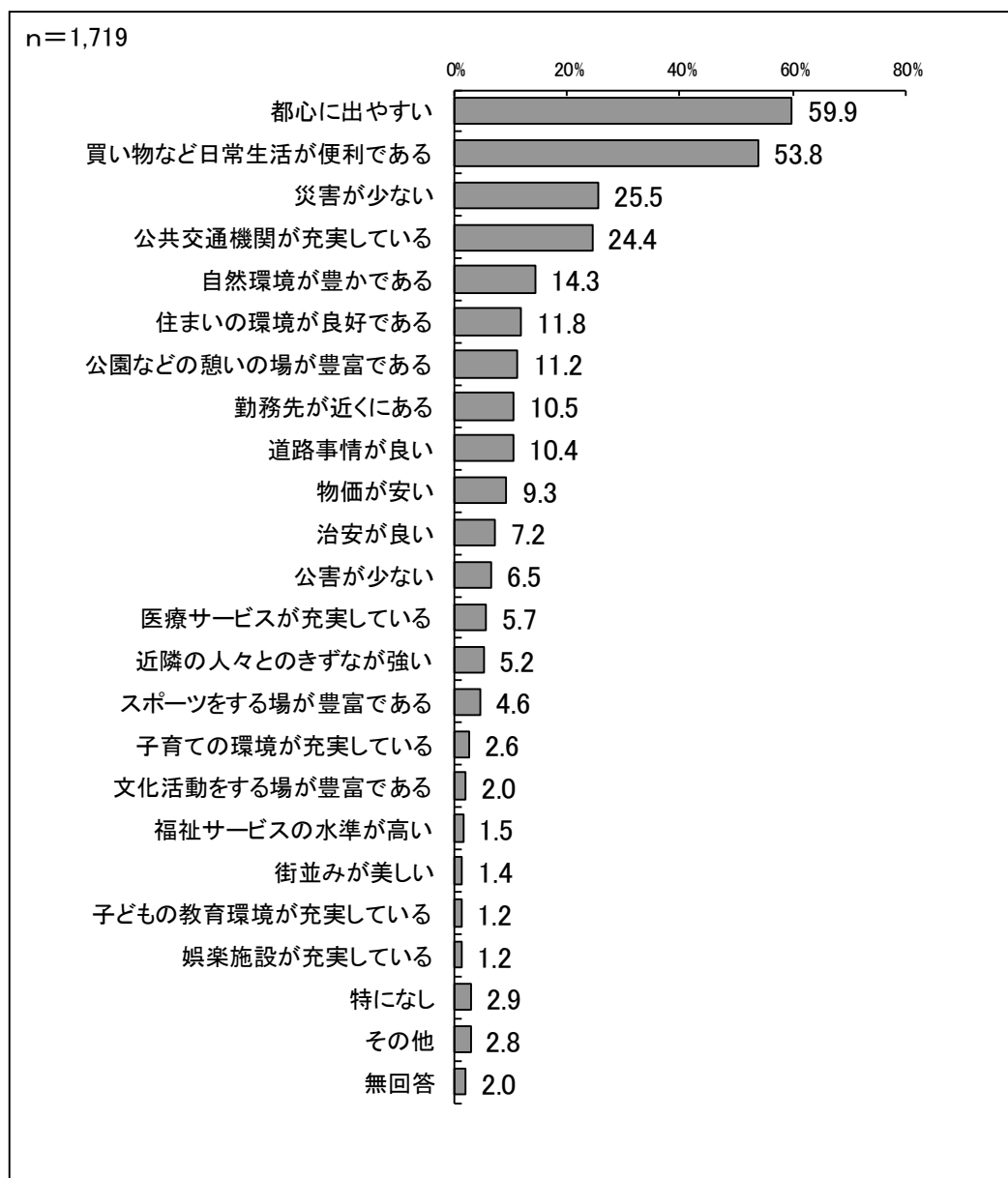
	(人)	(%)		
	合計	住み続けたい	住み続けたくない	無回答
全体	1,719	82.0	12.3	5.8
中央地域	152	84.9	10.5	4.6
横曽根地域	184	▲ 75.5	15.8	8.7
青木地域	204	84.3	9.3	6.4
南平地域	178	83.1	14.0	2.8
新郷地域	101	85.1	11.9	3.0
神根地域	134	86.6	8.2	5.2
芝地域	185	78.4	16.2	5.4
安行地域	105	84.8	11.4	3.8
戸塚地域	196	80.6	11.7	7.7
鳩ヶ谷地域	198	83.3	9.6	7.1

2. 川口市の良いところ

1) 良いところ、好きなところ

- 川口市の良いところ、好きなところとしては、「都心に出やすい」が 59.9%と最も高く、次いで、「買い物など日常生活が便利である」が 53.8%、「災害が少ない」が 25.5%、「公共交通機関が充実している」が 24.4%となっている。

【良いところ、好きなところ（全体）（3つまで選択）】



2) 良いところ、好きなところ（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「都心に出やすい」は、男性 18～29 歳が 70.1%と高くなっている。
- ・ 「買い物など日常生活が便利である」は、女性 60～64 歳が 62.1%、女性 50～59 歳が 61.6%、女性 30～39 歳が 60.0%と高くなっている。
- ・ 「災害が少ない」は、女性 75 歳以上が 47.9%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、女性 18～29 歳が 34.4%、男性 18～29 歳が 32.5%と高くなっている。
- ・ 「自然環境が豊かである」は、女性 65～74 歳が 30.0%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（男性・年齢別）】

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
都心に出やすい	59.9	○ 70.1	△ 65.3	△ 67.4	△ 66.1	64.1	55.3	▲ 51.7
買い物など日常生活が便利である	53.8	▲ 45.5	54.5	55.8	53.2	57.8	49.2	● 41.4
災害が少ない	25.5	● 11.7	★ 8.9	● 14.5	22.9	25.0	○ 36.4	○ 40.2
公共交通機関が充実している	24.4	△ 32.5	23.8	22.5	22.0	● 10.9	24.2	27.6
自然環境が豊かである	14.3	▲ 5.2	▲ 7.9	▲ 7.2	13.8	△ 20.3	14.4	△ 23.0
住まいの環境が良好である	11.8	11.7	11.9	13.0	11.9	7.8	9.1	12.6
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	6.5	○ 24.8	12.3	7.3	12.5	9.1	8.0
勤務先が近くにある	10.5	10.4	△ 15.8	12.3	11.9	12.5	6.1	▲ 4.6
道路事情が良い	10.4	13.0	8.9	△ 16.7	9.2	9.4	11.4	△ 19.5
物価が安い	9.3	7.8	9.9	9.4	6.4	7.8	8.3	▲ 1.1
治安が良い	7.2	7.8	4.0	2.2	9.2	3.1	8.3	△ 12.6
公害が少ない	6.5	6.5	▲ 1.0	2.2	2.8	10.9	8.3	△ 14.9
医療サービスが充実している	5.7	2.6	5.9	2.2	3.7	3.1	8.3	△ 13.8
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	1.3	▲ 0.0	2.9	5.5	6.3	6.8	8.0
スポーツをする場が豊富である	4.6	3.9	5.9	3.6	4.6	6.3	5.3	6.9
子育ての環境が充実している	2.6	0.0	△ 10.9	1.4	1.8	0.0	0.0	0.0
文化活動をする場が豊富である	2.0	1.3	1.0	1.4	2.8	1.6	2.3	3.4
福祉サービスの水準が高い	1.5	0.0	1.0	0.7	0.9	0.0	1.5	2.3
街並みが美しい	1.4	1.3	3.0	0.7	0.0	1.6	1.5	3.4
子どもの教育環境が充実している	1.2	1.3	3.0	0.7	1.8	0.0	0.0	2.3
娯楽施設が充実している	1.2	3.9	2.0	0.0	2.8	0.0	0.0	1.1
特になし	2.9	7.8	2.0	3.6	2.8	1.6	0.8	3.4
その他	2.8	1.3	4.0	1.4	1.8	1.6	4.5	4.6
無回答	2.0	0.0	2.0	0.7	1.8	0.0	4.5	1.1

【良いところ、好きなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
都心に出やすい	59.9	△ 68.8	60.0	61.9	56.3	▲ 53.4	▲ 54.4	● 47.9
買い物など日常生活が便利である	53.8	▲ 45.8	△ 60.0	△ 59.2	△ 61.6	△ 62.1	53.1	▲ 47.9
災害が少ない	25.5	● 12.5	● 12.0	20.6	27.8	△ 32.8	○ 39.4	☆ 47.9
公共交通機関が充実している	24.4	△ 34.4	29.3	25.2	▲ 17.2	27.6	26.9	20.7
自然環境が豊かである	14.3	16.7	▲ 7.3	11.0	13.9	▲ 8.6	☆ 30.0	△ 21.5
住まいの環境が良好である	11.8	11.5	12.0	10.1	10.6	10.3	14.4	△ 18.2
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	12.5	△ 18.0	12.4	▲ 5.3	8.6	10.0	9.1
勤務先が近くにある	10.5	7.3	12.7	△ 16.5	14.6	10.3	5.6	▲ 0.8
道路事情が良い	10.4	6.3	9.3	7.3	12.6	6.9	8.1	7.4
物価が安い	9.3	10.4	9.3	12.8	12.6	6.9	11.3	6.6
治安が良い	7.2	9.4	6.0	3.7	5.3	8.6	10.0	△ 14.9
公害が少ない	6.5	5.2	4.0	3.7	4.0	10.3	10.0	△ 13.2
医療サービスが充実している	5.7	4.2	5.3	3.7	2.6	3.4	6.3	△ 13.2
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	1.0	2.7	4.1	5.3	5.2	△ 10.6	△ 12.4
スポーツをする場が豊富である	4.6	5.2	3.3	3.2	4.6	5.2	6.3	1.7
子育ての環境が充実している	2.6	4.2	△ 8.7	3.7	1.3	1.7	0.6	0.0
文化活動をする場が豊富である	2.0	1.0	0.0	1.8	2.0	1.7	3.8	3.3
福祉サービスの水準が高い	1.5	1.0	0.0	0.5	2.6	1.7	3.1	5.0
街並みが美しい	1.4	0.0	1.3	0.5	1.3	3.4	2.5	0.8
子どもの教育環境が充実している	1.2	1.0	1.3	2.8	0.0	0.0	0.6	0.0
娯楽施設が充実している	1.2	△ 6.3	2.0	0.5	0.0	0.0	1.3	0.0
特になし	2.9	2.1	3.3	2.8	2.6	1.7	3.1	4.1
その他	2.8	2.1	2.0	1.8	2.0	3.4	2.5	6.6
無回答	2.0	2.1	3.3	1.4	3.3	1.7	1.9	0.0

3) 良いところ、好きなところ（出生別）

- 出生別にみると、「買い物など日常生活が便利である」は、国外が 65.8%と高くなっている。
- 「住まいの環境が良好である」は、国外が 26.3%と高くなっている。
- 「物価が安い」は、国外が 34.2%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（出生別）】

(%)

	全体	川口市内	川口市以外の埼玉県内	埼玉県外	国外
都心に出やすい	59.9	59.9	57.0	60.6	▲ 52.6
買い物など日常生活が便利である	53.8	54.4	50.0	54.0	○ 65.8
災害が少ない	25.5	28.9	24.7	24.4	★ 5.3
公共交通機関が充実している	24.4	25.3	27.4	24.1	▲ 15.8
自然環境が豊かである	14.3	11.6	15.6	15.9	10.5
住まいの環境が良好である	11.8	10.6	9.7	12.5	○ 26.3
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	8.8	14.5	11.8	10.5
勤務先が近くにある	10.5	10.6	12.9	9.6	△ 18.4
道路事情が良い	10.4	12.0	14.0	8.8	▲ 2.6
物価が安い	9.3	7.3	9.1	9.4	☆ 34.2
治安が良い	7.2	7.3	6.5	7.2	7.9
公害が少ない	6.5	6.3	3.8	7.2	▲ 0.0
医療サービスが充実している	5.7	4.7	4.3	6.4	▲ 0.0
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	4.9	4.8	5.8	▲ 0.0
スポーツをする場が豊富である	4.6	5.1	3.2	4.4	2.6
子育ての環境が充実している	2.6	2.4	5.9	2.1	2.6
文化活動をする場が豊富である	2.0	2.0	2.2	2.0	0.0
福祉サービスの水準が高い	1.5	1.6	0.0	1.7	2.6
街並みが美しい	1.4	0.6	0.5	1.8	0.0
子どもの教育環境が充実している	1.2	0.8	1.6	1.0	5.3
娯楽施設が充実している	1.2	1.8	0.5	1.1	0.0
特になし	2.9	4.1	2.7	2.3	5.3
その他	2.8	2.0	1.6	3.5	2.6
無回答	2.0	2.6	2.7	1.5	0.0

4) 良いところ、好きなところ（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「都心に出やすい」は、勤務地等が埼玉県、東京都以外の県の人
が74.4%、東京都内の人71.8%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実している」は、勤務地等が埼玉県、東京都以外の県の人
が35.9%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（勤務地別）】

(%)

	全体	川口市内	埼玉県内 (川口市以外)	東京都内	埼玉県、東京都 以外の県
都心に出やすい	59.9	55.5	59.5	○ 71.8	○ 74.4
買い物など日常生活が便利である	53.8	51.1	▲ 47.3	56.2	△ 59.0
災害が少ない	25.5	27.5	20.9	● 12.8	△ 30.8
公共交通機関が充実している	24.4	22.6	△ 30.4	24.4	○ 35.9
自然環境が豊かである	14.3	11.8	10.8	12.6	15.4
住まいの環境が良好である	11.8	8.8	10.8	13.0	12.8
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	9.1	6.8	15.4	▲ 5.1
勤務先が近くにある	10.5	☆ 26.8	△ 19.6	▲ 4.8	● 0.0
道路事情が良い	10.4	10.6	13.5	10.1	10.3
物価が安い	9.3	8.6	▲ 4.1	12.6	△ 15.4
治安が良い	7.2	4.7	4.1	6.6	7.7
公害が少ない	6.5	4.2	4.7	4.2	5.1
医療サービスが充実している	5.7	3.9	5.4	3.7	2.6
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	5.7	2.0	3.5	2.6
スポーツをする場が豊富である	4.6	4.4	8.1	3.3	5.1
子育ての環境が充実している	2.6	2.2	0.0	4.0	0.0
文化活動をする場が豊富である	2.0	1.0	2.0	1.5	2.6
福祉サービスの水準が高い	1.5	2.0	0.0	0.9	0.0
街並みが美しい	1.4	1.5	0.7	1.3	0.0
子どもの教育環境が充実している	1.2	1.5	0.0	0.9	2.6
娯楽施設が充実している	1.2	0.7	1.4	2.2	0.0
特になし	2.9	3.7	3.4	2.4	2.6
その他	2.8	2.2	2.0	2.4	0.0
無回答	2.0	2.5	1.4	1.5	0.0

5) 良いところ、好きなところ（住居形態別）

- ・ 住居形態別にみると、「都心に出やすい」は、持家（分譲マンションなど集合住宅）が71.4%と高くなっている。
- ・ 「買い物など日常生活が便利である」は、持家（分譲マンションなど集合住宅）が70.3%と高くなっている。
- ・ 「災害が少ない」は、持家（一戸建）が33.6%と高くなっている。

【良いところ、好きなところ（住居形態別）】

(%)

	全体	持家 (一戸建)	持家（分譲 マンション など集合住 宅）	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など)	UR都市機 構（旧公 団）・公 社・市営・ 県営の賃貸 住宅・ア パート	社宅・公務 員住宅など 給与住宅	住み込み、 寮、寄宿舍 など
都心に出やすい	59.9	55.6	○ 71.4	60.9	▲ 52.5	58.3	▲ 50.0
買い物など日常生活が便利である	53.8	▲ 48.4	☆ 70.3	52.3	52.5	○ 66.7	★ 33.3
災害が少ない	25.5	△ 33.6	● 15.4	● 12.9	25.0	▲ 16.7	★ 0.0
公共交通機関が充実している	24.4	23.1	25.9	27.2	20.0	25.0	△ 33.3
自然環境が豊かである	14.3	19.3	▲ 5.9	9.7	△ 22.5	● 0.0	● 0.0
住まいの環境が良好である	11.8	12.3	12.4	9.7	△ 20.0	● 0.0	● 0.0
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	10.8	11.6	14.0	▲ 5.0	△ 16.7	● 0.0
勤務先が近くにある	10.5	9.8	10.0	13.3	▲ 5.0	△ 16.7	☆ 33.3
道路事情が良い	10.4	11.7	10.0	6.8	7.5	8.3	● 0.0
物価が安い	9.3	6.4	△ 14.6	12.2	5.0	△ 16.7	☆ 33.3
治安が良い	7.2	7.1	5.7	10.0	10.0	▲ 0.0	▲ 0.0
公害が少ない	6.5	8.0	2.4	6.5	7.5	▲ 0.0	▲ 0.0
医療サービスが充実している	5.7	5.9	4.6	5.0	10.0	8.3	▲ 0.0
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	7.5	2.7	1.8	5.0	▲ 0.0	▲ 0.0
スポーツをする場が豊富である	4.6	5.8	2.7	3.6	0.0	0.0	○ 16.7
子育ての環境が充実している	2.6	1.7	2.7	5.4	2.5	△ 8.3	0.0
文化活動をする場が豊富である	2.0	2.4	2.2	0.4	5.0	0.0	0.0
福祉サービスの水準が高い	1.5	1.6	0.8	1.1	2.5	0.0	☆ 16.7
街並みが美しい	1.4	1.2	0.8	3.2	0.0	0.0	0.0
子どもの教育環境が充実している	1.2	1.1	1.1	1.1	2.5	△ 8.3	0.0
娯楽施設が充実している	1.2	1.0	1.4	1.8	0.0	△ 8.3	☆ 16.7
特になし	2.9	3.1	1.1	3.9	5.0	0.0	0.0
その他	2.8	2.8	3.2	2.9	0.0	0.0	0.0
無回答	2.0	1.9	1.4	2.5	5.0	0.0	0.0

6) 良いところ、好きなおところ（居留意向別）

- ・ 居留意向別にみると、「買い物など日常生活が便利である」と考える人は、住み続けたいとしている人と住み続けたくないとしている人で、大きな差がある。

【良いところ、好きなおところ（居留意向別）】

	全体	住み続けたい	住み続けたくない
都心に出やすい	59.9	62.1	▲ 53.6
買い物など日常生活が便利である	53.8	57.1	● 41.2
災害が少ない	25.5	26.7	21.3
公共交通機関が充実している	24.4	25.9	▲ 18.0
自然環境が豊かである	14.3	15.8	▲ 6.2
住まいの環境が良好である	11.8	13.4	▲ 2.8
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	11.3	12.3
勤務先が近くにある	10.5	10.9	10.9
道路事情が良い	10.4	11.2	7.6
物価が安い	9.3	9.1	10.9
治安が良い	7.2	7.8	4.3
公害が少ない	6.5	6.3	6.6
医療サービスが充実している	5.7	6.2	3.3
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	6.1	0.5
スポーツをする場が豊富である	4.6	4.8	3.8
子育ての環境が充実している	2.6	2.8	2.8
文化活動をする場が豊富である	2.0	2.1	1.4
福祉サービスの水準が高い	1.5	1.6	0.5
街並みが美しい	1.4	1.6	0.9
子どもの教育環境が充実している	1.2	1.2	1.4
娯楽施設が充実している	1.2	1.2	0.9
特になし	2.9	1.8	△ 10.0
その他	2.8	2.6	4.7
無回答	2.0	0.3	1.9

7) 良いところ、好きのところ（地域別）

- ・ 地域別にみると、「都心に出やすい」は、中央地域が77.0%、横曽根地域が71.7%と高く、一方、新郷地域が41.6%、安行地域が44.8%と低くなっている。
- ・ 「買い物など日常生活が便利である」は、中央地域が78.3%、横曽根地域が74.5%と高く、一方、鳩ヶ谷地域が36.9%、神根地域が37.3%と低くなっている。
- ・ 「災害が少ない」は、神根地域が39.6%、新郷地域が37.6%と高く、一方、中央地域が5.3%と低くなっている。
- ・ 「自然環境が豊かである」は、安行地域が38.1%、神根地域が32.1%と高くなっている。
- ・ 「物価が安い」は、中央地域が20.4%と高くなっている。

【良いところ、好きのところ（地域別）】

	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
都心に出やすい	59.9	☆ 77.0	○ 71.7	61.8	64.6	★ 41.6	● 49.3	△ 67.0	★ 44.8	▲ 50.5	62.1
買い物など日常生活が便利である	53.8	☆ 78.3	☆ 74.5	○ 67.2	52.8	● 39.6	★ 37.3	57.8	● 40.0	▲ 44.4	★ 36.9
災害が少ない	25.5	★ 5.3	● 14.7	27.9	21.9	○ 37.6	○ 39.6	△ 34.6	30.5	26.0	25.8
公共交通機関が充実している	24.4	28.3	26.1	△ 33.8	25.8	▲ 16.8	▲ 18.7	23.8	▲ 17.1	27.0	19.7
自然環境が豊かである	14.3	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 7.8	▲ 6.7	△ 23.8	☆ 32.1	▲ 6.5	☆ 38.1	○ 25.0	10.1
住まいの環境が良好である	11.8	13.8	8.7	10.3	9.6	12.9	13.4	10.8	△ 18.1	14.8	9.6
公園などの憩いの場が豊富である	11.2	6.6	9.8	15.2	10.7	13.9	6.7	9.2	14.3	△ 19.4	7.1
勤務先が近くにある	10.5	9.9	9.2	8.3	11.2	10.9	11.9	9.7	6.7	8.2	△ 17.2
道路事情が良い	10.4	5.9	5.4	11.3	8.4	5.9	△ 15.7	11.9	12.4	14.3	10.6
物価が安い	9.3	○ 20.4	△ 14.7	8.8	8.4	6.9	▲ 3.7	8.1	9.5	5.6	6.1
治安が良い	7.2	7.2	6.0	6.4	9.0	10.9	4.5	7.6	11.4	6.6	6.6
公害が少ない	6.5	▲ 1.3	1.6	6.4	6.2	9.9	8.2	9.7	4.8	7.7	8.6
医療サービスが充実している	5.7	7.2	2.7	3.9	5.1	7.9	8.2	6.5	4.8	5.6	6.1
近隣の人々とのきずなが強い	5.2	2.0	2.7	3.4	7.3	7.9	7.5	7.0	5.7	3.1	7.1
スポーツをする場が豊富である	4.6	2.6	1.1	7.4	5.1	5.9	2.2	4.3	6.7	7.7	2.5
子育ての環境が充実している	2.6	5.9	1.1	2.0	2.8	1.0	3.0	1.6	1.0	4.1	3.0
文化活動をする場が豊富である	2.0	3.9	1.1	2.5	2.8	0.0	2.2	3.2	1.0	0.5	1.5
福祉サービスの水準が高い	1.5	0.7	0.5	1.0	0.6	4.0	2.2	3.2	0.0	1.0	2.0
街並みが美しい	1.4	2.0	0.0	1.0	1.1	0.0	3.7	1.6	2.9	2.0	0.0
子どもの教育環境が充実している	1.2	2.6	0.5	1.0	0.6	4.0	0.0	1.1	1.0	1.0	1.0
娯楽施設が充実している	1.2	3.3	1.1	2.5	1.1	0.0	1.5	1.6	1.0	0.5	0.0
特になし	2.9	0.7	0.0	1.5	0.6	△ 8.9	6.0	3.2	2.9	1.0	6.1
その他	2.8	1.3	4.3	2.5	3.4	△ 7.9	1.5	1.6	1.0	3.1	1.5
無回答	2.0	1.3	3.3	2.5	1.1	1.0	2.2	1.1	1.9	2.6	2.0

3. 川口市の良いところ

1) 良いところ、嫌いなところ

- 良いところ、嫌いなところとして、「治安が悪い」が 29.9%と最も高く、次いで、「公共交通機関が充実していない」が 17.0%、「道路事情が悪い」が 15.4%、「医療サービスが不十分である」、「街並みがきたない」がともに 14.1%となっている。

【良いところ、嫌いなところ（全体）（3つまで選択）】



2) 良くないところ、嫌いなところ（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「治安が悪い」は、男性 18～29 歳が 49.4%、男性 30～39 歳が 45.5%と高くなっている。
- ・ 「医療サービスが不十分である」は、男性 60～64 歳が 28.1%と高くなっている。
- ・ 「近隣の人々とのきずなが弱い」は、男性 75 歳以上が 21.8%と高くなっている。
- ・ 「娯楽施設が充実していない」は、男性 18～29 歳が 18.2%と高くなっている。
- ・ 「子育ての環境が整っていない」は、女性 30～39 歳が 19.3%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（男性・年齢別）】

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
治安が悪い	29.9	☆ 49.4	☆ 45.5	○ 40.6	29.4	△ 37.5	● 18.2	● 16.1
公共交通機関が充実していない	17.0	18.2	20.8	△ 23.2	17.4	△ 23.4	▲ 11.4	13.8
道路事情が悪い	15.4	△ 22.1	19.8	17.4	14.7	14.1	18.2	13.8
医療サービスが不十分である	14.1	▲ 7.8	9.9	12.3	▲ 8.3	○ 28.1	16.7	11.5
街並みがきたない	14.1	14.3	9.9	12.3	16.5	△ 20.3	12.1	11.5
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	▲ 7.8	▲ 6.9	15.2	11.9	10.9	13.6	△ 20.7
福祉サービスの水準が低い	11.6	▲ 5.2	6.9	▲ 6.5	10.1	△ 20.3	△ 17.4	13.8
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	7.8	8.9	▲ 4.3	△ 17.4	△ 17.2	△ 16.7	○ 21.8
スポーツをする場が乏しい	8.4	△ 14.3	5.9	11.6	9.2	7.8	9.1	3.4
娯楽施設が充実していない	8.0	○ 18.2	8.9	5.8	8.3	6.3	3.8	8.0
子育ての環境が整っていない	7.9	7.8	9.9	7.2	3.7	▲ 1.6	3.8	3.4
自然環境が悪い	6.6	△ 11.7	8.9	7.2	2.8	4.7	7.6	5.7
文化活動をする場が乏しい	6.3	6.5	3.0	5.1	5.5	4.7	8.3	5.7
子どもの教育環境が悪い	6.1	10.4	8.9	8.0	2.8	3.1	4.5	1.1
物価が高い	5.9	9.1	8.9	5.1	6.4	7.8	2.3	5.7
買い物など日常生活が不便である	5.4	6.5	3.0	2.9	3.7	1.6	5.3	9.2
住まいの環境が悪い	4.7	2.6	3.0	6.5	3.7	7.8	3.8	6.9
勤務先が遠くにある	4.0	7.8	2.0	8.0	3.7	4.7	1.5	0.0
都心に出にくい	2.7	0.0	0.0	2.2	1.8	1.6	4.5	2.3
公害が多い	1.9	2.6	2.0	2.2	0.9	1.6	1.5	0.0
災害が多い	0.9	0.0	1.0	1.4	0.0	4.7	1.5	0.0
特になし	9.9	5.2	9.9	8.7	10.1	6.3	9.8	8.0
その他	14.5	10.4	○ 24.8	15.9	13.8	10.9	10.6	13.8
無回答	3.5	1.3	2.0	2.9	1.8	0.0	7.6	8.0

【良くないところ、嫌いなところ（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
治安が悪い	29.9	○ 40.6	28.7	△ 37.6	33.8	★ 12.1	● 16.9	★ 9.1
公共交通機関が充実していない	17.0	19.8	18.0	12.4	17.2	15.5	13.8	19.8
道路事情が悪い	15.4	▲ 8.3	15.3	11.0	19.2	▲ 10.3	15.0	13.2
医療サービスが不十分である	14.1	▲ 4.2	10.7	18.8	15.9	17.2	16.9	16.5
街並みがきたない	14.1	11.5	△ 20.0	15.1	12.6	17.2	15.6	▲ 6.6
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	▲ 7.3	16.7	15.6	9.9	15.5	13.1	18.2
福祉サービスの水準が低い	11.6	▲ 2.1	8.7	10.6	△ 17.2	15.5	15.0	12.4
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	10.4	▲ 4.0	9.2	7.3	15.5	12.5	△ 21.5
スポーツをする場が乏しい	8.4	6.3	11.3	11.9	6.0	3.4	4.4	8.3
娯楽施設が充実していない	8.0	10.4	8.0	6.4	7.3	6.9	9.4	9.9
子育ての環境が整っていない	7.9	9.4	○ 19.3	△ 14.7	4.6	6.9	▲ 2.5	▲ 0.8
自然環境が悪い	6.6	3.1	4.7	7.8	6.0	6.9	7.5	8.3
文化活動をする場が乏しい	6.3	2.1	2.7	6.0	8.6	△ 12.1	10.6	9.9
子どもの教育環境が悪い	6.1	8.3	7.3	△ 12.4	2.0	3.4	4.4	1.7
物価が高い	5.9	5.2	8.0	4.1	4.6	8.6	5.0	8.3
買い物など日常生活が不便である	5.4	5.2	4.0	3.2	4.6	5.2	6.3	△ 14.0
住まいの環境が悪い	4.7	1.0	6.7	4.1	4.0	5.2	5.0	6.6
勤務先が遠くにある	4.0	7.3	8.0	3.2	4.6	3.4	0.6	0.8
都心に出にくい	2.7	1.0	2.7	2.8	4.0	1.7	4.4	4.1
公害が多い	1.9	1.0	0.7	4.6	2.0	1.7	0.6	3.3
災害が多い	0.9	3.1	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.8
特になし	9.9	11.5	10.0	10.1	9.3	13.8	10.6	△ 17.4
その他	14.5	▲ 8.3	11.3	15.1	19.2	17.2	17.5	10.7
無回答	3.5	3.1	5.3	1.4	3.3	1.7	4.4	3.3

3) 良くないところ、嫌いなところ（出生別）

- ・ 出生別にみると、「治安が悪い」は、川口市以外の埼玉県内が 36.0%と高くなっている。
- ・ 「医療サービスが不十分である」は、国外が 23.7%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（出生別）】

(%)

	全体	川口市内	川口市以外 の埼玉県内	埼玉県外	国外
治安が悪い	29.9	28.9	△ 36.0	29.5	★ 13.2
公共交通機関が充実していない	17.0	17.5	12.4	17.4	21.1
道路事情が悪い	15.4	13.0	13.4	16.8	10.5
医療サービスが不十分である	14.1	15.9	11.3	13.3	△ 23.7
街並みがきたない	14.1	12.8	16.1	14.2	13.2
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	14.9	12.4	13.2	▲ 5.3
福祉サービスの水準が低い	11.6	13.6	8.6	11.0	13.2
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	9.8	10.8	13.2	▲ 5.3
スポーツをする場が乏しい	8.4	9.4	8.6	7.9	10.5
娯楽施設が充実していない	8.0	8.4	7.0	8.0	10.5
子育ての環境が整っていない	7.9	7.7	9.7	7.1	7.9
自然環境が悪い	6.6	7.1	3.8	7.0	7.9
文化活動をする場が乏しい	6.3	6.7	5.9	6.7	2.6
子どもの教育環境が悪い	6.1	6.5	7.0	5.7	2.6
物価が高い	5.9	5.9	5.9	5.9	5.3
買い物など日常生活が不便である	5.4	3.5	5.4	6.2	2.6
住まいの環境が悪い	4.7	3.7	2.7	5.4	△ 13.2
勤務先が遠くにある	4.0	4.1	4.3	3.2	○ 18.4
都心に出にくい	2.7	2.6	2.2	2.7	2.6
公害が多い	1.9	2.0	1.1	2.0	2.6
災害が多い	0.9	0.6	0.5	1.2	0.0
特になし	9.9	11.0	11.3	9.4	7.9
その他	14.5	12.2	11.8	16.4	15.8
無回答	3.5	4.3	4.3	2.7	2.6

4) 良くないところ、嫌いなところ（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「治安が悪い」は、勤務地等が東京都内の人 が 38.3%と高くなっている。
- ・ 「近隣の人々とのきずなが弱い」は、勤務地等が埼玉県、東京都以外の県の人 が 23.1%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（勤務地別）】

(%)

	全体	川口市内	埼玉県内 (川口市以外)	東京都内	埼玉県、東京都 以外の県
治安が悪い	29.9	31.9	33.8	△ 38.3	33.3
公共交通機関が充実していない	17.0	15.5	16.2	21.6	12.8
道路事情が悪い	15.4	14.7	17.6	15.0	▲ 10.3
医療サービスが不十分である	14.1	16.0	9.5	12.6	17.9
街並みがきたない	14.1	10.6	16.2	14.8	15.4
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	18.2	12.2	9.9	15.4
福祉サービスの水準が低い	11.6	13.3	7.4	9.0	7.7
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	11.5	8.1	7.7	○ 23.1
スポーツをする場が乏しい	8.4	10.8	9.5	9.3	7.7
娯楽施設が充実していない	8.0	5.9	9.5	9.9	5.1
子育ての環境が整っていない	7.9	8.6	10.8	7.0	10.3
自然環境が悪い	6.6	8.1	8.8	4.6	7.7
文化活動をする場が乏しい	6.3	6.4	5.4	5.5	7.7
子どもの教育環境が悪い	6.1	7.4	7.4	6.2	5.1
物価が高い	5.9	6.9	8.1	4.0	10.3
買い物など日常生活が不便である	5.4	4.4	4.1	3.3	2.6
住まいの環境が悪い	4.7	5.4	2.7	3.7	7.7
勤務先が遠くにある	4.0	0.2	6.1	8.6	○ 15.4
都心に出にくい	2.7	2.5	0.7	1.3	5.1
公害が多い	1.9	2.2	0.7	2.2	2.6
災害が多い	0.9	0.5	1.4	1.5	2.6
特になし	9.9	11.1	8.1	8.4	7.7
その他	14.5	9.8	12.8	18.1	▲ 7.7
無回答	3.5	3.4	3.4	1.8	0.0

5) 良くないところ、嫌いなところ（住居形態別）

- ・ 住居形態別にみると、「治安が悪い」は、民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）が35.1%、持家（分譲マンションなど集合住宅）が34.9%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（住居形態別）】

(%)

	全体	持家 (一戸建)	持家(分譲 マンション など集合住 宅)	民間の借家 (賃貸マン ション・ア パート、一 戸建の借家 など)	UR都市機 構(旧公 団)・公 社・市営・ 県営の賃貸 住宅・ア パート	社宅・公務 員住宅など 給与住宅	住み込み、 寮、寄宿舎 など
治安が悪い	29.9	25.8	34.9	△ 35.1	25.0	33.3	☆ 50.0
公共交通機関が充実していない	17.0	17.5	15.1	17.6	20.0	△ 25.0	16.7
道路事情が悪い	15.4	15.4	14.1	14.3	▲ 10.0	☆ 33.3	16.7
医療サービスが不十分である	14.1	15.7	14.3	▲ 7.9	17.5	▲ 8.3	☆ 33.3
街並みがきたない	14.1	12.4	16.2	15.8	▲ 5.0	○ 25.0	● 0.0
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	15.6	12.2	▲ 7.9	15.0	● 0.0	16.7
福祉サービスの水準が低い	11.6	12.8	10.8	7.5	15.0	● 0.0	△ 16.7
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	10.9	11.6	13.3	△ 17.5	● 0.0	● 0.0
スポーツをする場が乏しい	8.4	8.5	10.3	7.9	▲ 2.5	▲ 0.0	▲ 0.0
娯楽施設が充実していない	8.0	7.9	6.8	10.8	▲ 2.5	8.3	△ 16.7
子育ての環境が整っていない	7.9	7.3	6.5	7.9	10.0	8.3	△ 16.7
自然環境が悪い	6.6	5.6	8.9	8.2	▲ 0.0	▲ 0.0	○ 16.7
文化活動をする場が乏しい	6.3	7.0	8.1	2.5	7.5	▲ 0.0	○ 16.7
子どもの教育環境が悪い	6.1	6.1	4.6	6.8	5.0	○ 16.7	▲ 0.0
物価が高い	5.9	5.5	3.5	9.7	▲ 0.0	☆ 41.7	▲ 0.0
買い物など日常生活が不便である	5.4	5.6	1.4	7.5	10.0	▲ 0.0	○ 16.7
住まいの環境が悪い	4.7	5.2	3.2	5.0	7.5	0.0	○ 16.7
勤務先が遠くにある	4.0	3.3	3.2	6.5	7.5	0.0	0.0
都心に出にくい	2.7	3.2	1.4	2.5	0.0	0.0	0.0
公害が多い	1.9	2.0	2.2	0.7	0.0	△ 8.3	0.0
災害が多い	0.9	0.9	1.1	0.7	0.0	0.0	0.0
特になし	9.9	8.8	12.4	10.4	○ 20.0	8.3	△ 16.7
その他	14.5	14.0	17.0	14.0	▲ 7.5	16.7	16.7
無回答	3.5	3.8	2.2	3.2	5.0	0.0	0.0

6) 良くないところ、嫌いなところ（居住意向別）

- ・ 居住意向別にみると、住み続けたくないとする人は、「治安が悪い」が 47.9%と高く、次いで「街並みがきたない」が 27.5%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（居住意向別）】

(%)

	全体	住み続けたい	住み続けたくない
治安が悪い	29.9	27.5	☆ 47.9
公共交通機関が充実していない	17.0	16.7	19.9
道路事情が悪い	15.4	14.1	△ 22.7
医療サービスが不十分である	14.1	14.4	15.6
街並みがきたない	14.1	12.2	○ 27.5
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	13.6	12.8
福祉サービスの水準が低い	11.6	11.6	11.4
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	12.6	8.1
スポーツをする場が乏しい	8.4	8.4	9.5
娯楽施設が充実していない	8.0	8.4	6.6
子育ての環境が整っていない	7.9	7.3	11.4
自然環境が悪い	6.6	5.6	△ 14.2
文化活動をする場が乏しい	6.3	6.5	4.7
子どもの教育環境が悪い	6.1	5.0	△ 14.7
物価が高い	5.9	6.2	5.7
買い物など日常生活が不便である	5.4	5.1	8.1
住まいの環境が悪い	4.7	3.3	△ 13.3
勤務先が遠くにある	4.0	3.4	8.5
都心に出にくい	2.7	2.4	3.8
公害が多い	1.9	1.8	2.8
災害が多い	0.9	0.8	1.4
特になし	9.9	11.5	▲ 3.8
その他	14.5	12.9	△ 22.7
無回答	3.5	2.2	0.5

7) 良くないところ、嫌いなところ（地域別）

- ・ 地域別にみると、「治安が悪い」は、青木地域が 38.2%、横曽根地域が 37.5%と高くなっている。
- ・ 「公共交通機関が充実していない」は、安行地域が 32.4%と高くなっている。
- ・ 「道路事情が悪い」は、新郷地域が 22.8%、南平地域が 22.5%と高くなっている。
- ・ 「医療サービスが不十分である」は、新郷地域が 22.8%と高くなっている。
- ・ 「街並みがきたない」は、横曽根地域が 23.4%と高くなっている。

【良くないところ、嫌いなところ（地域別）】

(%)

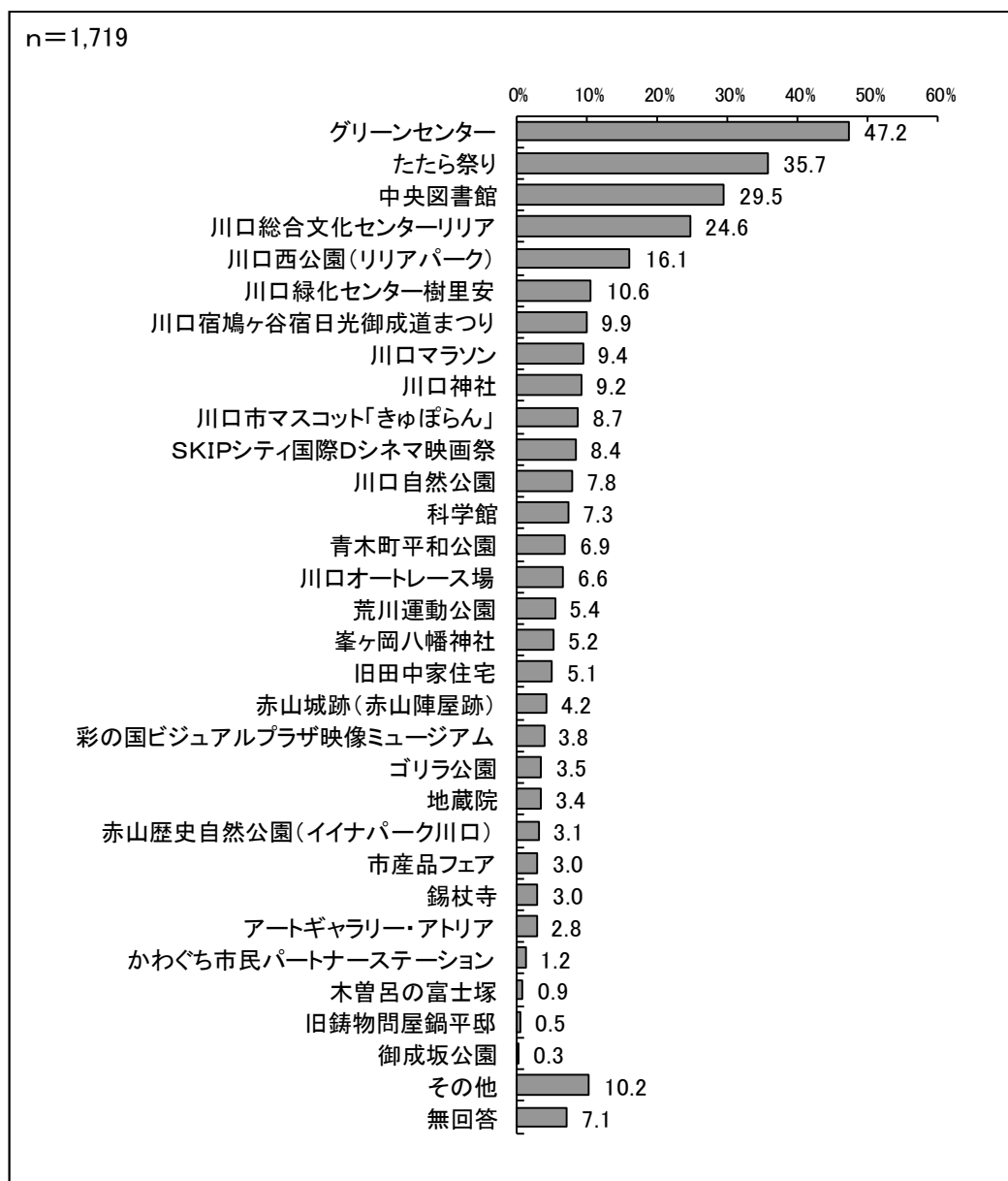
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
治安が悪い	29.9	34.2	△ 37.5	△ 38.2	27.5	● 17.8	▲ 22.4	34.6	▲ 20.0	28.1	25.3
公共交通機関が充実していない	17.0	19.7	13.6	16.2	15.2	△ 24.8	21.6	15.1	☆ 32.4	▲ 11.7	▲ 11.1
道路事情が悪い	15.4	17.8	▲ 6.5	11.3	△ 22.5	△ 22.8	12.7	14.1	20.0	13.8	15.2
医療サービスが不十分である	14.1	13.8	15.8	▲ 6.9	16.3	△ 22.8	12.7	13.5	15.2	16.8	12.1
街並みがきたない	14.1	16.4	△ 23.4	16.2	12.4	10.9	10.4	13.5	9.5	10.7	12.6
公園などの憩いの場が乏しい	13.3	12.5	10.9	8.3	9.0	11.9	△ 18.7	△ 18.4	△ 21.9	▲ 6.6	△ 19.7
福祉サービスの水準が低い	11.6	9.9	12.0	10.8	11.8	9.9	10.4	11.4	8.6	12.8	15.2
近隣の人々とのきずなが弱い	11.6	16.4	7.1	15.7	10.1	7.9	9.0	14.6	13.3	11.7	9.1
スポーツをする場が乏しい	8.4	△ 15.1	11.4	6.9	6.2	6.9	11.9	7.0	3.8	8.2	7.1
娯楽施設が充実していない	8.0	5.9	4.3	7.4	9.0	7.9	6.7	9.7	△ 14.3	9.7	8.1
子育ての環境が整っていない	7.9	9.9	9.2	6.4	3.4	8.9	7.5	6.5	4.8	10.2	7.6
自然環境が悪い	6.6	△ 11.8	10.9	5.4	△ 11.8	2.0	▲ 1.5	6.5	5.7	5.6	4.5
文化活動をする場が乏しい	6.3	5.3	4.9	7.8	6.2	6.9	8.2	5.4	▲ 0.0	7.7	9.1
子どもの教育環境が悪い	6.1	3.9	3.8	6.4	2.2	3.0	9.0	8.6	4.8	8.7	7.6
物価が高い	5.9	2.6	4.3	6.9	7.3	6.9	4.5	7.6	5.7	8.2	4.5
買い物など日常生活が不便である	5.4	▲ 0.0	1.6	2.5	6.2	7.9	△ 13.4	3.2	9.5	4.6	8.1
住まいの環境が悪い	4.7	2.6	6.5	5.9	3.4	5.0	6.0	6.5	2.9	2.0	4.5
勤務先が遠くにある	4.0	2.6	3.3	3.4	1.7	2.0	3.0	4.3	5.7	7.1	5.6
都心に出にくい	2.7	0.0	0.5	2.9	4.5	△ 9.9	1.5	0.5	△ 10.5	1.0	1.0
公害が多い	1.9	5.3	1.1	1.0	3.9	1.0	1.5	1.6	1.0	1.5	1.0
災害が多い	0.9	2.0	1.6	0.5	0.6	1.0	0.0	0.5	1.0	1.0	1.0
特になし	9.9	9.9	11.4	8.8	10.1	11.9	11.9	10.3	8.6	8.7	10.1
その他	14.5	△ 19.7	△ 20.7	16.2	14.0	13.9	▲ 9.0	13.0	18.1	11.2	11.6
無回答	3.5	2.0	4.3	3.9	5.1	3.0	3.0	2.7	1.9	3.6	5.1

4. 川口市の好きな場所、もの、行事

1) 好きな場所、もの、行事

- 川口市の好きな場所、もの、行事では、「グリーンセンター」が47.2%と最も高く、次いで、「たたら祭り」が35.7%、「中央図書館」が29.5%、「川口総合文化センターリリア」が24.6%となっている。

【好きな場所、もの、行事（全体）】



2) 好きな場所、もの、行事（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「グリーンセンター」は、女性 60～64 歳が 65.5%、女性 75 歳以上が 62.8%と高くなっている。
- ・ 「中央図書館」は、女性 18～29 歳が 40.6%と高くなっている。
- ・ 「川口総合文化センターリリア」は、女性 75 歳以上が 44.6%、女性 65～74 歳が 36.9%と高くなっている。
- ・ 「川口緑化センター樹里安」は、女性 75 歳以上が 23.1%、男性 75 歳以上が 21.8%と高くなっている。
- ・ 「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」は、男性 75 歳以上が 27.6%と高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（男性・年齢別）】

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
グリーンセンター	47.2	★ 27.3	44.6	▲ 38.4	50.5	▲ 39.1	50.8	49.4
たたら祭り	35.7	39.0	33.7	35.5	39.4	39.1	△ 41.7	33.3
中央図書館	29.5	△ 37.7	29.7	31.9	29.4	● 15.6	▲ 24.2	28.7
川口総合文化センターリリア	24.6	● 10.4	● 11.9	▲ 18.8	20.2	● 14.1	28.8	27.6
川口西公園（リリアパーク）	16.1	▲ 6.5	14.9	16.7	19.3	12.5	12.9	14.9
川口緑化センター樹里安	10.6	▲ 2.6	6.9	8.0	▲ 2.8	10.9	13.6	○ 21.8
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	9.9	▲ 0.0	5.0	9.4	9.2	10.9	14.4	☆ 27.6
川口マラソン	9.4	▲ 3.9	9.9	10.9	10.1	6.3	10.6	11.5
川口神社	9.2	10.4	8.9	10.1	13.8	10.9	9.8	9.2
川口市マスコット「きゅぼらん」	8.7	6.5	11.9	△ 13.8	4.6	▲ 3.1	5.3	5.7
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	8.4	6.5	▲ 2.0	7.2	11.9	6.3	12.9	△ 17.2
川口自然公園	7.8	7.8	5.0	7.2	7.3	△ 14.1	9.1	△ 16.1
科学館	7.3	6.5	6.9	10.9	3.7	▲ 0.0	5.3	3.4
青木町平和公園	6.9	3.9	3.0	6.5	11.9	7.8	7.6	5.7
川口オートレース場	6.6	5.2	4.0	△ 12.3	△ 11.9	7.8	9.8	10.3
荒川運動公園	5.4	3.9	△ 11.9	5.8	8.3	9.4	6.8	9.2
峯ヶ岡八幡神社	5.2	2.6	4.0	1.4	3.7	1.6	6.8	△ 12.6
旧田中家住宅	5.1	▲ 0.0	5.0	3.6	2.8	4.7	4.5	5.7
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	1.3	3.0	2.2	2.8	3.1	△ 9.8	△ 13.8
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.8	2.6	3.0	2.9	4.6	3.1	2.3	4.6
ゴリラ公園	3.5	△ 13.0	4.0	3.6	2.8	4.7	2.3	1.1
地蔵院	3.4	1.3	0.0	3.6	2.8	4.7	4.5	4.6
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	3.1	3.9	3.0	0.0	0.9	1.6	3.8	4.6
市産品フェア	3.0	1.3	3.0	1.4	1.8	7.8	6.1	3.4
錫杖寺	3.0	1.3	2.0	3.6	3.7	4.7	△ 8.3	2.3
アートギャラリー・アトリア	2.8	3.9	1.0	2.9	3.7	0.0	2.3	0.0
かわぐち市民パートナーズステーション	1.2	1.3	0.0	0.0	2.8	1.6	2.3	1.1
木曾呂の富士塚	0.9	0.0	0.0	0.7	1.8	0.0	2.3	1.1
旧鋳物問屋鍋平邸	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	2.3
御成坂公園	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
その他	10.2	6.5	△ 15.8	10.9	12.8	10.9	6.1	▲ 4.6
無回答	7.1	11.7	5.9	8.7	2.8	9.4	6.8	8.0

【好きな場所、もの、行事（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
グリーンセンター	47.2	★ 28.1	49.3	△ 52.8	▲ 38.4	☆ 65.5	△ 52.5	☆ 62.8
たたら祭り	35.7	△ 42.7	△ 41.3	33.0	32.5	32.8	▲ 30.6	33.9
中央図書館	29.5	○ 40.6	28.0	31.7	△ 39.1	▲ 22.4	30.6	● 16.5
川口総合文化センターリリア	24.6	▲ 17.7	▲ 15.3	28.0	25.8	△ 32.8	○ 36.9	☆ 44.6
川口西公園（リリアパーク）	16.1	12.5	13.3	13.8	20.5	△ 25.9	△ 23.8	16.5
川口緑化センター樹里安	10.6	▲ 4.2	▲ 5.3	9.6	7.3	12.1	△ 20.6	○ 23.1
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	9.9	▲ 3.1	6.7	7.3	8.6	5.2	△ 15.6	12.4
川口マラソン	9.4	5.2	▲ 4.0	10.6	9.9	△ 15.5	7.5	△ 14.9
川口神社	9.2	6.3	5.3	10.1	9.3	6.9	8.1	12.4
川口市マスコット「きゅぼらん」	8.7	9.4	7.3	△ 16.5	9.9	5.2	5.6	7.4
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	8.4	8.3	4.7	7.3	6.6	10.3	10.6	9.1
川口自然公園	7.8	4.2	5.3	6.4	5.3	△ 13.8	7.5	10.7
科学館	7.3	8.3	9.3	△ 16.5	5.3	8.6	5.6	2.5
青木町平和公園	6.9	5.2	4.7	7.8	7.3	10.3	6.9	5.8
川口オートレース場	6.6	4.2	5.3	6.9	4.6	6.9	1.9	5.0
荒川運動公園	5.4	2.1	2.0	5.0	2.0	3.4	8.1	2.5
峯ヶ岡八幡神社	5.2	2.1	2.0	4.1	2.6	8.6	△ 10.6	△ 13.2
旧田中家住宅	5.1	2.1	3.3	7.3	4.6	5.2	8.8	9.1
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	1.0	1.3	2.3	0.7	1.7	7.5	△ 9.9
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.8	7.3	2.0	7.8	4.0	3.4	2.5	0.8
ゴリラ公園	3.5	8.3	4.0	3.7	1.3	5.2	1.9	1.7
地蔵院	3.4	0.0	0.0	3.2	1.3	5.2	6.9	△ 9.9
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	3.1	2.1	4.0	2.3	1.3	3.4	5.0	7.4
市産品フェア	3.0	1.0	2.0	3.2	2.6	3.4	2.5	3.3
錫杖寺	3.0	1.0	0.7	2.3	2.6	1.7	1.3	△ 8.3
アートギャラリー・アトリア	2.8	2.1	2.0	5.5	4.6	3.4	1.9	1.7
かわぐち市民パートナーステーション	1.2	0.0	0.7	0.9	2.0	1.7	0.6	1.7
木曾呂の富士塚	0.9	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	1.9	3.3
旧鋳物問屋鍋平邸	0.5	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0
御成坂公園	0.3	1.0	0.7	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0
その他	10.2	13.5	7.3	11.0	13.2	10.3	9.4	8.3
無回答	7.1	6.3	8.0	5.5	9.9	▲ 1.7	5.6	7.4

3) 好きな場所、もの、行事（勤務地別）

- ・ 勤務地別にみると、「たたら祭り」は、勤務地が川口市内の方が41.8%と高くなっている。
- ・ 「中央図書館」は、勤務地が東京都内の方が39.0%と高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（勤務地別）】

(%)

	全体	川口市内	埼玉県内 (川口市以外)	東京都内	埼玉県、東京都 以外の県
グリーンセンター	47.2	45.0	▲ 41.9	▲ 38.8	▲ 38.5
たたら祭り	35.7	△ 41.8	37.2	32.2	35.9
中央図書館	29.5	▲ 20.1	30.4	△ 39.0	△ 38.5
川口総合文化センターリリア	24.6	20.9	19.6	20.3	25.6
川口西公園（リリアパーク）	16.1	13.8	16.2	14.8	15.4
川口緑化センター樹里安	10.6	9.8	10.8	5.7	12.8
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	9.9	10.3	▲ 4.1	7.7	5.1
川口マラソン	9.4	12.8	8.8	7.7	7.7
川口神社	9.2	8.8	8.8	9.9	7.7
川口市マスコット「きゅぼらん」	8.7	10.1	10.8	10.6	▲ 2.6
SKIPシティ国際Dシネマ映画祭	8.4	7.6	10.1	7.3	▲ 2.6
川口自然公園	7.8	8.8	9.5	5.7	7.7
科学館	7.3	9.3	△ 13.5	6.8	▲ 0.0
青木町平和公園	6.9	7.6	8.8	5.5	10.3
川口オートレース場	6.6	8.4	9.5	4.2	2.6
荒川運動公園	5.4	4.7	7.4	6.6	5.1
峯ヶ岡八幡神社	5.2	4.7	6.1	2.0	2.6
旧田中家住宅	5.1	6.1	5.4	3.7	2.6
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	4.7	2.7	2.0	2.6
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.8	4.4	6.1	3.3	2.6
ゴリラ公園	3.5	3.2	5.4	4.4	2.6
地蔵院	3.4	3.4	4.7	1.3	5.1
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	3.1	2.9	4.7	1.1	2.6
市産品フェア	3.0	3.9	1.4	1.8	0.0
錫杖寺	3.0	2.0	2.7	3.7	0.0
アートギャラリー・アトリア	2.8	3.9	4.1	1.8	2.6
かわぐち市民パートナーズステーション	1.2	2.0	0.7	0.7	2.6
木曾呂の富士塚	0.9	1.2	0.0	0.7	2.6
旧鋳物問屋鍋平邸	0.5	0.2	0.0	0.2	0.0
御成坂公園	0.3	1.0	0.7	0.2	0.0
その他	10.2	8.1	14.9	12.6	7.7
無回答	7.1	8.6	5.4	6.8	5.1

4) 好きな場所、もの、行事（居留意向別）

- ・ 居留意向別にみると、「たたら祭り」が好きと考える人は、住み続けたいとしている人と住み続けたくないとしている人で、大きな差がある。

【好きな場所、もの、行事（居留意向別）】

	全体	住み続けたい	住み続けたくない
グリーンセンター	47.2	50.2	● 33.6
たたら祭り	35.7	38.4	★ 19.9
中央図書館	29.5	29.2	32.2
川口総合文化センターリリア	24.6	26.3	● 13.7
川口西公園（リリアパーク）	16.1	16.7	▲ 10.9
川口緑化センター樹里安	10.6	11.4	8.1
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	9.9	11.0	▲ 2.4
川口マラソン	9.4	9.9	8.1
川口神社	9.2	10.1	6.2
川口市マスコット「きゅぼらん」	8.7	9.2	6.2
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.4	8.7	3.8
川口自然公園	7.8	8.2	4.3
科学館	7.3	7.6	7.1
青木町平和公園	6.9	7.2	3.8
川口オートレース場	6.6	6.9	3.8
荒川運動公園	5.4	5.3	5.2
峯ヶ岡八幡神社	5.2	5.8	2.4
旧田中家住宅	5.1	4.9	6.2
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	4.7	0.9
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.8	4.3	1.9
ゴリラ公園	3.5	4.0	2.4
地藏院	3.4	3.8	0.9
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	3.1	3.5	0.5
市産品フェア	3.0	3.1	2.4
錫杖寺	3.0	3.1	2.4
アートギャラリー・アトリア	2.8	2.8	1.9
かわぐち市民パートナーステーション	1.2	1.3	0.5
木曾呂の富士塚	0.9	1.0	0.5
旧鋳物問屋鍋平邸	0.5	0.5	0.5
御成坂公園	0.3	0.4	0.5
その他	10.2	8.9	△ 18.0
無回答	7.1	5.9	10.4

5) 好きな場所、もの、行事（地域別）

- ・ 地域別にみると、「グリーンセンター」は、神根地域が67.9%と高くなっている。
- ・ 「たたら祭り」は、青木地域が55.9%と高くなっている。
- ・ 「中央図書館」は、中央地域が64.5%、横曽根地域が46.7%と高くなっている。
- ・ 「川口西公園（リリアパーク）」は、横曽根地域が47.8%、中央地域が36.8%と高くなっている。
- ・ 「川口緑化センター樹里安」は、安行地域が30.5%、新郷地域が26.7%と高くなっている。
- ・ 「川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり」は、鳩ヶ谷地域が26.8%と高くなっている。
- ・ 「川口神社」は、中央地域が27.6%と高くなっている。
- ・ 「峯ヶ岡八幡神社」は、新郷地域が35.6%と高くなっている。

【好きな場所、もの、行事（地域別）】

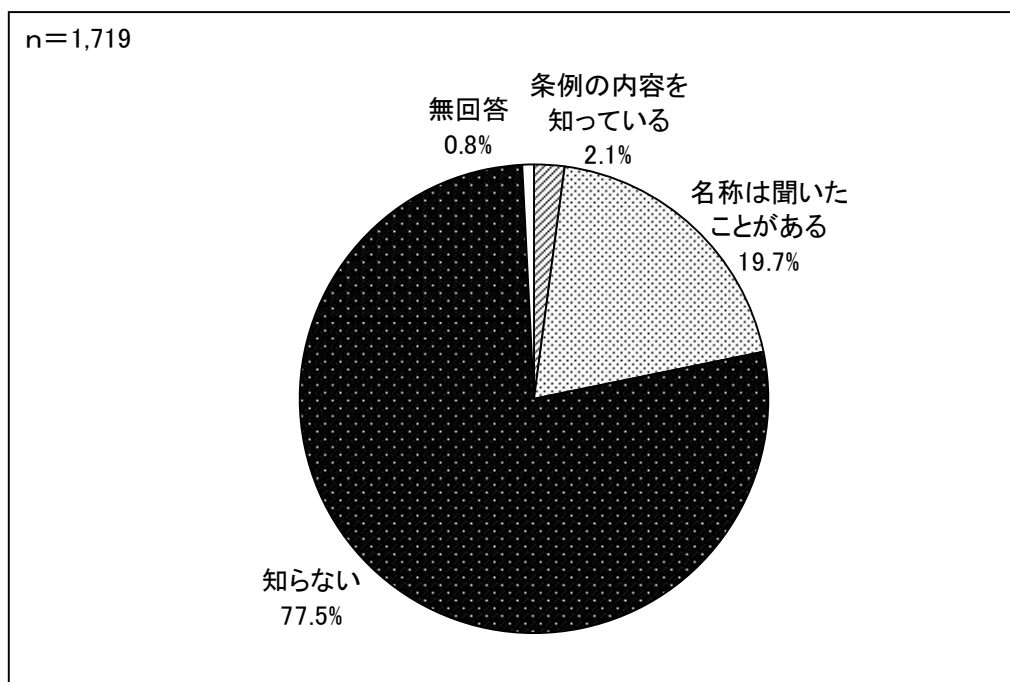
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
グリーンセンター	47.2	▲ 38.2	★ 31.5	51.0	44.4	51.5	☆ 67.9	50.3	△ 55.2	▲ 40.3	△ 52.5
たたら祭り	35.7	32.2	▲ 26.1	☆ 55.9	38.8	35.6	37.3	▲ 28.6	34.3	▲ 27.0	38.4
中央図書館	29.5	☆ 64.5	☆ 46.7	33.8	○ 42.7	▲ 20.8	★ 13.4	▲ 20.0	★ 7.6	★ 11.2	26.3
川口総合文化センターリリア	24.6	○ 38.2	○ 35.9	▲ 16.7	25.3	23.8	25.4	22.7	▲ 17.1	▲ 19.4	21.7
川口西公園（リリアパーク）	16.1	☆ 36.8	☆ 47.8	13.2	16.9	11.9	● 6.0	14.1	● 4.8	● 4.6	● 5.1
川口緑化センター樹里安	10.6	▲ 2.6	▲ 3.8	6.9	6.2	☆ 26.7	14.9	9.7	☆ 30.5	12.8	9.6
川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり	9.9	8.6	6.0	7.4	7.9	7.9	11.2	4.9	△ 16.2	5.6	☆ 26.8
川口マラソン	9.4	▲ 2.6	11.4	11.8	9.6	▲ 4.0	12.7	10.3	9.5	△ 15.3	▲ 3.0
川口神社	9.2	☆ 27.6	△ 15.2	9.3	△ 14.6	7.9	▲ 3.0	4.9	▲ 2.9	▲ 3.1	4.5
川口市マスコット「きゅぼらん」	8.7	11.2	10.3	5.4	8.4	9.9	6.0	10.3	7.6	10.7	9.1
S K I Pシティ国際Dシネマ映画祭	8.4	10.5	4.9	12.3	4.5	5.9	9.0	7.6	9.5	9.7	11.1
川口自然公園	7.8	3.3	▲ 2.2	9.3	3.4	5.9	○ 21.6	9.7	4.8	△ 14.8	4.0
科学館	7.3	10.5	4.3	7.8	7.3	5.0	10.4	6.5	9.5	7.7	7.1
青木町平和公園	6.9	8.6	8.2	○ 18.6	▲ 1.7	4.0	3.7	7.6	3.8	2.0	6.1
川口オートレース場	6.6	3.3	3.3	8.3	6.7	8.9	7.5	5.9	10.5	6.1	8.1
荒川運動公園	5.4	△ 11.8	7.1	2.9	7.3	7.9	3.0	2.7	5.7	4.1	2.5
峯ヶ岡八幡神社	5.2	0.7	0.5	3.4	2.2	☆ 35.6	1.5	2.7	△ 14.3	4.1	3.5
旧田中家住宅	5.1	5.3	3.3	3.9	6.2	6.9	5.2	3.2	6.7	5.1	8.1
赤山城跡（赤山陣屋跡）	4.2	2.6	0.0	1.5	3.4	6.9	7.5	2.2	○ 19.0	4.1	4.0
彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム	3.8	4.6	2.7	4.9	3.9	3.0	7.5	2.2	2.9	3.1	5.1
ゴリラ公園	3.5	1.3	0.5	2.9	2.2	2.0	4.5	○ 15.7	1.0	2.6	2.0
地蔵院	3.4	1.3	0.5	3.9	1.1	3.0	4.5	1.6	2.9	3.6	△ 9.1
赤山歴史自然公園（イイナパーク川口）	3.1	2.0	0.5	1.5	0.6	4.0	7.5	1.1	△ 11.4	3.1	5.1
市産品フェア	3.0	3.3	1.6	4.4	5.6	1.0	1.5	3.2	1.0	2.0	3.5
錫杖寺	3.0	○ 13.2	1.6	3.9	3.4	2.0	1.5	3.2	1.0	0.0	1.5
アートギャラリー・アトリア	2.8	4.6	2.2	2.5	3.4	3.0	3.0	1.6	3.8	4.1	1.0
かわぐち市民パートナーズステーション	1.2	4.6	1.1	0.5	0.6	1.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0
木曽呂の富士塚	0.9	0.7	0.0	0.5	0.6	1.0	3.0	1.6	1.0	1.0	1.0
旧鋳物問屋鍋平邸	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	1.5	1.1	0.0	0.0	1.0
御成坂公園	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
その他	10.2	9.2	8.2	8.8	7.3	9.9	9.7	9.7	9.5	△ 17.3	9.1
無回答	7.1	▲ 2.0	4.9	4.4	9.0	7.9	9.0	8.6	6.7	8.7	8.1

5. 川口市自治基本条例の周知状況

1) 川口市自治基本条例の周知状況

- 平成 21 年 4 月 1 日に施行された「川口市自治基本条例」について、「条例の内容を知っている」(2.1%)と「名称は聞いたことがある」(19.7%)を合わせた周知度は21.8%となっている。

【川口市自治基本条例の周知状況（全体）】



【周知状況の推移】

年度	(人)				(%)
	合計	条例の内容を知っている	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
平成 21 年度	1,607	2.5	21.0	70.1	6.5
平成 22 年度	1,900	2.7	20.2	76.2	0.9
平成 23 年度	1,662	2.3	20.5	76.0	1.2
平成 24 年度	1,610	2.7	18.2	75.4	3.7
平成 25 年度	1,558	2.3	18.3	76.1	3.3
平成 26 年度	1,513	2.5	17.6	78.0	1.9
平成 27 年度	1,621	1.8	21.1	75.6	1.5
平成 28 年度	1,785	1.7	19.2	78.2	0.9
平成 29 年度	1,822	1.8	19.5	77.7	1.0
平成 30 年度	1,719	2.1	19.7	77.5	0.8

2) 川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「名称は聞いたことがある」は男性 75 歳以上が 37.9%と高くなっている。
- ・ 「知らない」は、女性 18～29 歳が 90.6%、女性 30～39 歳が 88.7%と高くなっている。

【川口市自治基本条例の周知状況（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)			
		合計	条例の内容を知っている	名称は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		1,719	2.1	19.7	77.5	0.8
男性		709	3.7	19.5	76.0	0.8
女性		955	0.9	20.2	78.2	0.6
男性	18～29歳	77	1.3	19.5	79.2	0.0
	30～39歳	101	4.0	▲ 11.9	△ 84.2	0.0
	40～49歳	138	2.2	▲ 13.0	△ 84.1	0.7
	50～59歳	109	2.8	18.3	78.9	0.0
	60～64歳	64	1.6	15.6	△ 82.8	0.0
	65～74歳	132	5.3	22.7	▲ 70.5	1.5
	75歳以上	87	△ 8.0	☆ 37.9	★ 50.6	3.4
女性	18～29歳	96	0.0	● 9.4	○ 90.6	0.0
	30～39歳	150	0.0	▲ 10.7	○ 88.7	0.7
	40～49歳	218	0.5	18.8	80.7	0.0
	50～59歳	151	1.3	22.5	74.8	1.3
	60～64歳	58	0.0	22.4	77.6	0.0
	65～74歳	160	1.9	△ 26.3	▲ 70.6	1.3
	75歳以上	121	2.5	○ 31.4	● 65.3	0.8

6. 川口市の状況や取り組みについての実感

1) 状況や取り組みについての実感

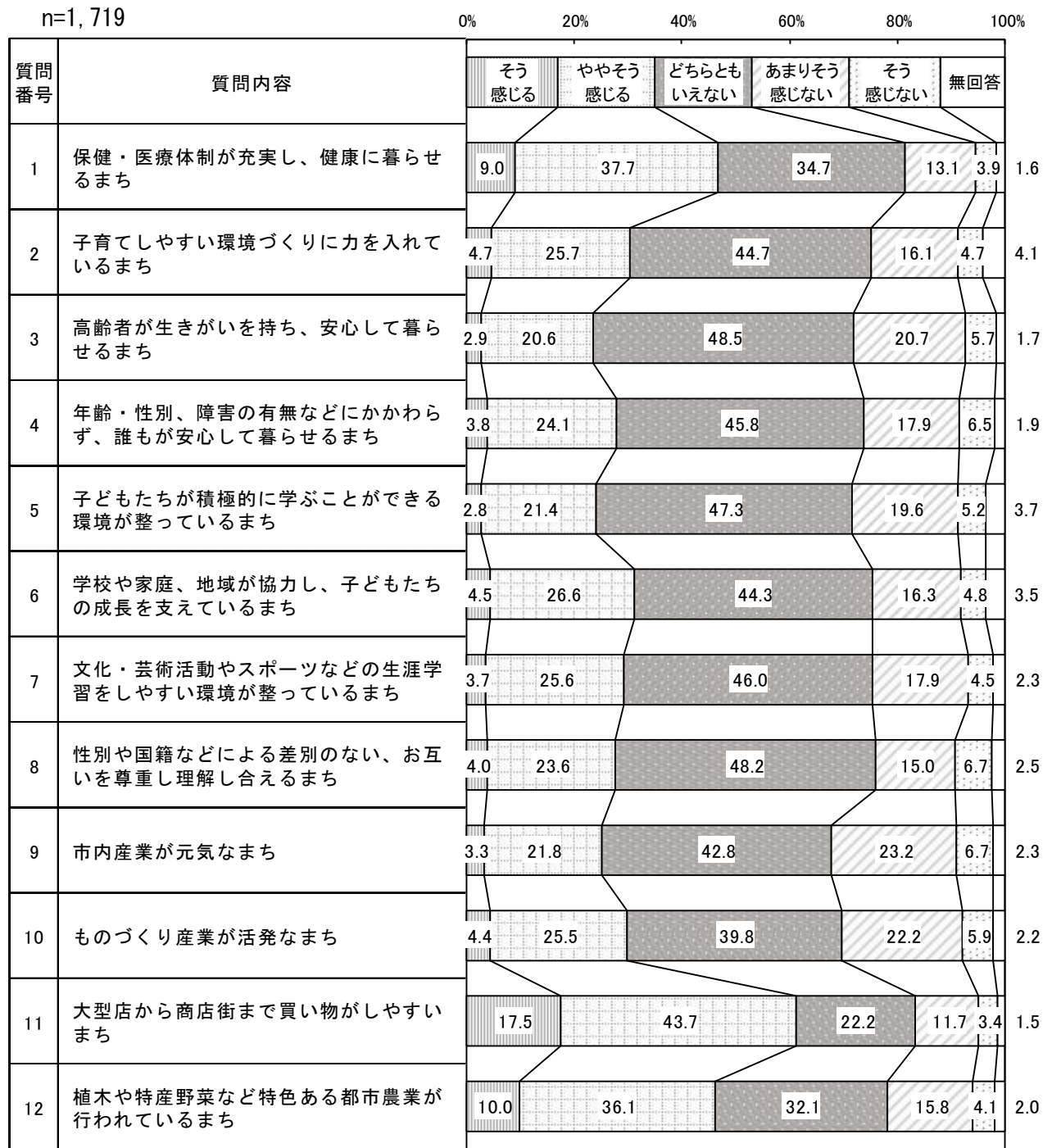
- 川口市におけるまちづくりの基本的な方向性を示す23の状況や取り組みについて、それぞれ5段階で評価をもらった。
- 「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答の順位は以下のとおりであり、「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」が最も高くなっている。

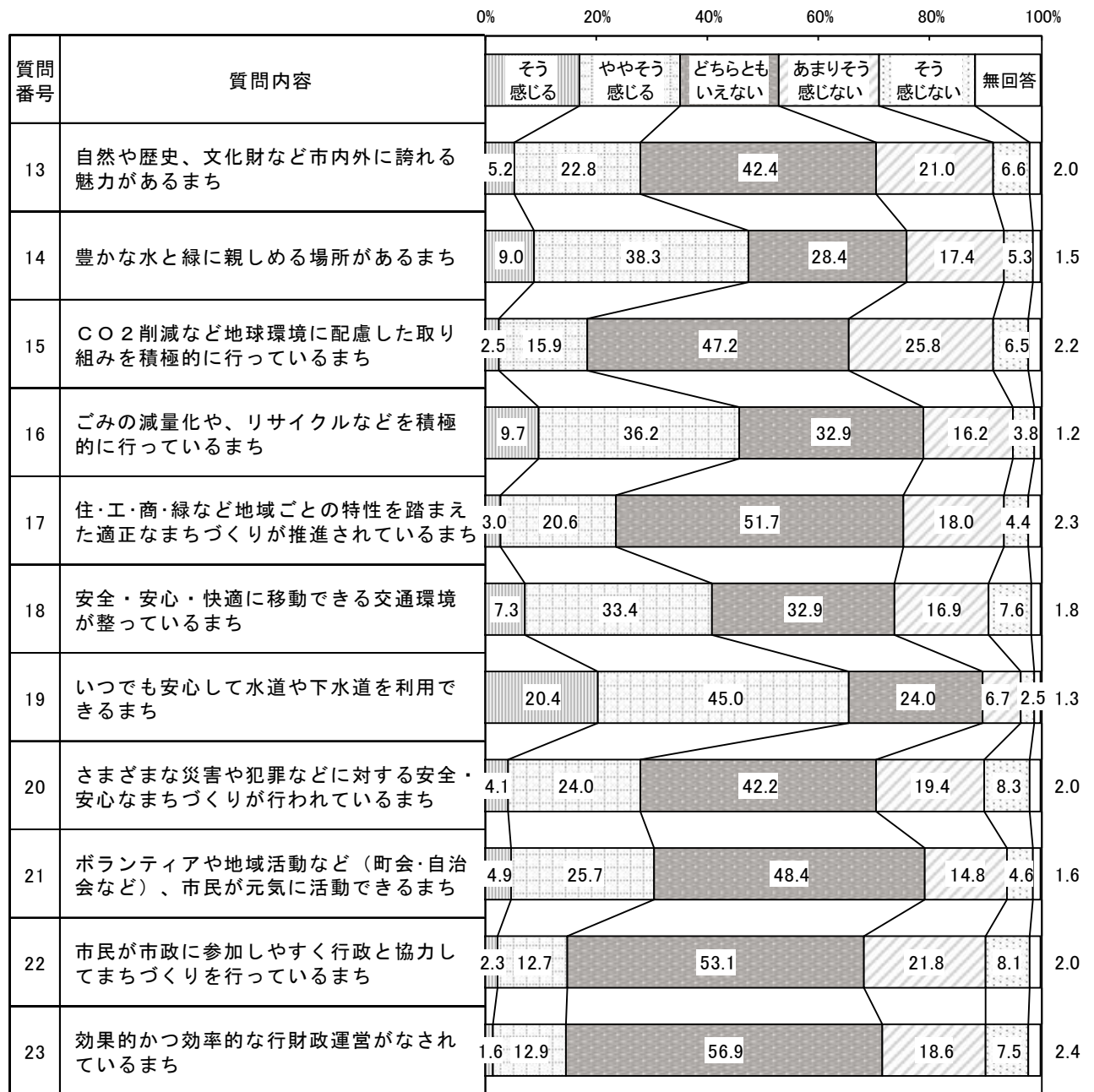
「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答	%
いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	65.4
大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	61.2
豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	47.4
保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.7
植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	46.1
ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	45.9
安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	40.8
学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	31.1
ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	30.5
子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	30.4
ものづくり産業が活発なまち	29.9
文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	29.3
さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	28.1
自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	28.0
年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	27.9
性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	27.6
市内産業が元気なまち	25.1
子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2
住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	23.6
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	23.4
CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	18.4
市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	15.0
効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	14.5

- 一方、「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答の順位は以下のとおりであり、「CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」が最も高くなっている。

「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答	%
CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	32.2
市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	30.0
市内産業が元気なまち	29.9
ものづくり産業が活発なまち	28.0
さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	27.7
自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	27.6
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	26.4
効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	26.1
子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.8
安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	24.5
年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	24.4
豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	22.7
文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	22.4
住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	22.3
性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	21.8
学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	21.1
子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	20.8
ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	20.0
植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	19.9
ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	19.4
保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	17.0
大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	15.1
いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	9.2

【状況や取り組みについての実感】





2) 状況や取り組みについての実感（性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が40%以上ある項目の数は、女性18～29歳が13項目と最も多くなっている。

「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が40%以上の項目数			
男性 18～29 歳	4	女性 18～29 歳	13
男性 30～39 歳	5	女性 30～39 歳	7
男性 40～49 歳	4	女性 40～49 歳	7
男性 50～59 歳	6	女性 50～59 歳	7
男性 60～64 歳	4	女性 60～64 歳	6
男性 65～74 歳	6	女性 65～74 歳	5
男性 75 歳以上	7	女性 75 歳以上	7

- 「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」では、女性18～29歳(61.5%)、男性75歳以上(57.5%)が高くなっている。
- 「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」では、女性18～29歳(43.8%)、男性30～39歳(40.6%)が高くなっている。
- 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」では、女性18～29歳(40.6%)、女性75歳以上(34.7%)が高くなっている。
- 「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」では、女性18～29歳(46.9%)が高くなっている。
- 「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」では、女性18～29歳(38.5%)が高くなっている。
- 「学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち」では、女性18～29歳(43.8%)が高くなっている。
- 「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」では、女性18～29歳(49.0%)が高くなっている。
- 「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」では、女性18～29歳(42.7%)が高くなっている。
- 「市内産業が元気なまち」では、女性18～29歳(36.5%)、男性18～29歳(36.4%)が高くなっている。
- 「ものづくり産業が活発なまち」では、女性30～39歳(40.0%)が高くなっている。
- 「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」では、男性30～39歳(72.3%)、女性40～49歳(71.6%)、男性18～29歳(71.4%)が高くなっている。
- 「植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち」では、女性50～59歳(56.3%)が高くなっている。
- 「自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち」では、女性18～29歳(37.5%)、女性65～74歳(33.1%)が高くなっている。

- 「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」では、女性 18～29 歳（57.3%）、女性 65～74 歳（53.1%）が高くなっている。
- 「CO2 削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」では、女性 18～29 歳（28.1%）が高くなっている。
- 「ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち」では、男性 75 歳以上（67.8%）、女性 75 歳以上（66.9%）が高くなっている。
- 「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち」では、女性 75 歳以上（33.1%）、男性 75 歳以上（28.7%）が高くなっている。
- 「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」では、女性 18～29 歳（56.3%）が高くなっている。
- 「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」では、男性 75 歳以上（75.9%）が高くなっている。
- 「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」では、男性 75 歳以上（41.4%）、女性 75 歳以上（40.5%）が高くなっている。
- 「ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち」では、女性 18～29 歳（39.6%）、男性 75 歳以上（37.9%）が高くなっている。
- 「市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち」では、男性 75 歳以上（25.3%）が高くなっている。
- 「効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち」では、男性 75 歳以上（27.6%）が高くなっている。

【そう感じる・ややそう感じると回答した割合（男性・年齢別）】

質問 番号	質問内容	全体	男性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.7	△ 55.8	50.5	46.4	△ 52.3	● 32.8	45.5	○ 57.5
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	30.4	▲ 23.4	○ 40.6	32.6	27.5	● 18.8	25.8	▲ 24.1
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	23.4	27.3	▲ 16.8	23.9	25.7	▲ 17.2	▲ 15.9	△ 31.0
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	27.9	31.2	26.7	25.4	26.6	● 15.6	27.3	31.0
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	△ 32.5	27.7	22.5	23.9	23.4	▲ 18.9	24.1
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	31.1	28.6	28.7	△ 37.0	28.4	● 20.3	27.3	32.2
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	29.3	26.0	29.7	26.8	29.4	▲ 21.9	▲ 22.0	28.7
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	27.6	28.6	28.7	26.1	▲ 20.2	28.1	25.8	26.4
9	市内産業が元気なまち	25.1	○ 36.4	△ 32.7	21.0	21.1	▲ 18.8	▲ 16.7	26.4
10	ものづくり産業が活発なまち	29.9	△ 36.4	30.7	25.4	25.7	▲ 23.4	25.8	32.2
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	61.2	○ 71.4	○ 72.3	60.9	60.6	▲ 54.7	● 50.0	★ 40.2
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	46.1	● 32.5	▲ 36.6	44.9	45.9	△ 51.6	45.5	41.4
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	28.0	24.7	▲ 21.8	24.6	27.5	23.4	28.8	26.4
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	47.4	● 35.1	49.5	▲ 39.1	50.5	▲ 37.5	46.2	49.4
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	18.4	16.9	14.9	● 5.8	▲ 10.1	▲ 9.4	20.5	△ 25.3
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	45.9	▲ 39.0	▲ 39.6	★ 28.3	41.3	46.9	△ 53.8	☆ 67.8
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	23.6	27.3	21.8	19.6	22.0	● 12.5	23.5	△ 28.7
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	40.8	○ 51.9	36.6	38.4	35.8	▲ 31.3	39.4	39.1
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	65.4	61.0	61.4	63.0	66.1	60.9	65.2	○ 75.9
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	28.1	29.9	● 16.8	▲ 21.7	▲ 22.9	28.1	29.5	○ 41.4
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	30.5	32.5	30.7	29.0	25.7	▲ 21.9	28.0	△ 37.9
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	15.0	19.5	△ 20.8	12.3	11.0	▲ 7.8	15.2	○ 25.3
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	14.5	16.9	14.9	12.3	11.0	▲ 4.7	12.1	○ 27.6

【そう感じる・ややそう感じると回答した割合（女性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	女性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.7	○ 61.5	50.0	44.0	43.7	● 34.5	▲ 38.1	51.2
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	30.4	○ 43.8	34.7	33.9	△ 37.1	31.0	● 19.4	▲ 24.8
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	23.4	☆ 40.6	21.3	▲ 17.0	20.5	25.9	23.1	○ 34.7
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	27.9	☆ 46.9	26.7	28.4	27.8	25.9	25.6	32.2
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	○ 38.5	27.3	25.7	23.8	▲ 17.2	▲ 17.5	22.3
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	31.1	○ 43.8	33.3	33.0	33.8	27.6	26.9	33.9
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	29.3	☆ 49.0	27.3	31.7	△ 35.1	29.3	30.0	26.4
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	27.6	☆ 42.7	△ 34.7	27.5	27.8	29.3	▲ 20.0	24.8
9	市内産業が元気なまち	25.1	○ 36.5	△ 32.7	22.0	△ 30.5	▲ 19.0	23.1	▲ 19.8
10	ものづくり産業が活発なまち	29.9	△ 38.5	○ 40.0	31.7	△ 35.8	▲ 20.7	27.5	▲ 22.3
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	61.2	△ 70.8	△ 70.7	○ 71.6	65.6	▲ 55.2	● 50.6	▲ 54.5
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	46.1	41.7	44.0	△ 56.0	○ 56.3	43.1	46.9	42.1
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	28.0	△ 37.5	30.0	25.2	29.8	27.6	△ 33.1	28.1
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	47.4	△ 57.3	48.7	45.9	49.0	43.1	△ 53.1	52.1
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	18.4	△ 28.1	16.7	17.0	21.2	20.7	△ 25.0	△ 25.6
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	45.9	46.9	▲ 40.0	▲ 40.4	44.4	△ 55.2	△ 51.3	☆ 66.9
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	23.6	25.0	21.3	22.0	24.5	19.0	25.0	△ 33.1
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	40.8	☆ 56.3	38.0	△ 46.3	43.7	44.8	38.1	▲ 34.7
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	65.4	△ 71.9	60.7	64.2	67.5	67.2	68.8	68.6
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	28.1	29.2	28.0	▲ 22.5	▲ 22.5	31.0	△ 38.1	○ 40.5
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	30.5	△ 39.6	29.3	29.8	33.1	32.8	30.6	33.1
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	15.0	19.8	10.0	10.1	16.6	12.1	13.8	△ 20.7
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	14.5	△ 21.9	12.7	11.5	14.6	10.3	10.6	△ 23.1

3) 状況や取り組みについての実感（地域別）

- 地域別にみると、「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が40%以上ある項目の数は、中央地域、青木地域、戸塚地域、鳩ヶ谷地域が7項目と多くなっている。

「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が40%以上の項目数			
中央地域	7	神根地域	6
横曽根地域	4	芝地域	4
青木地域	7	安行地域	6
南平地域	6	戸塚地域	7
新郷地域	6	鳩ヶ谷地域	7

- 「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」では、神根地域（52.2%）が高くなっている。
- 「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」では、中央地域（37.5%）が高くなっている。
- 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」では、神根地域（32.1%）、青木地域（28.9%）が高くなっている。
- 「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」では、大きな差はみられない。
- 「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」では、神根地域（18.7%）が低くなっている。
- 「学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち」では、新郷地域（25.7%）が低くなっている。
- 「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」では、大きな差はみられない。
- 「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」では、中央地域（32.9%）、戸塚地域（32.7%）が高くなっている。
- 「市内産業が元気なまち」では、新郷地域（31.7%）、南平地域（30.9%）が高くなっている。
- 「ものづくり産業が活発なまち」では、南平地域（35.4%）が高くなっている。
- 「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」では、中央地域（79.6%）、横曽根地域（71.7%）が高くなっている。
- 「植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち」では、戸塚地域（57.7%）、安行地域（57.1%）、新郷地域（56.4%）が高くなっている。
- 「自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち」では、神根地域（38.8%）が高くなっている。
- 「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」では、安行地域（62.9%）、神根地域（62.7%）が高くなっている。

- 「CO2 削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち」では、新郷地域、安行地域（ともに 26.7%）が高くなっている。
- 「ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち」では、安行地域（58.1%）が高くなっている。
- 「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち」では、大きな差はみられない。
- 「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」では、戸塚地域（50.5%）が高くなっており、新郷地域（25.7%）が低くなっている。
- 「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」では、横曽根地域（73.4%）、中央地域（72.4%）が高くなっている。
- 「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」では、大きな差はみられない。
- 「ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち」では、大きな差はみられない。
- 「市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち」では、安行地域（7.6%）が低くなっている。
- 「効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち」では、安行地域（8.6%）が低くなっている。

【そう感じる・ややそう感じると回答した割合（地域別）】

質問 番号	質問内容	(%)										
		全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.7	51.3	46.2	49.0	46.1	42.6	△ 52.2	43.2	42.9	48.5	49.0
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	30.4	△ 37.5	32.6	32.8	28.7	28.7	28.4	▲ 24.3	29.5	33.2	31.8
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	23.4	21.7	23.4	△ 28.9	20.2	27.7	△ 32.1	20.5	▲ 17.1	20.4	25.8
4	年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	27.9	30.9	25.0	27.0	26.4	30.7	29.9	29.2	27.6	28.6	31.3
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	27.6	25.0	27.0	26.4	22.8	▲ 18.7	24.3	26.7	25.5	21.7
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	31.1	33.6	28.3	35.8	34.8	▲ 25.7	29.9	30.8	26.7	35.7	31.3
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	29.3	32.9	33.2	33.3	27.0	30.7	29.1	26.5	29.5	30.6	24.7
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	27.6	△ 32.9	29.9	23.0	30.9	26.7	29.1	27.0	24.8	△ 32.7	25.3
9	市内産業が元気なまち	25.1	25.7	25.5	26.5	△ 30.9	△ 31.7	26.1	▲ 15.7	25.7	27.0	22.2
10	ものづくり産業が活発なまち	29.9	32.9	31.5	31.9	△ 35.4	32.7	26.1	▲ 21.6	31.4	32.1	27.8
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	61.2	☆ 79.6	○ 71.7	△ 69.1	60.1	▲ 54.5	▲ 51.5	60.5	● 50.5	60.2	▲ 51.5
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	46.1	42.1	▲ 39.1	42.6	▲ 39.9	○ 56.4	△ 54.5	▲ 39.5	○ 57.1	○ 57.7	46.0
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	28.0	28.3	▲ 19.0	25.5	25.8	△ 35.6	○ 38.8	▲ 22.7	△ 34.3	31.6	30.3
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	47.4	▲ 41.4	▲ 39.1	46.1	▲ 41.0	○ 58.4	☆ 62.7	● 37.3	☆ 62.9	△ 55.1	46.5
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	18.4	19.7	▲ 8.7	19.1	20.8	△ 26.7	18.7	15.1	△ 26.7	21.9	17.2
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	45.9	42.1	● 34.2	49.0	48.9	△ 51.5	48.5	45.9	○ 58.1	48.0	46.0
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	23.6	24.3	22.3	23.0	26.4	25.7	26.1	22.2	25.7	23.5	22.2
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	40.8	41.4	43.5	43.6	41.0	★ 25.7	39.6	39.5	● 26.7	△ 50.5	42.9
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	65.4	△ 72.4	△ 73.4	67.2	64.6	61.4	61.2	69.7	66.7	63.3	▲ 59.6
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	28.1	26.3	30.4	26.0	29.2	27.7	27.6	30.8	26.7	26.0	30.8
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	30.5	27.6	31.0	31.9	32.0	30.7	33.6	29.7	30.5	30.1	31.3
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	15.0	11.2	13.6	15.2	18.0	17.8	13.4	17.3	▲ 7.6	14.8	18.2
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	14.5	15.1	13.0	13.2	17.4	15.8	18.7	16.8	▲ 8.6	12.8	14.1

7. 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

1) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの

- 川口市の状況や取り組み 23 項目のうち、今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、上位5位をあげてもらった。
- 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいものとして、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」（46.5%）、「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」（43.2%）、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」（36.5%）、「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」（30.3%）「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」（29.9%）が上位5項目となっている。

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの	%
保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.5
さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.2
高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	36.5
安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	30.3
子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	29.9
効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	24.4
子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2
年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.6
豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	20.5
大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	19.4
文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	16.9
学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	15.8
ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	14.8
市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.8
性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	11.4
いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	11.1
市内産業が元気なまち	10.9
自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	10.6
CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	10.5
植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	10.0
ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	9.7
住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.5
ものづくり産業が活発なまち	7.1

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（全体）（5つまで選択）】

質問番号	質問内容	0%	20%	40%	60%	
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち					46.5
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち					29.9
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち					36.5
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち					21.6
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち					24.2
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち					15.8
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち					16.9
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち					11.4
9	市内産業が元気なまち					10.9
10	ものづくり産業が活発なまち					7.1
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち					19.4
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち					10.0
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち					10.6
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち					20.5
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち					10.5
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち					14.8
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち					7.5
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち					30.3
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち					11.1
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち					43.2
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち					9.7
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち					14.8
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち					24.4
	無回答					6.5

2) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）

- 性別にみると、全体として特に大きな差はみられないが、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」、「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」、「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」は女性がやや高く、「市内産業が元気なまち」、「ものづくり産業が活発なまち」は男性がやや高くなっている。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性別）】

質問番号	質問内容	全体	男性	女性
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.5	▲ 41.3	50.4
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	29.9	25.8	33.3
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	36.5	34.3	38.5
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.6	19.6	23.0
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	20.9	26.5
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	15.8	15.4	16.0
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	16.9	17.2	17.1
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	11.4	13.3	10.3
9	市内産業が元気なまち	10.9	14.8	8.1
10	ものづくり産業が活発なまち	7.1	10.4	4.6
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	19.4	20.6	18.5
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	10.0	10.6	9.8
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	10.6	12.3	9.4
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	20.5	19.5	21.4
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	10.5	10.4	10.9
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	14.8	15.5	14.3
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.5	8.9	6.7
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	30.3	31.5	29.5
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	11.1	10.4	11.3
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.2	43.4	43.2
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	9.7	10.2	9.2
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.8	16.6	13.5
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	24.4	25.1	24.1
	無回答	6.5	7.1	5.5

3) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」では、女性 50～59 歳が 57.0%と高くなっている。
- 「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」では、女性 30～39 歳が 62.0%と高くなっている。
- 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」では、女性 60～64 歳が 58.6%、男性 60～64 歳が 57.8%、女性 65～74 歳が 55.0%と高くなっている。
- 「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」では、女性 30～39 歳が 42.7%と高くなっている。
- 「市内産業が元気なまち」では、男性 60～64 歳が 21.9%、男性 50～59 歳が 21.1%と高くなっている。
- 「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」では、女性 18～29 歳が 31.3%、男性 40～49 歳が 29.7%と高くなっている。
- 「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」では、男性 30～39 歳が 40.6%と高くなっている。
- 「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」では、男性 40～49 歳が 59.4%と高くなっている。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（男性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	男性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.5	● 33.8	43.6	42.8	46.8	△ 51.6	▲ 38.6	● 33.3
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	29.9	△ 35.1	○ 40.6	31.9	★ 11.0	▲ 20.3	● 19.7	▲ 23.0
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	36.5	★ 20.8	★ 15.8	● 23.9	32.1	☆ 57.8	○ 50.0	△ 46.0
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.6	22.1	● 7.9	19.6	△ 31.2	△ 28.1	16.7	▲ 14.9
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	27.3	△ 32.7	△ 30.4	▲ 17.4	● 14.1	★ 9.1	● 13.8
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	15.8	15.6	△ 22.8	18.1	11.0	15.6	14.4	▲ 9.2
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	16.9	△ 22.1	12.9	21.0	15.6	18.8	17.4	12.6
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	11.4	△ 16.9	10.9	13.8	15.6	△ 17.2	9.1	12.6
9	市内産業が元気なまち	10.9	11.7	11.9	11.6	○ 21.1	○ 21.9	14.4	13.8
10	ものづくり産業が活発なまち	7.1	△ 13.0	6.9	10.1	9.2	△ 14.1	10.6	11.5
11	大型店から商店街まで買い物しやすいまち	19.4	△ 24.7	△ 25.7	○ 29.7	21.1	● 6.3	15.9	▲ 13.8
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	10.0	11.7	9.9	8.7	△ 16.5	14.1	9.8	▲ 4.6
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	10.6	13.0	10.9	10.1	14.7	14.1	12.9	11.5
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	20.5	18.2	18.8	20.3	22.0	20.3	21.2	▲ 13.8
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	10.5	14.3	8.9	▲ 4.3	△ 15.6	7.8	11.4	12.6
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	14.8	15.6	10.9	11.6	17.4	17.2	19.7	17.2
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.5	△ 13.0	5.0	4.3	7.3	12.5	10.6	△ 13.8
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	30.3	35.1	○ 40.6	△ 37.7	△ 38.5	▲ 25.0	25.8	★ 12.6
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	11.1	11.7	11.9	8.7	10.1	14.1	10.6	8.0
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.2	▲ 35.1	41.6	☆ 59.4	46.8	★ 23.4	45.5	▲ 35.6
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	9.7	7.8	8.9	▲ 4.3	9.2	12.5	△ 18.9	9.2
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.8	16.9	9.9	10.1	△ 22.9	17.2	△ 23.5	16.1
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	24.4	△ 31.2	27.7	26.8	26.6	▲ 18.8	26.5	▲ 14.9
	無回答	6.5	2.6	5.0	6.5	3.7	3.1	8.3	○ 18.4

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（女性・年齢別）】

(%)

質問 番号	質問内容	全体	女性						
			18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.5	42.7	△ 52.7	△ 55.5	○ 57.0	48.3	50.0	▲ 38.0
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	29.9	○ 44.8	☆ 62.0	○ 41.7	● 17.9	31.0	● 18.1	★ 14.0
3	高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせるまち	36.5	★ 13.5	★ 21.3	39.0	○ 50.3	☆ 58.6	☆ 55.0	33.1
4	年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.6	18.8	18.0	△ 29.4	25.8	25.9	20.6	19.8
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	○ 37.5	☆ 42.7	○ 35.8	▲ 15.2	27.6	● 13.8	● 11.6
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	15.8	△ 24.0	△ 25.3	16.1	11.9	15.5	▲ 10.6	▲ 10.7
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	16.9	16.7	△ 22.0	17.9	17.2	15.5	13.1	15.7
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	11.4	△ 17.7	△ 16.7	10.6	8.6	▲ 5.2	8.1	▲ 3.3
9	市内産業が元気なまち	10.9	6.3	▲ 4.0	▲ 5.5	6.6	10.3	12.5	14.0
10	ものづくり産業が活発なまち	7.1	9.4	2.7	3.2	▲ 2.0	5.2	6.3	6.6
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	19.4	○ 31.3	19.3	17.4	23.2	▲ 12.1	▲ 11.3	16.5
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	10.0	8.3	7.3	7.3	7.9	10.3	△ 16.3	12.4
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	10.6	11.5	11.3	7.8	▲ 5.3	12.1	10.6	10.7
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	20.5	△ 26.0	17.3	△ 25.7	23.2	△ 27.6	17.5	▲ 14.9
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	10.5	12.5	8.7	9.2	7.9	12.1	11.9	△ 17.4
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	14.8	13.5	12.0	▲ 9.6	17.9	13.8	16.3	19.8
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.5	7.3	3.3	5.5	6.0	12.1	8.8	8.3
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	30.3	△ 38.5	32.0	26.6	31.8	▲ 20.7	28.8	27.3
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	11.1	6.3	9.3	9.6	8.6	10.3	△ 17.5	△ 16.5
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.2	46.9	● 32.7	△ 50.5	○ 53.6	△ 48.3	▲ 38.1	● 32.2
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	9.7	11.5	4.7	5.0	9.3	13.8	14.4	11.6
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.8	15.6	10.7	11.0	15.2	△ 22.4	16.3	9.9
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	24.4	20.8	20.7	25.7	△ 31.1	25.9	25.0	▲ 17.4
	無回答	6.5	▲ 0.0	2.7	2.8	4.6	1.7	6.9	○ 19.0

4) 今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（地域別）

- 地域別にみると他の地域に比べ、中央地域は「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」が28.9%と高くなっている。
- 横曽根地域は「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」が50.0%、「年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち」が27.2%、「ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち」が22.8%、「性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち」が17.4%と高くなっている。
- 青木地域は「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」が54.9%と高くなっている。
- 南平地域は「市内産業が元気なまち」が15.2%と高くなっている。
- 新郷地域は「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」が41.6%と高くなっている。
- 神根地域は「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」が29.9%と高くなっている。
- 芝地域は「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」が41.6%、「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」が16.2%と高くなっている。
- 安行地域は「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」が37.1%、「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」が31.4%、「学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち」が21.0%、「住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち」が14.3%と高くなっている。
- 戸塚地域は「効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち」が31.6%、「文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち」が23.0%と高くなっている。
- 鳩ヶ谷地域は「子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち」が29.8%、「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」が26.3%と高くなっている。

【今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいもの（地域別）】

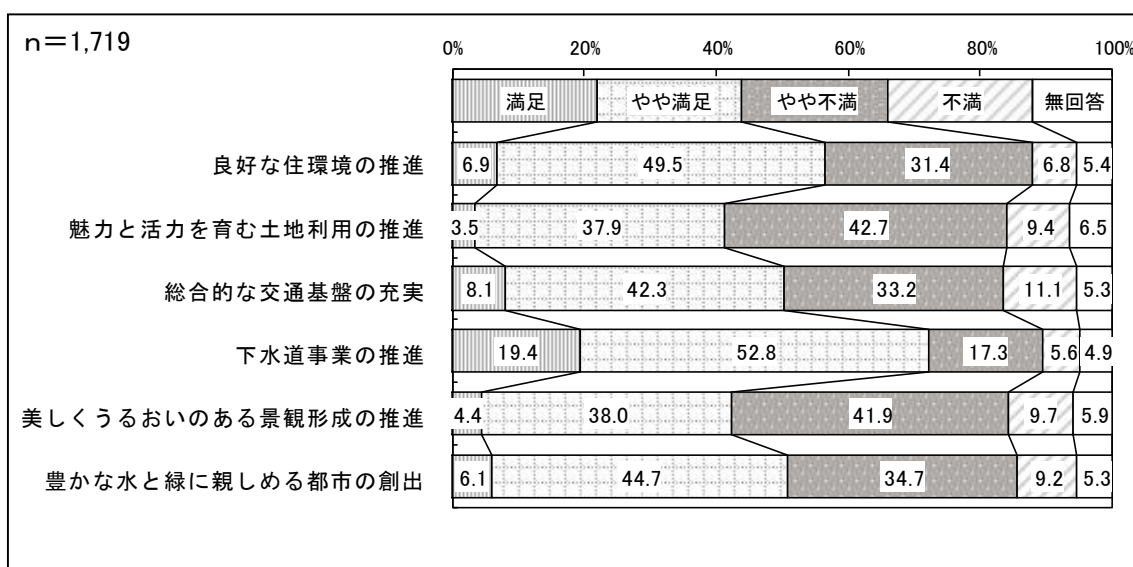
質問 番号	質問内容	(%)										
		全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
1	保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち	46.5	▲ 41.4	50.5	△ 54.9	44.4	51.5	● 35.1	44.9	48.6	45.9	48.0
2	子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち	29.9	29.6	▲ 24.5	28.9	29.8	29.7	31.3	33.0	△ 37.1	34.7	25.3
3	高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち	36.5	40.8	35.3	37.3	34.8	38.6	▲ 31.3	△ 41.6	34.3	36.2	35.4
4	年齢・性別・障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまち	21.6	20.4	△ 27.2	26.5	23.0	▲ 15.8	22.4	19.5	18.1	21.4	17.2
5	子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまち	24.2	26.3	22.8	21.6	▲ 18.0	22.8	△ 29.9	21.1	△ 29.5	25.5	△ 29.8
6	学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまち	15.8	14.5	13.6	14.7	▲ 10.7	19.8	17.2	14.6	△ 21.0	18.4	18.7
7	文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまち	16.9	13.2	△ 22.8	16.2	17.4	▲ 6.9	17.9	15.1	15.2	△ 23.0	17.7
8	性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまち	11.4	16.4	△ 17.4	10.8	10.1	6.9	10.4	14.6	▲ 4.8	9.7	9.1
9	市内産業が元気なまち	10.9	9.9	9.8	12.7	15.2	12.9	8.2	12.4	6.7	11.2	8.1
10	ものづくり産業が活発なまち	7.1	5.9	4.3	10.8	9.6	5.0	6.0	4.9	10.5	4.6	8.6
11	大型店から商店街まで買い物がしやすいまち	19.4	19.7	17.9	19.1	24.2	▲ 13.9	16.4	▲ 11.9	○ 31.4	19.9	24.2
12	植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち	10.0	7.9	9.8	7.4	9.6	9.9	11.9	11.4	11.4	11.2	11.1
13	自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまち	10.6	7.9	13.6	10.3	12.9	10.9	10.4	13.5	9.5	6.6	10.6
14	豊かな水と緑に親しめる場所があるまち	20.5	△ 28.9	20.7	17.6	22.5	▲ 13.9	18.7	17.3	19.0	19.9	△ 26.3
15	CO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまち	10.5	11.2	10.9	10.3	14.0	12.9	11.9	10.3	5.7	10.7	8.1
16	ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち	14.8	17.1	△ 22.8	16.2	▲ 9.6	11.9	14.2	18.9	▲ 7.6	15.8	10.1
17	住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されているまち	7.5	6.6	11.4	3.9	8.4	4.0	9.0	6.5	△ 14.3	7.7	7.6
18	安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち	30.3	34.9	27.2	▲ 25.0	34.3	○ 41.6	34.3	25.9	△ 39.0	26.5	28.8
19	いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち	11.1	9.2	7.6	8.3	10.7	13.9	13.4	△ 16.2	12.4	9.2	13.1
20	さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち	43.2	46.7	△ 50.0	47.5	46.6	▲ 35.6	39.6	41.1	39.0	43.9	41.9
21	ボランティアや地域活動など（町会・自治会など）、市民が元気に活動できるまち	9.7	9.2	4.9	14.2	9.0	13.9	6.7	13.0	10.5	10.7	6.1
22	市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っているまち	14.8	18.4	12.0	16.7	11.2	14.9	11.9	14.1	18.1	14.3	16.7
23	効果的かつ効率的な行財政運営がなされているまち	24.4	28.3	▲ 17.9	27.5	19.7	26.7	▲ 18.7	26.5	22.9	△ 31.6	24.2
	無回答	6.5	2.6	6.0	3.9	7.9	8.9	9.0	5.9	2.9	4.6	8.1

8. 川口市の都市整備に対する満足度

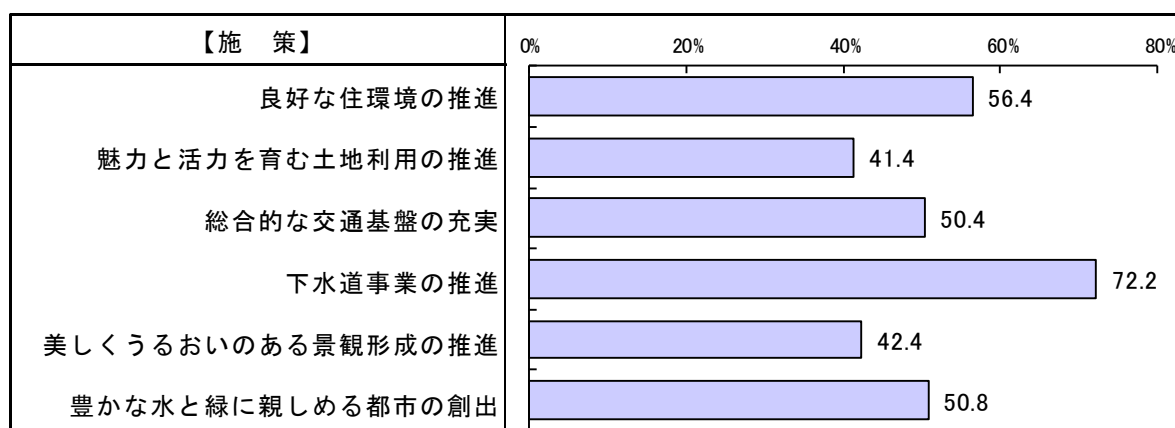
1) 都市整備に対する満足度

- 川口市の都市整備 6 施策に対する満足度について、それぞれ4段階で評価をしてもらったところ、「満足」と「やや満足」を合わせた回答が 50%を超えるのは「良好な住環境の推進」、「総合的な交通基盤の充実」、「下水道事業の推進」、「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」の4施策となっている。

【都市整備に対する満足度（全体）】



【満足・やや満足と回答した割合（全体）】



- 「満足・やや満足」が「やや不満・不満」を下回る施策は「魅力と活力を育む土地利用の推進」、「美しくうるおいのある景観形成の推進」であった。

施策	満足・やや満足 (%)	やや不満・不満 (%)
魅力と活力を育む土地利用の推進	41.4	52.1
美しくうるおいのある景観形成の推進	42.4	51.3

2) 都市整備に対する満足度（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答が「良好な住環境の推進」では、女性 18～29 歳が 69.8%、女性 30～39 歳が 68.0%と高くなっている。
- ・ 「魅力と活力を育む土地利用の推進」では、女性 18～29 歳が 58.3%、男性 18～29 歳が 57.1%と高くなっている。
- ・ 「総合的な交通基盤の充実」では、女性 18～29 歳が 62.5%と高くなっている。
- ・ 「下水道事業の推進」では、男性 18～29 歳、女性 18～29 歳がともに 79.2%と高くなっている。
- ・ 「美しくうるおいのある景観形成の推進」では、男性 30～39 歳が 55.4%と高くなっている。
- ・ 「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」では、女性 18～29 歳が 62.5%と高くなっている。

【満足・やや満足と回答した割合（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
良好な住環境の推進	56.4	△ 66.2	△ 66.3	60.1	56.9	▲ 46.9	54.5	● 41.4
魅力と活力を育む土地利用の推進	41.4	☆ 57.1	△ 49.5	▲ 36.2	▲ 35.8	● 28.1	36.4	● 28.7
総合的な交通基盤の充実	50.4	△ 58.4	51.5	50.0	▲ 45.0	▲ 42.2	48.5	46.0
下水道事業の推進	72.2	△ 79.2	76.2	71.0	67.9	68.8	76.5	67.8
美しくうるおいのある景観形成の推進	42.4	△ 51.9	○ 55.4	39.1	38.5	43.8	▲ 37.1	▲ 36.8
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	50.8	50.6	△ 59.4	53.6	48.6	▲ 42.2	▲ 45.5	47.1

【満足・やや満足と回答した割合（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
良好な住環境の推進	56.4	○ 69.8	○ 68.0	58.3	55.6	53.4	51.9	● 42.1
魅力と活力を育む土地利用の推進	41.4	☆ 58.3	○ 54.0	44.5	44.4	▲ 32.8	38.1	● 30.6
総合的な交通基盤の充実	50.4	○ 62.5	△ 56.0	52.3	50.3	51.7	51.3	▲ 40.5
下水道事業の推進	72.2	△ 79.2	△ 78.7	73.9	74.8	△ 77.6	▲ 66.3	● 59.5
美しくうるおいのある景観形成の推進	42.4	△ 52.1	△ 48.7	42.7	▲ 37.1	37.9	43.1	▲ 34.7
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	50.8	○ 62.5	△ 60.7	52.8	▲ 43.0	● 39.7	53.8	● 40.5

3) 都市整備に対する満足度（地域別）

- 地域別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた回答が「良好な住環境の推進」では、中央地域が68.4%と高くなっている。
- 「魅力と活力を育む土地利用の推進」では、中央地域が52.6%と高くなっている。
- 「総合的な交通基盤の充実」では、青木地域が59.3%、戸塚地域が57.1%と高くなっている。
- 「下水道事業の推進」では、横曽根地域が82.1%、中央地域が81.6%と高くなっている。
- 「美しくうるおいのある景観形成の推進」では、安行地域が53.3%と高くなっている。
- 「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」では、安行地域が59.0%、戸塚地域が56.1%と高くなっている。

【満足・やや満足と回答した割合（地域別）】

	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
良好な住環境の推進	56.4	○ 68.4	53.8	△ 62.7	58.4	▲ 47.5	▲ 50.0	51.4	△ 62.9	△ 63.8	51.5
魅力と活力を育む土地利用の推進	41.4	○ 52.6	40.8	42.2	△ 47.2	36.6	39.6	▲ 35.1	43.8	44.4	37.9
総合的な交通基盤の充実	50.4	53.9	54.9	△ 59.3	51.1	★ 29.7	▲ 44.8	51.9	★ 32.4	△ 57.1	54.5
下水道事業の推進	72.2	△ 81.6	△ 82.1	75.5	74.7	● 58.4	● 60.4	74.1	▲ 66.7	74.5	67.2
美しくうるおいのある景観形成の推進	42.4	42.8	41.3	40.2	42.1	44.6	44.0	▲ 37.3	○ 53.3	△ 50.0	39.9
豊かな水と緑に親しめる都市の創出	50.8	47.4	51.1	52.9	52.2	51.5	54.5	47.0	△ 59.0	△ 56.1	▲ 44.9

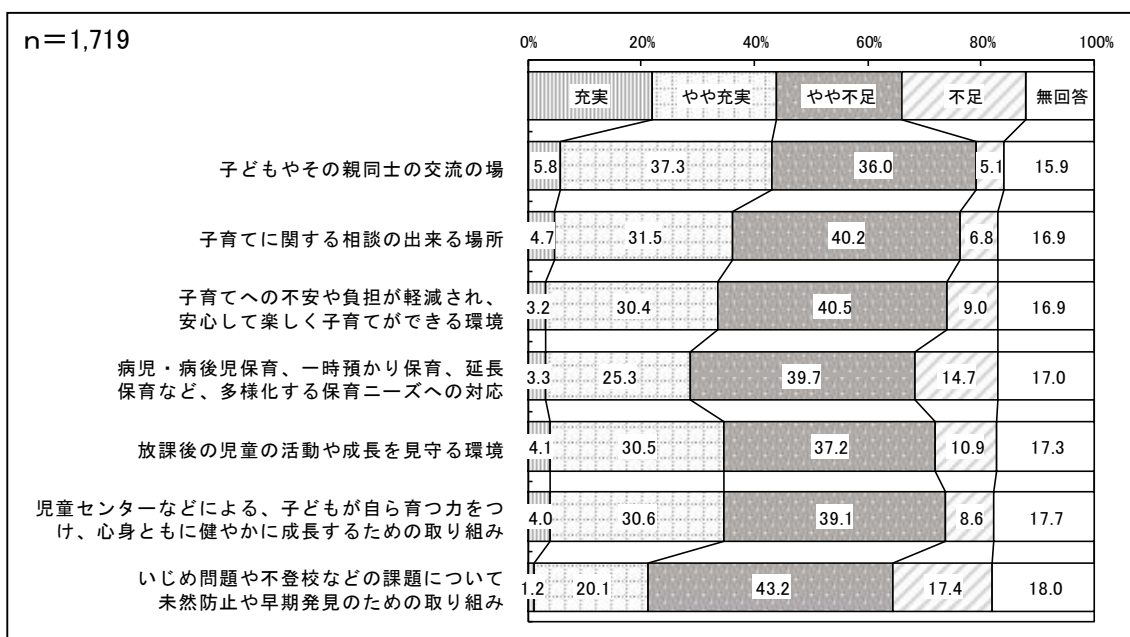
(%)

9. 川口市の子育て・子育て環境づくりに対する充実度

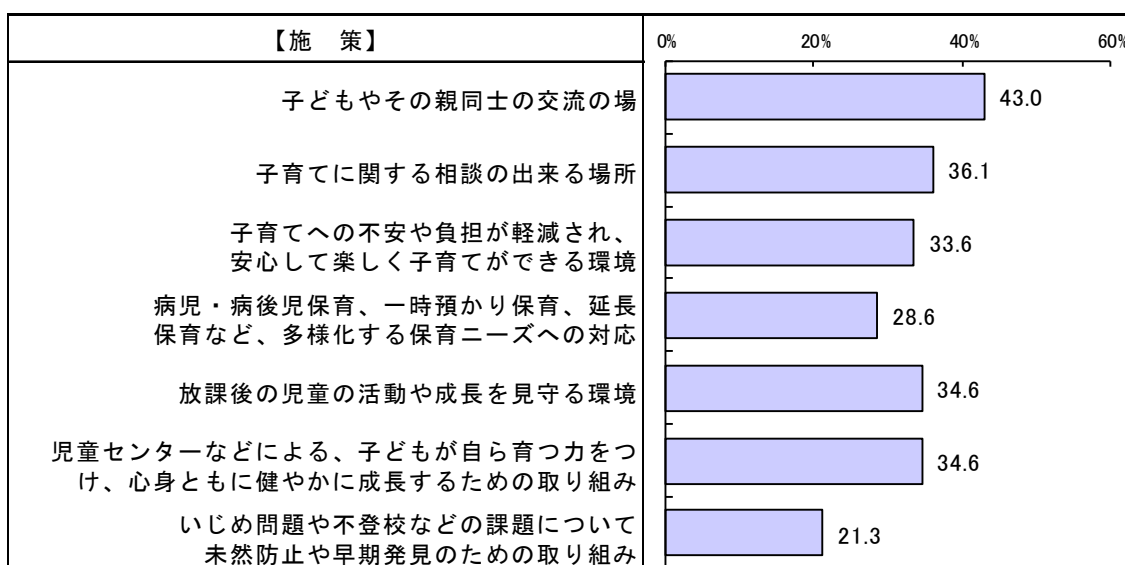
1) 子育て・子育て環境づくりに対する充実度

- 川口市の子育て・子育て環境づくり 7 施策に対する充実度について、それぞれ4段階で評価をしてもらったところ、「充実」と「やや充実」を合わせた回答が50%を超えた施策はなく、40%を超えたのは「子どもやその親同士の交流の場」の1施策であった。

【子育て・子育て環境づくりに対する充実度（全体）】



【充実・やや充実と回答した割合（全体）】



- 「充実・やや充実」が「やや不足・不足」を下回る施策は「子育てに関する相談の出来る場所」、「子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境」、「病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応」、「放課後の児童の活動や成長を見守る環境」、「児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み」、「いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み」であった。

施 策	充実・やや充実(%)	やや不足・不足(%)
子育てに関する相談の出来る場所	36.1	47.0
子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境	33.6	49.4
病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応	28.6	54.5
放課後の児童の活動や成長を見守る環境	34.6	48.1
児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み	34.6	47.6
いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み	21.3	60.6

2) 子育て・子育て環境づくりに対する充実度（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「充実」と「やや充実」を合わせた回答が「子どもやその親同士の交流の場」では、女性 30～39 歳が 58.7%と高くなっている。
- ・ 「子育てに関する相談の出来る場所」では、女性 18～29 歳が 52.1%と高くなっている。
- ・ 「子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境」では、女性 18～29 歳が 55.2%と高くなっている。
- ・ 「病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応」では、女性 18～29 歳が 46.9%と高くなっている。
- ・ 「放課後の児童の活動や成長を見守る環境」では、女性 18～29 歳が 54.2%と高くなっている。
- ・ 「児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み」では、男性 30～39 歳が 51.5%と高くなっている。
- ・ 「いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み」では、男性 18～29 歳が 31.2%、女性 18～29 歳が 30.2%と高くなっている。

【充実・やや充実と回答した割合（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
子どもやその親同士の交流の場	43.0	○ 53.2	○ 56.4	46.4	42.2	★ 26.6	▲ 34.1	★ 27.6
子育てに関する相談の出来る場所	36.1	40.3	○ 50.5	37.7	32.1	● 23.4	● 25.0	★ 17.2
子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境	33.6	○ 44.2	○ 47.5	34.8	33.9	★ 17.2	▲ 25.0	● 21.8
病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応	28.6	△ 35.1	○ 40.6	27.5	33.0	25.0	▲ 23.5	▲ 20.7
放課後の児童の活動や成長を見守る環境	34.6	△ 44.2	△ 42.6	31.2	34.9	▲ 28.1	34.1	▲ 25.3
児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み	34.6	△ 44.2	☆ 51.5	36.2	37.6	31.3	▲ 26.5	★ 19.5
いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み	21.3	△ 31.2	△ 28.7	21.0	23.9	▲ 14.1	17.4	▲ 16.1

【充実・やや充実と回答した割合（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
子どもやその親同士の交流の場	43.0	○ 53.1	☆ 58.7	△ 50.0	45.7	▲ 36.2	▲ 33.1	★ 26.4
子育てに関する相談の出来る場所	36.1	☆ 52.1	○ 50.7	△ 45.4	△ 44.4	32.8	● 22.5	★ 19.8
子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境	33.6	☆ 55.2	○ 44.7	36.7	38.4	29.3	● 21.9	★ 18.2
病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応	28.6	☆ 46.9	28.0	33.0	27.2	25.9	▲ 19.4	● 15.7
放課後の児童の活動や成長を見守る環境	34.6	☆ 54.2	30.7	△ 39.9	△ 39.7	▲ 29.3	▲ 25.6	▲ 26.4
児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み	34.6	○ 49.0	△ 40.0	39.4	△ 41.7	▲ 27.6	● 22.5	★ 18.2
いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み	21.3	△ 30.2	26.0	22.9	22.5	▲ 15.5	▲ 15.0	▲ 14.9

3) 子育て・子育て環境づくりに対する充実度（地域別）

- ・ 地域別にみると、「充実」と「やや充実」を合わせた回答が「子どもやその親同士の交流の場」では、中央地域が51.3%と高くなっている。
- ・ 「子育てに関する相談の出来る場所」では、中央地域が45.4%と高くなっている。
- ・ 「子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境」では、戸塚地域が39.3%、中央地域が38.8%と高くなっている。
- ・ 「病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応」では、南平地域が33.7%と高くなっている。
- ・ 「放課後の児童の活動や成長を見守る環境」では、安行地域が42.9%と高くなっている。
- ・ 「児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み」では、戸塚地域が42.9%、安行地域が41.0%と高くなっている。
- ・ 「いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み」では、神根地域が14.2%と低くなっている。

【充実・やや充実と回答した割合（地域別）】

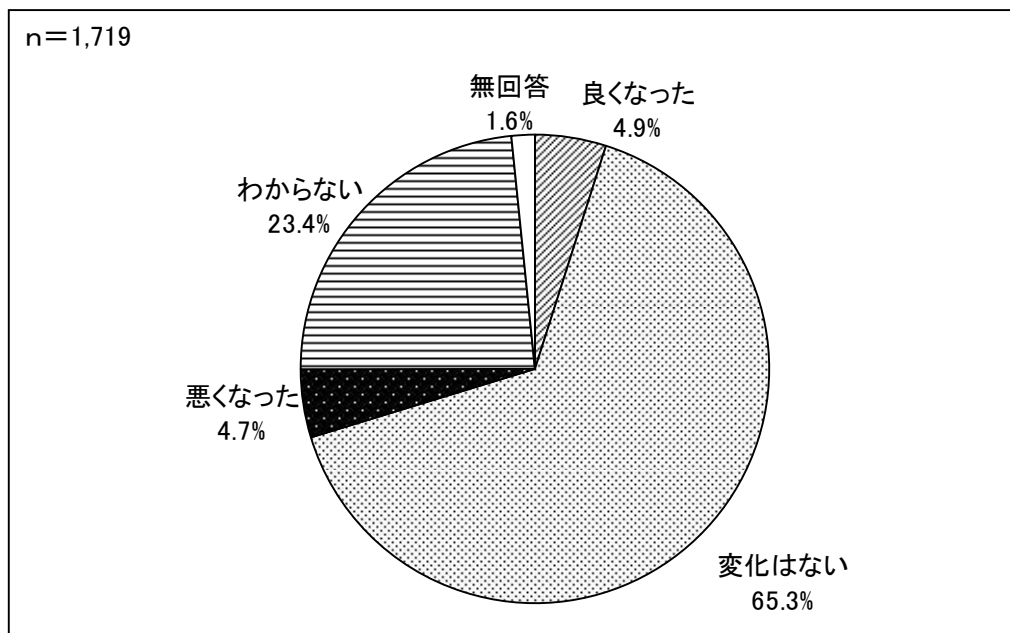
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
子どもやその親同士の交流の場	43.0	△ 51.3	43.5	△ 48.5	41.6	41.6	▲ 35.1	40.5	41.0	△ 48.5	41.9
子育てに関する相談の出来る場所	36.1	△ 45.4	40.8	37.7	▲ 30.3	36.6	35.8	32.4	31.4	40.3	34.8
子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境	33.6	△ 38.8	33.7	36.3	37.6	30.7	32.1	31.9	▲ 27.6	△ 39.3	30.3
病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズへの対応	28.6	27.6	25.5	30.9	△ 33.7	26.7	26.1	27.0	28.6	32.1	29.8
放課後の児童の活動や成長を見守る環境	34.6	38.2	30.4	37.7	38.2	▲ 26.7	33.6	33.0	△ 42.9	36.7	32.8
児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組み	34.6	35.5	30.4	36.8	35.4	30.7	30.6	33.0	△ 41.0	△ 42.9	34.3
いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組み	21.3	24.3	21.2	22.1	25.3	17.8	▲ 14.2	18.9	23.8	25.0	22.7

10. 合併による変化

1) 合併による変化

- 平成 23 年 10 月の鳩ヶ谷市との合併による変化について、65.3%の人は「変化はない」と回答している。一方、「良くなった」が 4.9%、「悪くなった」が 4.7%となっている。

【合併による変化（全体）】



2) 合併による変化（性別、性・年齢別）

- ・ 性別にみると、大きな差はみられない。
- ・ 性・年齢別にみると、「変化はない」とする人は、女性 60～64 歳が 77.6%、男性 65～74 歳が 75.8%と高くなっている。

【合併による変化（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)				
		合計	良くなった	変化はない	悪くなった	わからない	無回答
全体		1,719	4.9	65.3	4.7	23.4	1.6
男性		709	6.1	65.7	3.8	23.4	1.0
女性		955	4.2	65.5	5.4	22.9	1.9
男性	18～29歳	77	3.9	62.3	1.3	△ 32.5	0.0
	30～39歳	101	6.9	★ 42.6	3.0	☆ 47.5	0.0
	40～49歳	138	6.5	63.8	6.5	23.2	0.0
	50～59歳	109	3.7	△ 71.6	3.7	21.1	0.0
	60～64歳	64	9.4	△ 75.0	1.6	▲ 14.1	0.0
	65～74歳	132	5.3	○ 75.8	5.3	● 12.9	0.8
	75歳以上	87	8.0	70.1	2.3	▲ 13.8	5.7
女性	18～29歳	96	1.0	● 55.2	3.1	☆ 39.6	1.0
	30～39歳	150	2.0	● 52.7	5.3	☆ 39.3	0.7
	40～49歳	218	6.4	67.9	6.4	▲ 18.3	0.9
	50～59歳	151	5.3	△ 74.2	7.3	● 12.6	0.7
	60～64歳	58	0.0	○ 77.6	5.2	▲ 15.5	1.7
	65～74歳	160	5.0	69.4	5.6	18.8	1.3
	75歳以上	121	5.0	64.5	3.3	19.0	△ 8.3

3) 合併による変化（地域別）

- 地域別にみると、「良くなった」とする人は鳩ヶ谷地域が13.1%と高く、「悪くなった」とする人でも鳩ヶ谷地域が24.7%と高くなっている。
- 「変化はない」とする人は、神根地域が79.9%と高くなっている。

【合併による変化（地域別）】

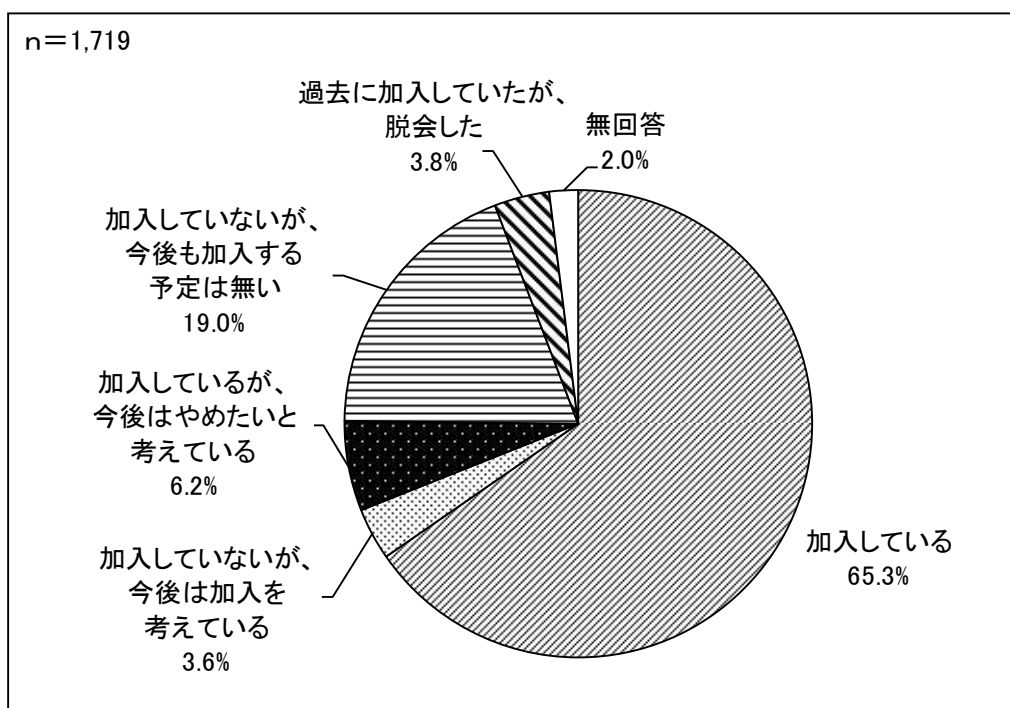
	(人)	(%)				
	合計	良くなった	変化はない	悪くなった	わからない	無回答
全体	1,719	4.9	65.3	4.7	23.4	1.6
中央地域	152	3.3	68.4	2.0	26.3	0.0
横曽根地域	184	1.6	64.1	2.2	△ 29.9	2.2
青木地域	204	4.4	△ 74.0	2.9	▲ 17.2	1.5
南平地域	178	4.5	△ 74.7	3.4	▲ 15.7	1.7
新郷地域	101	8.9	62.4	3.0	21.8	4.0
神根地域	134	5.2	○ 79.9	0.0	● 12.7	2.2
芝地域	185	2.2	69.7	0.5	26.5	1.1
安行地域	105	1.0	67.6	1.9	△ 28.6	1.0
戸塚地域	196	3.1	62.8	1.0	△ 32.7	0.5
鳩ヶ谷地域	198	△ 13.1	★ 41.4	☆ 24.7	19.2	1.5

1 1. 町会・自治会への加入状況

1) 町会・自治会への加入状況

- 町会・自治会への加入状況について、「加入している」との回答が 65.3%となっている。また、「加入していないが、今後は加入を考えている」は 3.6%となっている。

【町会・自治会への加入状況（全体）】



2) 町会・自治会への加入状況（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「加入している」は、男性 75 歳以上が 85.1%、男性 65～74 歳が 82.6%、女性 75 歳以上が 81.0%と高くなっている。
- 「加入していないが、今後も加入する予定は無い」は、女性 18～29 歳が 43.8%、男性 18～29 歳が 41.6%、男性 30～39 歳が 36.6%、女性 30～39 歳が 34.7%と高くなっている。

【町会・自治会への加入状況（性別、性・年齢別）】

		(人)			(%)			
	合計	加入している	加入していないが、 今後は加入を考えている	加入しているが、 今後はやめたいと考えている	加入していないが、 今後も加入する予定は無い	過去に加入していたが、 脱会した	無回答	
全体	1,719	65.3	3.6	6.2	19.0	3.8	2.0	
男性	709	66.4	4.1	5.1	19.9	2.8	1.7	
女性	955	64.5	3.1	6.7	18.6	4.8	2.2	
男 性	18～29歳	77	★ 33.8	△ 9.1	3.9	☆ 41.6	7.8	3.9
	30～39歳	101	★ 47.5	7.9	5.0	☆ 36.6	1.0	2.0
	40～49歳	138	65.2	3.6	7.2	21.7	2.2	0.0
	50～59歳	109	67.0	2.8	7.3	18.3	3.7	0.9
	60～64歳	64	○ 78.1	3.1	1.6	14.1	3.1	0.0
	65～74歳	132	☆ 82.6	2.3	5.3	● 6.1	2.3	1.5
	75歳以上	87	☆ 85.1	1.1	2.3	● 5.7	1.1	4.6
女 性	18～29歳	96	★ 42.7	5.2	3.1	☆ 43.8	2.1	3.1
	30～39歳	150	★ 46.7	△ 10.0	5.3	☆ 34.7	3.3	0.0
	40～49歳	218	▲ 60.1	1.4	8.3	22.5	6.0	1.8
	50～59歳	151	67.5	0.7	9.9	▲ 11.9	7.9	2.0
	60～64歳	58	○ 79.3	3.4	1.7	▲ 12.1	3.4	0.0
	65～74歳	160	○ 79.4	0.0	8.1	● 4.4	5.6	2.5
	75歳以上	121	☆ 81.0	3.3	5.0	★ 2.5	2.5	5.8

3) 町会・自治会への加入状況（地域別）

- ・ 地域別にみると、「加入している」は、鳩ヶ谷地域が75.3%、南平地域が74.2%、青木地域が72.5%、神根地域が71.6%と高くなっている。
- ・ 「加入していないが、今後も加入する予定は無い」は、戸塚地域が36.7%、中央地域が28.3%と高くなっている。
- ・ 「過去に加入していたが、脱会した」は、新郷地域が11.9%、戸塚地域が9.7%と高くなっている。

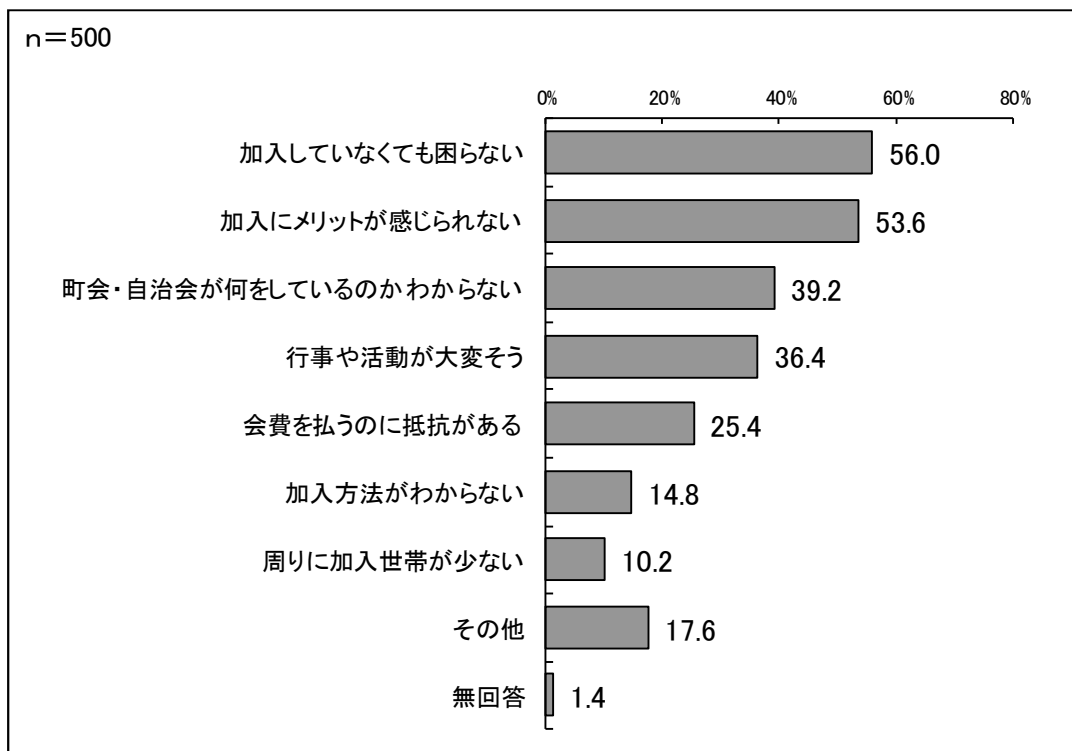
【町会・自治会への加入状況（地域別）】

	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	合計	加入している	加入していないが、 今後は加入を考えている	加入しているが、 今後はやめたいと考えている	加入していないが、 今後も加入する予定は無い	過去に加入していたが、 脱会した	無回答
全体	1,719	65.3	3.6	6.2	19.0	3.8	2.0
中央地域	152	61.2	4.6	4.6	△ 28.3	1.3	0.0
横曽根地域	184	64.1	3.8	4.9	21.7	2.2	3.3
青木地域	204	△ 72.5	4.4	4.4	15.2	2.9	0.5
南平地域	178	△ 74.2	4.5	3.9	▲ 13.5	2.2	1.7
新郷地域	101	64.4	2.0	5.9	▲ 12.9	△ 11.9	3.0
神根地域	134	△ 71.6	1.5	9.0	▲ 13.4	3.0	1.5
芝地域	185	68.1	5.4	6.5	14.1	3.8	2.2
安行地域	105	63.8	3.8	7.6	20.0	3.8	1.0
戸塚地域	196	★ 42.3	3.6	6.1	☆ 36.7	△ 9.7	1.5
鳩ヶ谷地域	198	△ 75.3	1.0	9.6	▲ 12.1	1.0	1.0

4) 町会・自治会への非加入意向の理由

- 「加入しているが、今後はやめたいと考えている」、「加入していないが、今後も加入する予定は無い」、「過去に加入していたが、脱会した」と回答した人について、町会・自治会への非加入意向の理由を聞いたところ、「加入していなくても困らない」が56.0%と最も高く、次いで、「加入にメリットが感じられない」が53.6%、「町会・自治会が何をしているのかわからない」が39.2%、「行事や活動が大変そう」が36.4%、「会費を払うのに抵抗がある」が25.4%、「加入方法がわからない」が14.8%、「周りに加入世帯が少ない」が10.2%となっている。

【町会・自治会への非加入意向の理由（全体）】



5) 町会・自治会への非加入意向の理由（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「加入していなくても困らない」は、女性60～64歳が70.0%、男性18～29歳が68.3%と高くなっている。
- ・ 「加入にメリットが感じられない」は、男性18～29歳が65.9%と高くなっている。
- ・ 「町会・自治会が何をしているのかわからない」は、男性30～39歳が65.1%、女性18～29歳が55.3%と高くなっている。
- ・ 「行事や活動が大変そう」は、女性65～74歳が51.7%、女性75歳以上が50.0%、女性30～39歳が47.7%と高くなっている。
- ・ 「会費を払うのに抵抗がある」は、男性18～29歳が41.5%と高くなっている。
- ・ 「加入方法がわからない」は、男性30～39歳が32.6%と高くなっている。

【町会・自治会への非加入意向の理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
加入していなくても困らない	56.0	○ 68.3	55.8	★ 37.2	△ 62.5	58.3	▲ 50.0	▲ 50.0
加入にメリットが感じられない	53.6	○ 65.9	● 41.9	55.8	56.3	50.0	50.0	★ 37.5
町会・自治会が何をしているのかわからない	39.2	△ 46.3	☆ 65.1	37.2	37.5	● 25.0	● 27.8	● 25.0
行事や活動が大変そう	36.4	▲ 26.8	▲ 27.9	34.9	▲ 28.1	★ 8.3	38.9	● 25.0
会費を払うのに抵抗がある	25.4	☆ 41.5	25.6	● 14.0	25.0	★ 8.3	● 11.1	25.0
加入方法がわからない	14.8	○ 26.8	☆ 32.6	▲ 9.3	12.5	▲ 8.3	● 0.0	● 0.0
周りに加入世帯が少ない	10.2	▲ 4.9	9.3	11.6	12.5	8.3	11.1	● 0.0
その他	17.6	▲ 9.8	★ 2.3	16.3	15.6	★ 0.0	16.7	△ 25.0
無回答	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0

【町会・自治会への非加入意向の理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
加入していなくても困らない	56.0	△ 66.0	58.5	55.0	60.0	○ 70.0	● 41.4	★ 25.0
加入にメリットが感じられない	53.6	▲ 44.7	52.3	△ 61.3	53.3	△ 60.0	58.6	★ 25.0
町会・自治会が何をしているのかわからない	39.2	☆ 55.3	△ 49.2	▲ 32.5	● 24.4	40.0	★ 10.3	★ 16.7
行事や活動が大変そう	36.4	▲ 29.8	○ 47.7	38.8	△ 44.4	★ 20.0	☆ 51.7	○ 50.0
会費を払うのに抵抗がある	25.4	29.8	△ 35.4	28.8	▲ 15.6	★ 10.0	● 13.8	25.0
加入方法がわからない	14.8	19.1	△ 23.1	13.8	▲ 6.7	● 0.0	● 3.4	● 0.0
周りに加入世帯が少ない	10.2	6.4	13.8	13.8	8.9	10.0	10.3	8.3
その他	17.6	14.9	15.4	△ 25.0	△ 24.4	★ 0.0	△ 27.6	☆ 50.0
無回答	1.4	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	△ 10.3	0.0

6) 町会・自治会への非加入意向の理由（地域別）

- ・ 地域別にみると、「加入していなくても困らない」は、南平地域が 74.3%、芝地域が 68.9%と高くなっている。
- ・ 「加入にメリットが感じられない」は、鳩ヶ谷地域が 62.2%、青木地域が 60.9%、戸塚地域が 60.2%、神根地域が 58.8%と高くなっている。
- ・ 「町会・自治会が何をしているのかわからない」は、中央地域が 46.2%、横曽根地域が 45.3%と高くなっている。
- ・ 「行事や活動が大変そう」は、神根地域が 50.0%、新郷地域が 48.4%と高くなっている。
- ・ 「会費を払うのに抵抗がある」は、神根地域が 38.2%、鳩ヶ谷地域が 37.8%と高くなっている。
- ・ 「加入方法がわからない」は、南平地域が 34.3%と高くなっている。

【町会・自治会への非加入意向の理由（地域別）】

(%)

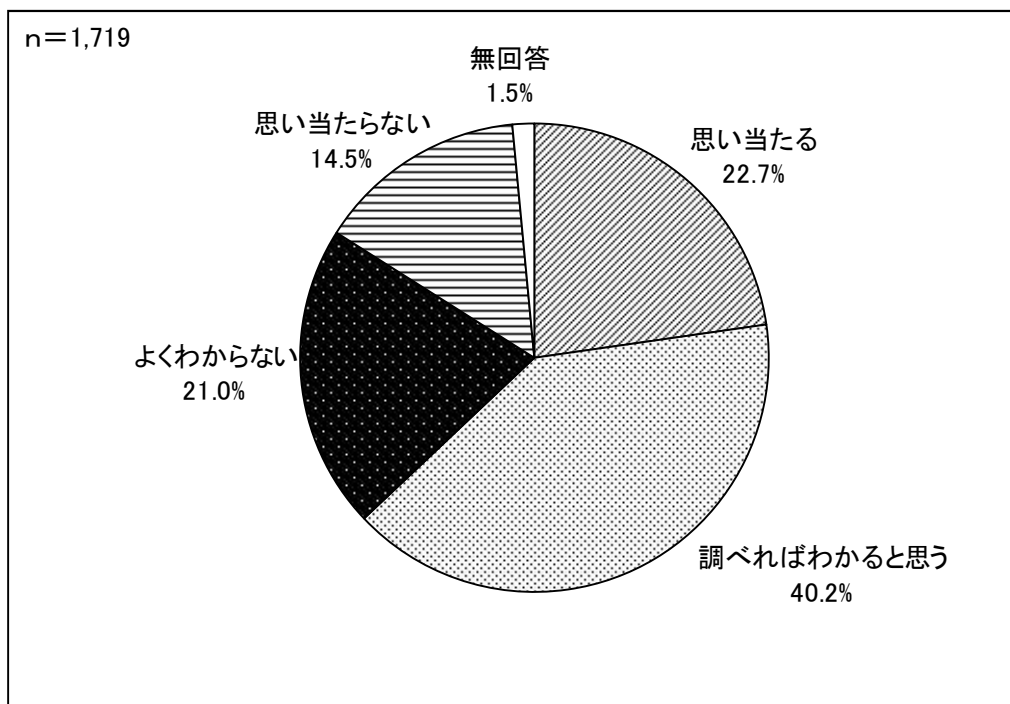
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
加入していなくても困らない	56.0	▲ 48.1	52.8	54.3	☆ 74.3	● 45.2	52.9	○ 68.9	51.5	59.2	51.1
加入にメリットが感じられない	53.6	50.0	★ 35.8	△ 60.9	48.6	▲ 45.2	△ 58.8	55.6	54.5	△ 60.2	△ 62.2
町会・自治会が何をしているのかわからない	39.2	△ 46.2	△ 45.3	41.3	40.0	★ 19.4	35.3	▲ 33.3	▲ 33.3	43.7	42.2
行事や活動が大変そう	36.4	34.6	32.1	32.6	▲ 28.6	○ 48.4	○ 50.0	37.8	△ 45.5	▲ 31.1	35.6
会費を払うのに抵抗がある	25.4	23.1	▲ 17.0	23.9	▲ 20.0	▲ 16.1	○ 38.2	24.4	▲ 18.2	27.2	○ 37.8
加入方法がわからない	14.8	17.3	18.9	17.4	☆ 34.3	● 3.2	11.8	13.3	12.1	13.6	▲ 6.7
周りに加入世帯が少ない	10.2	7.7	9.4	8.7	11.4	12.9	5.9	▲ 2.2	△ 18.2	14.6	11.1
その他	17.6	▲ 11.5	△ 26.4	▲ 10.9	17.1	22.6	17.6	13.3	21.2	15.5	15.6
無回答	1.4	0.0	1.9	4.3	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

1 2. 相談できる人や機関

1) 相談できる人や機関

- 暮らしの中で困り事があった場合、相談できる人や機関が思い当たるかについて、「調べればわかると思う」が40.2%と最も高く、次いで、「思い当たる」が22.7%、「よくわからない」が21.0%、「思い当たらない」が14.5%となっている。

【相談できる人や機関（全体）】



2) 相談できる人や機関（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「思い当たる」は、女性 75 歳以上が 36.4%と高く、一方、男性 40～49 歳が 10.9%と低くなっている。
- ・ 「よくわからない」は、女性 18～29 歳が 32.3%、男性 60～64 歳が 31.3%と高くなっている。
- ・ 「思い当たらない」は、男性 18～29 歳が 28.6%、男性 40～49 歳が 24.6%と高くなっている。

【相談できる人や機関（性別、性・年齢別）】

		(人)			(%)		
		合計	思い当たる	調べれば わかると思う	よく わからない	思い 当たらない	無回答
全体		1,719	22.7	40.2	21.0	14.5	1.5
男性		709	21.0	38.9	21.7	16.6	1.7
女性		955	24.4	41.4	20.4	12.7	1.2
男 性	18～29歳	77	19.5	▲ 31.2	20.8	○ 28.6	0.0
	30～39歳	101	20.8	△ 45.5	16.8	16.8	0.0
	40～49歳	138	● 10.9	40.6	23.9	○ 24.6	0.0
	50～59歳	109	23.9	45.0	▲ 14.7	16.5	0.0
	60～64歳	64	21.9	37.5	○ 31.3	▲ 9.4	0.0
	65～74歳	132	△ 28.0	35.6	25.8	▲ 8.3	2.3
	75歳以上	87	24.1	▲ 34.5	20.7	11.5	△ 9.2
女 性	18～29歳	96	20.8	▲ 32.3	○ 32.3	14.6	0.0
	30～39歳	150	23.3	42.0	25.3	▲ 9.3	0.0
	40～49歳	218	▲ 16.1	45.0	20.2	17.4	1.4
	50～59歳	151	25.8	42.4	▲ 14.6	15.2	2.0
	60～64歳	58	27.6	△ 48.3	▲ 15.5	▲ 8.6	0.0
	65～74歳	160	27.5	△ 45.6	▲ 15.6	10.0	1.3
	75歳以上	121	○ 36.4	▲ 31.4	20.7	▲ 9.1	2.5

3) 相談できる人や機関（地域別）

- 地域別にみると、「調べればわかると思う」は、中央地域が 48.0%と高くなっている。
- 「よくわからない」は、戸塚地域が 27.6%、安行地域が 26.7%と高くなっている。

【相談できる人や機関（地域別）】

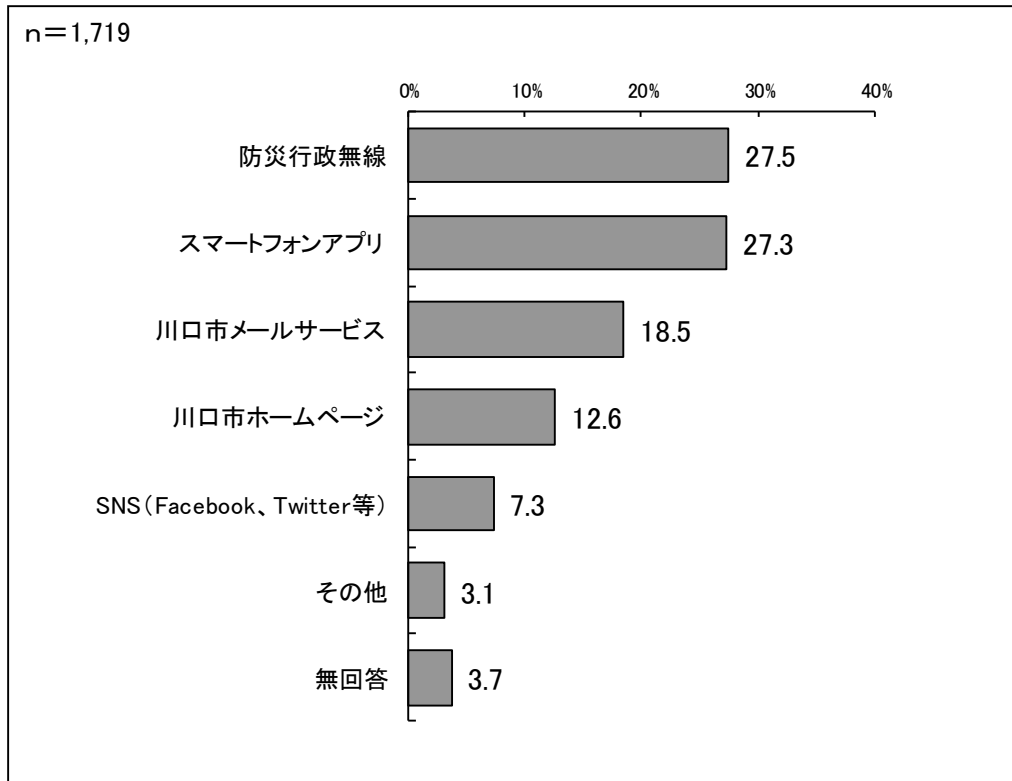
	(人)				(%)	
	合計	思い当たる	調べれば わかると思う	よく わからない	思い 当たらない	無回答
全体	1,719	22.7	40.2	21.0	14.5	1.5
中央地域	152	19.7	△ 48.0	16.4	15.8	0.0
横曽根地域	184	22.8	44.0	19.0	12.5	1.6
青木地域	204	22.1	39.7	21.1	17.2	0.0
南平地域	178	23.6	41.0	22.5	10.1	2.8
新郷地域	101	24.8	39.6	19.8	13.9	2.0
神根地域	134	26.9	39.6	20.1	12.7	0.7
芝地域	185	24.3	38.4	19.5	17.3	0.5
安行地域	105	21.9	41.0	△ 26.7	9.5	1.0
戸塚地域	196	18.9	39.3	△ 27.6	13.8	0.5
鳩ヶ谷地域	198	23.2	37.9	19.7	16.2	3.0

1 3. 便利だと考える防災・災害情報の配信方法

1) 便利だと考える防災・災害情報の配信方法

- 便利だと考える防災・災害情報の配信方法について、「防災行政無線」が 27.5%と最も高く、次いで、「スマートフォンアプリ」が 27.3%、「川口市メールサービス」が 18.5%、「川口市ホームページ」が 12.6%となっている。

【便利だと考える防災・災害情報の配信方法（全体）】



2) 便利だと考える防災・災害情報の配信方法（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「防災行政無線」は、女性 75 歳以上が 53.7%、男性 75 歳以上が 49.4%、女性 65～74 歳が 48.8%、男性 65～74 歳が 46.2%と高くなっている。
- ・ 「スマートフォンアプリ」は、女性 30～39 歳が 41.3%、男性 50～59 歳が 39.4%と高くなっている。
- ・ 「川口市メールサービス」は、女性 40～49 歳が 36.2%と高くなっている。
- ・ 「SNS（Facebook、Twitter 等）」は、男性 18～29 歳が 31.2%、女性 18～29 歳が 24.0%と高くなっている。

【便利だと考える防災・災害情報の配信方法（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
防災行政無線	27.5	▲ 18.2	★ 11.9	● 15.9	▲ 20.2	29.7	☆ 46.2	☆ 49.4
スマートフォンアプリ	27.3	△ 35.1	30.7	△ 34.1	○ 39.4	31.3	▲ 18.2	★ 3.4
川口市メールサービス	18.5	▲ 9.1	17.8	△ 25.4	14.7	14.1	14.4	▲ 9.2
川口市ホームページ	12.6	▲ 6.5	△ 17.8	14.5	17.4	14.1	14.4	△ 21.8
SNS (Facebook、Twitter等)	7.3	☆ 31.2	○ 18.8	8.7	5.5	7.8	▲ 0.0	▲ 0.0
その他	3.1	0.0	1.0	1.4	1.8	1.6	3.0	3.4
無回答	3.7	0.0	2.0	0.0	0.9	1.6	3.8	△ 12.6

【便利だと考える防災・災害情報の配信方法（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
防災行政無線	27.5	● 15.6	★ 11.3	● 14.7	26.5	△ 34.5	☆ 48.8	☆ 53.7
スマートフォンアプリ	27.3	△ 35.4	○ 41.3	31.7	△ 35.1	29.3	● 13.1	★ 6.6
川口市メールサービス	18.5	▲ 10.4	20.7	☆ 36.2	19.9	19.0	16.9	● 5.0
川口市ホームページ	12.6	11.5	12.0	10.1	11.9	10.3	▲ 6.9	12.4
SNS (Facebook、Twitter等)	7.3	☆ 24.0	△ 13.3	2.8	2.6	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 0.0
その他	3.1	2.1	1.3	2.3	2.6	3.4	4.4	△ 11.6
無回答	3.7	1.0	0.0	2.3	1.3	1.7	△ 8.8	△ 10.7

3) 便利だと考える防災・災害情報の配信方法（地域別）

- 地域別にみると、「防災行政無線」は、神根地域が32.8%と高くなっている。
- 「スマートフォンアプリ」は、新郷地域が21.8%と低くなっている。
- 「川口市メールサービス」は、新郷地域が23.8%と高くなっている。

【便利だと考える防災・災害情報の配信方法（地域別）】

(%)

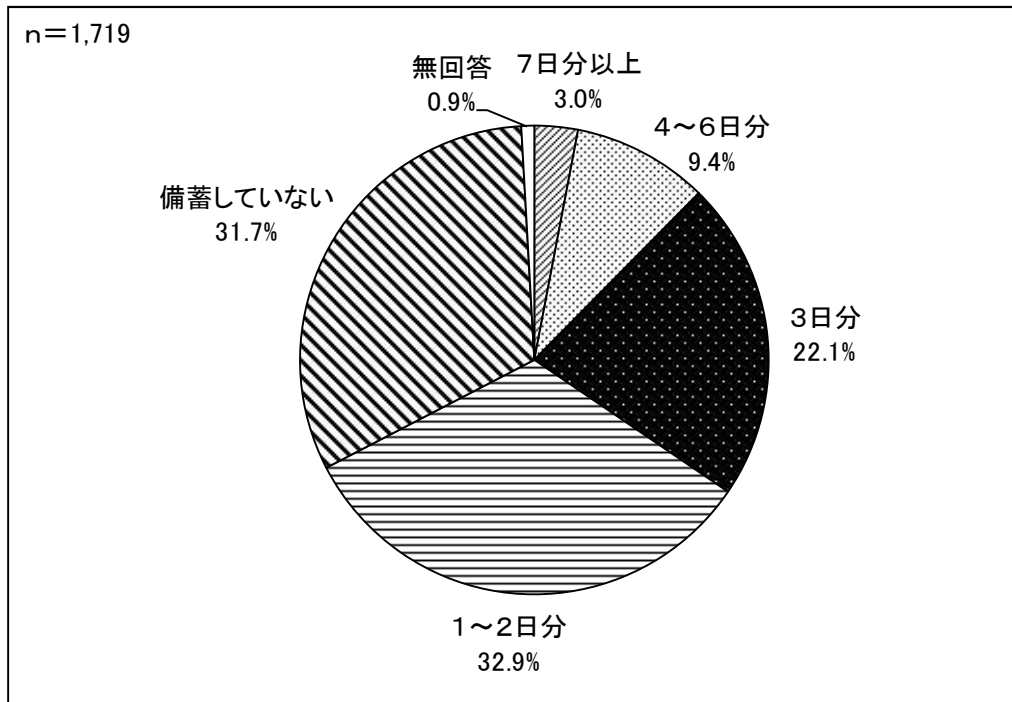
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
防災行政無線	27.5	27.6	25.0	27.9	29.2	26.7	△ 32.8	25.4	30.5	26.0	29.3
スマートフォンアプリ	27.3	30.3	30.4	27.0	25.8	▲ 21.8	27.6	26.5	26.7	30.1	26.8
川口市メールサービス	18.5	21.7	17.9	15.2	16.9	△ 23.8	16.4	18.4	18.1	22.4	19.2
川口市ホームページ	12.6	11.2	13.0	13.7	14.6	11.9	9.7	15.7	14.3	8.7	11.1
SNS (Facebook、Twitter等)	7.3	6.6	7.1	9.8	6.7	3.0	5.2	7.0	7.6	10.2	7.1
その他	3.1	2.6	3.3	3.4	1.7	5.9	5.2	3.2	0.0	2.0	1.5
無回答	3.7	0.0	3.3	2.9	5.1	6.9	3.0	3.8	2.9	0.5	5.1

1 4. 災害時の食料の備蓄

1) 災害時の食料の備蓄

- 災害時の食料の備蓄について、「1～2日分」が32.9%と最も高く、次いで、「3日分」が22.1%、「4～6日分」が9.4%、「7日分以上」が3.0%となっている。一方、「備蓄していない」が31.7%となっている。

【災害時の食料の備蓄（全体）】



2) 災害時の食料の備蓄（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「4～6日分」は、女性 60～64 歳が 15.5%、女性 18～29 歳が 14.6%と高くなっている。
- ・ 「3日分」は、男性 50～59 歳が 32.1%と高くなっている。
- ・ 「1～2日分」は、女性 40～49 歳が 39.9%、男性 30～39 歳が 38.6%と高くなっている。
- ・ 「備蓄していない」は、女性 30～39 歳が 45.3%、女性 18～29 歳が 43.8%、女性 50～59 歳が 42.4%と高くなっている。

【災害時の食料の備蓄（性別、性・年齢別）】

		(人)						(%)	
		合計	7日分以上	4～6日分	3日分	1～2日分	備蓄して いない	無回答	
全体		1,719	3.0	9.4	22.1	32.9	31.7	0.9	
男性		709	3.2	9.9	24.5	33.9	27.8	0.7	
女性		955	3.0	9.0	19.9	32.7	34.7	0.7	
男 性	18～29歳	77	2.6	▲ 2.6	18.2	36.4	△ 40.3	0.0	
	30～39歳	101	2.0	10.9	21.8	△ 38.6	26.7	0.0	
	40～49歳	138	2.2	10.1	19.6	36.2	31.9	0.0	
	50～59歳	109	6.4	4.6	△ 32.1	32.1	▲ 24.8	0.0	
	60～64歳	64	4.7	12.5	△ 28.1	31.3	▲ 23.4	0.0	
	65～74歳	132	3.0	13.6	△ 27.3	33.3	▲ 22.0	0.8	
	75歳以上	87	2.3	13.8	25.3	▲ 26.4	27.6	4.6	
女 性	18～29歳	96	2.1	△ 14.6	▲ 13.5	▲ 26.0	○ 43.8	0.0	
	30～39歳	150	2.0	6.7	18.7	▲ 27.3	○ 45.3	0.0	
	40～49歳	218	1.4	7.8	19.3	△ 39.9	30.3	1.4	
	50～59歳	151	3.3	6.0	▲ 16.6	31.1	○ 42.4	0.7	
	60～64歳	58	5.2	△ 15.5	▲ 15.5	36.2	27.6	0.0	
	65～74歳	160	5.0	10.0	24.4	30.6	29.4	0.6	
	75歳以上	121	4.1	9.1	△ 28.1	34.7	▲ 22.3	1.7	

3) 災害時の食料の備蓄（地域別）

- 地域別にみると、「3日分」は、南平地域が27.5%と高くなっている。
- 「1～2日分」は、横曽根地域が38.0%と高くなっている。
- 「備蓄していない」は、神根地域が40.3%と高くなっている。

【災害時の食料の備蓄（地域別）】

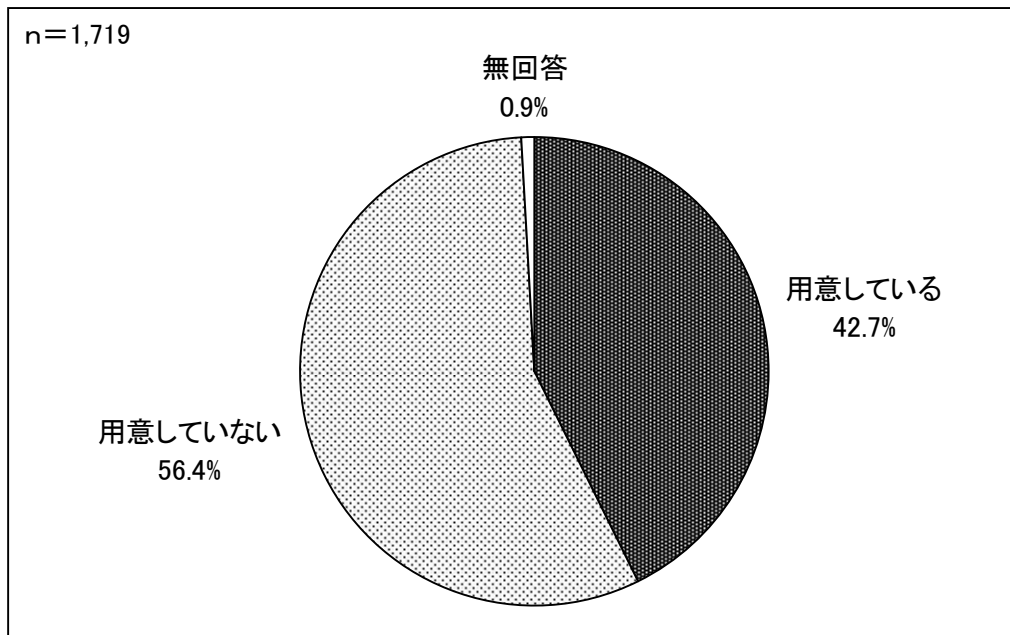
	(人)						(%)	
	合計	7日分以上	4～6日分	3日分	1～2日分	備蓄して いない	無回答	
全体	1,719	3.0	9.4	22.1	32.9	31.7	0.9	
中央地域	152	5.9	13.2	27.0	28.3	▲ 25.7	0.0	
横曽根地域	184	3.3	7.6	19.6	△ 38.0	31.0	0.5	
青木地域	204	2.0	6.9	20.1	36.3	34.8	0.0	
南平地域	178	2.2	7.9	△ 27.5	31.5	28.7	2.2	
新郷地域	101	5.9	▲ 3.0	25.7	29.7	34.7	1.0	
神根地域	134	1.5	8.2	20.9	29.1	△ 40.3	0.0	
芝地域	185	3.2	11.4	18.9	30.8	35.7	0.0	
安行地域	105	1.9	12.4	22.9	29.5	33.3	0.0	
戸塚地域	196	3.1	12.8	19.9	36.2	27.6	0.5	
鳩ヶ谷地域	198	3.0	10.1	23.2	32.3	29.3	2.0	

15. 災害時に備えた持出し袋の用意

1) 災害時に備えた持出し袋の用意

- 災害時に備えた持出し袋の用意について、「用意している」が42.7%、「用意していない」が56.4%となっている。

【災害時に備えた持出し袋の用意（全体）】



2) 災害時に備えた持出し袋の用意（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「用意している」は、女性 75 歳以上が 61.2%、男性 60～64 歳が 57.8%と高くなっている。
- ・ 「用意していない」は、男性 18～29 歳が 76.6%、女性 18～29 歳が 71.9%と高くなっている。

【災害時に備えた持出し袋の用意（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	用意している	用意していない	無回答
全体		1,719	42.7	56.4	0.9
男性		709	44.4	54.7	0.8
女性		955	42.1	57.2	0.7
男 性	18～29歳	77	★ 23.4	☆ 76.6	0.0
	30～39歳	101	▲ 34.7	△ 65.3	0.0
	40～49歳	138	47.1	52.9	0.0
	50～59歳	109	46.8	53.2	0.0
	60～64歳	64	☆ 57.8	● 42.2	0.0
	65～74歳	132	47.7	▲ 50.8	1.5
	75歳以上	87	○ 52.9	● 42.5	4.6
女 性	18～29歳	96	● 28.1	☆ 71.9	0.0
	30～39歳	150	40.0	60.0	0.0
	40～49歳	218	42.2	56.4	1.4
	50～59歳	151	▲ 34.4	△ 64.2	1.3
	60～64歳	58	41.4	58.6	0.0
	65～74歳	160	45.6	54.4	0.0
	75歳以上	121	☆ 61.2	★ 37.2	1.7

3) 災害時に備えた持出し袋の用意（地域別）

- 地域別にみると、「用意している」は、中央地域が49.3%と高くなっている。
- 「用意していない」は、安行地域が65.7%と高くなっている。

【災害時に備えた持出し袋の用意（地域別）】

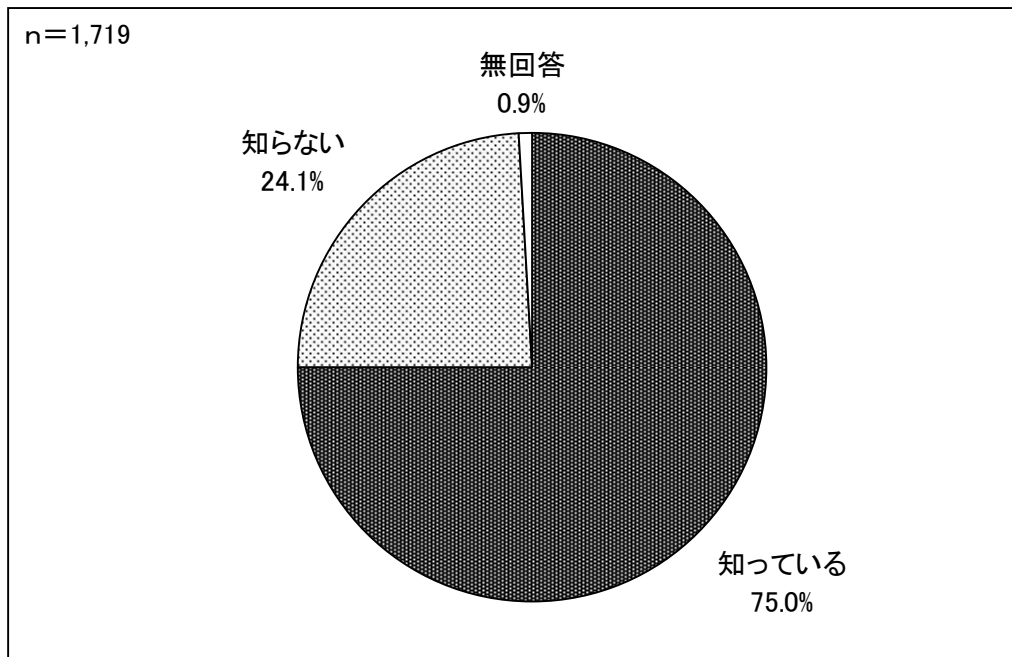
	(人)	(%)		
	合計	用意している	用意していない	無回答
全体	1,719	42.7	56.4	0.9
中央地域	152	△ 49.3	▲ 50.7	0.0
横曽根地域	184	40.2	58.7	1.1
青木地域	204	43.1	56.9	0.0
南平地域	178	41.0	56.7	2.2
新郷地域	101	39.6	60.4	0.0
神根地域	134	40.3	59.7	0.0
芝地域	185	42.7	57.3	0.0
安行地域	105	▲ 34.3	△ 65.7	0.0
戸塚地域	196	45.4	54.6	0.0
鳩ヶ谷地域	198	47.5	▲ 50.5	2.0

16. 震災時における避難所の認知

1) 震災時における避難所の認知

- 震災時における自宅付近の避難所の認知について、「知っている」が75.0%、「知らない」が24.1%となっている。

【震災時における避難所の認知（全体）】



2) 震災時における避難所の認知（性別、性・年齢別）

- 性・年齢別にみると、「知っている」は、男性 65～74 歳が 84.8%、女性 60～64 歳が 84.5%、男性 60～64 歳、女性 65～74 歳がともに 84.4%と高くなっている。
- 「知らない」は、男性 18～29 歳が 40.3%、女性 18～29 歳が 39.6%と高くなっている。

【震災時における避難所の認知（性別、性・年齢別）】

		(人)	(%)		
		合計	知っている	知らない	無回答
全体		1,719	75.0	24.1	0.9
男性		709	74.2	25.0	0.8
女性		955	76.3	22.9	0.7
男 性	18～29歳	77	★ 59.7	☆ 40.3	0.0
	30～39歳	101	● 63.4	○ 36.6	0.0
	40～49歳	138	73.2	26.8	0.0
	50～59歳	109	72.5	27.5	0.0
	60～64歳	64	△ 84.4	▲ 15.6	0.0
	65～74歳	132	△ 84.8	● 13.6	1.5
	75歳以上	87	△ 80.5	▲ 14.9	4.6
女 性	18～29歳	96	● 60.4	☆ 39.6	0.0
	30～39歳	150	● 64.0	○ 36.0	0.0
	40～49歳	218	79.4	19.7	0.9
	50～59歳	151	78.8	19.2	2.0
	60～64歳	58	△ 84.5	▲ 15.5	0.0
	65～74歳	160	△ 84.4	▲ 15.0	0.6
	75歳以上	121	△ 81.8	▲ 17.4	0.8

3) 震災時における避難所の認知（地域別）

- 地域別にみると、「知っている」は、安行地域が81.0%と高くなっている。

【震災時における避難所の認知（地域別）】

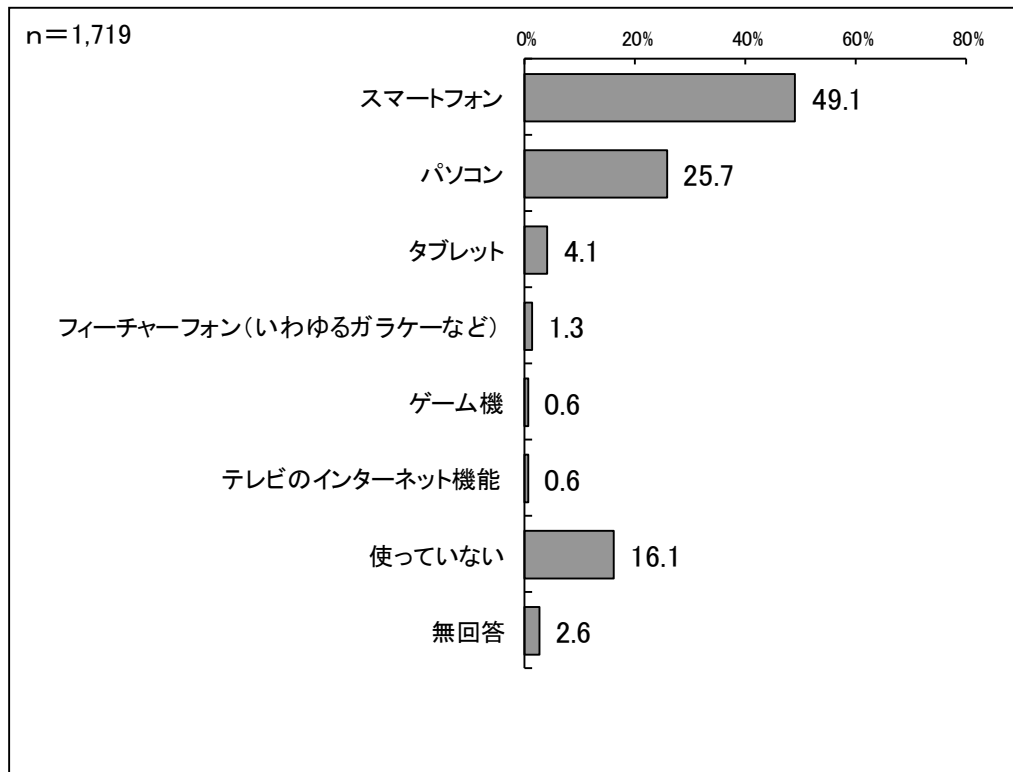
	(人)		(%)	
	合計	知っている	知らない	無回答
全体	1,719	75.0	24.1	0.9
中央地域	152	73.0	27.0	0.0
横曽根地域	184	70.1	28.8	1.1
青木地域	204	79.9	19.6	0.5
南平地域	178	76.4	21.9	1.7
新郷地域	101	71.3	27.7	1.0
神根地域	134	76.9	23.1	0.0
芝地域	185	72.4	27.6	0.0
安行地域	105	△ 81.0	▲ 19.0	0.0
戸塚地域	196	77.0	23.0	0.0
鳩ヶ谷地域	198	77.8	20.2	2.0

17. インターネットの利用で使用している電子機器

1) インターネットの利用で使用している電子機器

- インターネットの利用で使用している電子機器について、「スマートフォン」が49.1%と最も高く、次いで、「パソコン」が25.7%、「タブレット」が4.1%となっている。一方、「使っていない」が16.1%となっている。

【インターネットの利用で使用している電子機器（全体）】



2) インターネットの利用で使用している電子機器（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「スマートフォン」は、女性 18～29 歳が 86.5%、女性 30～39 歳が 76.7%、男性 18～29 歳が 75.3%、女性 40～49 歳が 72.5%と高くなっている。
- ・ 「パソコン」は、男性 60～64 歳が 53.1%、男性 65～74 歳が 47.7%、男性 50～59 歳が 43.1%と高くなっている。
- ・ 「使っていない」は、女性 75 歳以上が 63.6%、女性 65～74 歳が 45.0%、男性 75 歳以上が 41.4%と高くなっている。

【インターネットの利用で使用している電子機器（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
スマートフォン	49.1	☆ 75.3	○ 61.4	☆ 66.7	46.8	★ 32.8	★ 16.7	★ 10.3
パソコン	25.7	▲ 18.2	28.7	24.6	☆ 43.1	☆ 53.1	☆ 47.7	27.6
タブレット	4.1	6.5	5.9	5.1	4.6	7.8	0.8	2.3
フィーチャーフォン (いわゆるガラケーなど)	1.3	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.8	2.3
ゲーム機	0.6	0.0	2.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
テレビのインターネット 機能	0.6	0.0	2.0	0.0	1.8	1.6	0.8	1.1
使っていない	16.1	★ 0.0	★ 0.0	● 2.2	● 2.8	● 4.7	○ 30.3	☆ 41.4
無回答	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	○ 14.9

【インターネットの利用で使用している電子機器（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
スマートフォン	49.1	☆ 86.5	☆ 76.7	☆ 72.5	△ 56.3	46.6	★ 17.5	★ 7.4
パソコン	25.7	★ 6.3	● 14.7	▲ 19.3	27.2	△ 31.0	26.3	★ 9.9
タブレット	4.1	4.2	6.0	2.8	6.6	5.2	1.3	5.0
フィーチャーフォン (いわゆるガラケーなど)	1.3	0.0	0.0	0.5	2.0	1.7	3.8	5.8
ゲーム機	0.6	1.0	0.7	0.9	0.0	0.0	0.6	0.0
テレビのインターネット 機能	0.6	0.0	0.7	0.5	0.7	0.0	0.0	0.0
使っていない	16.1	● 2.1	● 1.3	● 2.8	▲ 7.3	15.5	☆ 45.0	☆ 63.6
無回答	2.6	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	5.6	△ 8.3

3) インターネットの利用で使用している電子機器（地域別）

- ・ 地域別にみると、「スマートフォン」は、戸塚地域が58.2%と高くなっている。
- ・ 「パソコン」は、中央地域が33.6%と高くなっている。
- ・ 「使っていない」は、新郷地域が27.7%と高くなっている。

【インターネットの利用で使用している電子機器（地域別）】

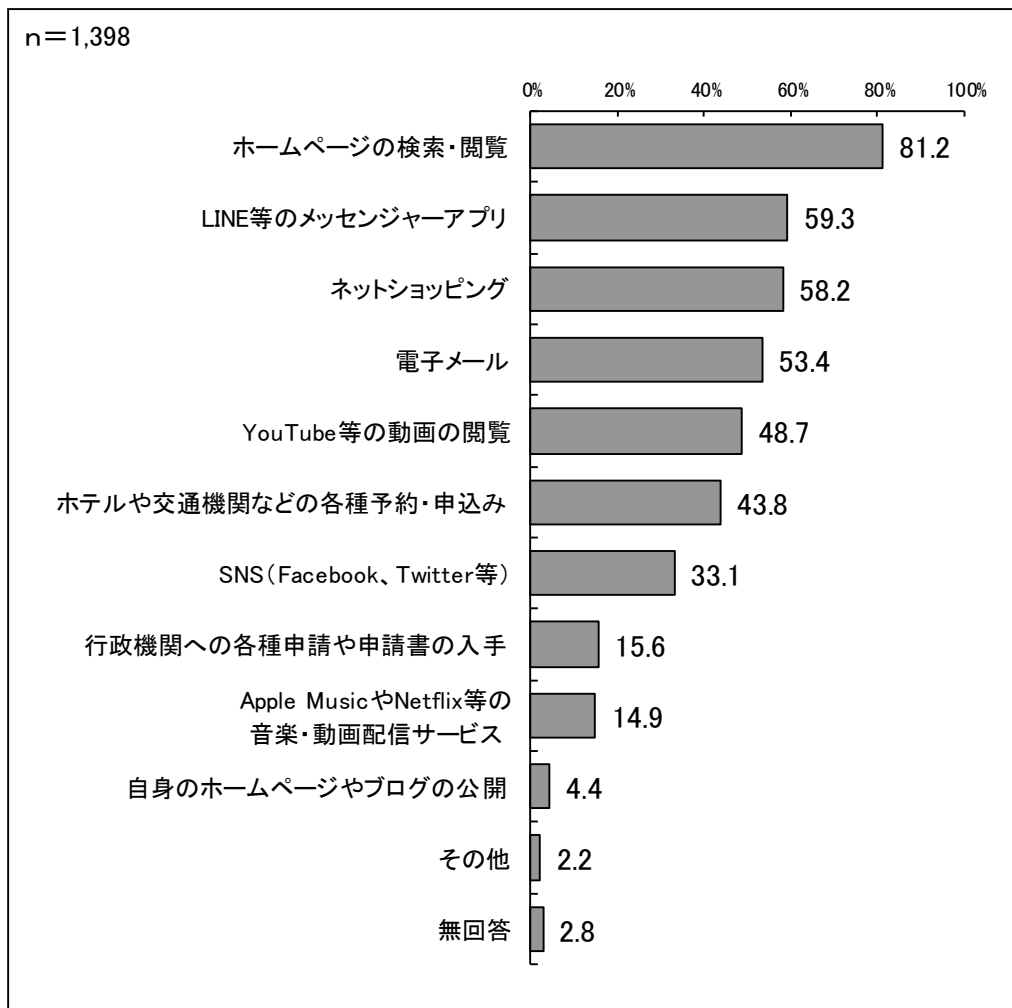
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
スマートフォン	49.1	52.6	51.1	49.5	48.9	▲ 42.6	46.3	48.1	46.7	△ 58.2	47.0
パソコン	25.7	△ 33.6	27.7	23.0	30.3	▲ 16.8	22.4	25.4	25.7	24.0	27.8
タブレット	4.1	3.9	3.8	3.4	3.9	5.0	2.2	4.3	3.8	4.1	5.1
フィーチャーフォン (いわゆるガラケーなど)	1.3	0.7	0.5	1.5	1.1	0.0	3.0	3.2	1.9	0.5	1.0
ゲーム機	0.6	0.0	0.5	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
テレビのインターネット 機能	0.6	0.7	0.5	1.0	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.5	1.0
使っていない	16.1	▲ 7.9	14.7	19.1	12.4	○ 27.7	△ 24.6	16.2	19.0	▲ 10.7	12.6
無回答	2.6	0.7	1.1	2.0	2.8	5.9	1.5	2.7	1.9	1.0	4.5

(%)

4) インターネットで利用しているサービス

- いずれかの電子機器でインターネットを利用していると回答した人について、インターネットで利用しているサービスを聞いたところ、「ホームページの検索・閲覧」が81.2%と最も高く、次いで、「LINE等のメッセージアプリ」が59.3%、「ネットショッピング」が58.2%、「電子メール」が53.4%となっている。

【インターネットで利用しているサービス（全体）】



5) インターネットで利用しているサービス（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「ホームページの検索・閲覧」は、女性 30～39 歳が 92.6% と高くなっている。
- ・ 「LINE 等のメッセージアプリ」は、女性 18～29 歳が 90.4%、女性 30～39 歳が 88.5%、男性 18～29 歳が 79.2% と高くなっている。
- ・ 「ネットショッピング」は、女性 30～39 歳が 81.1% と高くなっている。
- ・ 「電子メール」は、男性 40～49 歳が 68.1%、男性 60～64 歳が 63.9% と高くなっている。
- ・ 「YouTube 等の動画の閲覧」は、男性 30～39 歳が 70.3%、女性 18～29 歳が 68.1% と高くなっている。
- ・ 「SNS（Facebook、Twitter 等）」は、女性 18～29 歳が 78.7%、男性 18～29 歳が 59.7%、女性 30～39 歳が 54.7%、男性 30～39 歳が 49.5% と高くなっている。
- ・ 「Apple Music や Netflix 等の音楽・動画配信サービス」は、男性 18～29 歳が 35.1%、女性 18～29 歳が 34.0%、男性 30～39 歳が 32.7% と高くなっている。

【インターネットで利用しているサービス（男性・年齢別）】

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
ホームページの検索・閲覧	81.2	77.9	△ 91.1	85.2	84.9	△ 86.9	▲ 76.1	76.3
LINE等のメッセージアプリ	59.3	☆ 79.2	○ 70.3	△ 65.2	● 48.1	★ 23.0	★ 22.7	★ 7.9
ネットショッピング	58.2	△ 64.9	△ 65.3	62.2	▲ 51.9	★ 42.6	★ 31.8	★ 23.7
電子メール	53.4	★ 35.1	55.4	○ 68.1	△ 59.4	○ 63.9	53.4	▲ 47.4
YouTube等の動画の閲覧	48.7	○ 62.3	☆ 70.3	○ 60.0	50.9	▲ 42.6	★ 26.1	★ 23.7
ホテルや交通機関などの各種予約・申込み	43.8	39.0	△ 50.5	44.4	42.5	39.3	43.2	39.5
SNS（Facebook、Twitter等）	33.1	☆ 59.7	☆ 49.5	35.6	29.2	★ 13.1	★ 9.1	★ 7.9
行政機関への各種申請や申請書の入手	15.6	14.3	△ 20.8	11.9	13.2	△ 21.3	△ 23.9	▲ 7.9
Apple MusicやNetflix等の音楽・動画配信サービス	14.9	☆ 35.1	☆ 32.7	17.8	▲ 9.4	● 3.3	● 4.5	● 0.0
自身のホームページやブログの公開	4.4	2.6	6.9	4.4	7.5	1.6	2.3	2.6
その他	2.2	1.3	3.0	2.2	0.9	1.6	3.4	0.0
無回答	2.8	1.3	0.0	0.0	1.9	0.0	2.3	△ 7.9

【インターネットで利用しているサービス（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
ホームページの検索・閲覧	81.2	85.1	○ 92.6	△ 87.1	80.7	★ 65.3	★ 51.9	★ 47.1
LINE等のメッセージアプリ	59.3	☆ 90.4	☆ 88.5	○ 70.5	61.4	● 44.9	★ 32.9	★ 5.9
ネットショッピング	58.2	61.7	☆ 81.1	○ 69.0	△ 63.6	▲ 51.0	★ 40.5	★ 20.6
電子メール	53.4	50.0	51.4	△ 59.0	54.3	▲ 46.9	▲ 44.3	★ 17.6
YouTube等の動画の閲覧	48.7	☆ 68.1	○ 62.2	48.1	▲ 42.1	★ 24.5	★ 21.5	★ 14.7
ホテルや交通機関などの各種予約・申込み	43.8	43.6	△ 53.4	45.7	42.9	42.9	● 32.9	● 29.4
SNS（Facebook、Twitter等）	33.1	☆ 78.7	☆ 54.7	28.6	● 22.1	★ 6.1	★ 11.4	★ 5.9
行政機関への各種申請や申請書の入手	15.6	12.8	17.6	13.3	18.6	14.3	12.7	● 2.9
Apple MusicやNetflix等の音楽・動画配信サービス	14.9	☆ 34.0	15.5	15.2	10.0	● 0.0	● 2.5	▲ 5.9
自身のホームページやブログの公開	4.4	4.3	6.8	5.7	2.9	0.0	2.5	0.0
その他	2.2	4.3	1.4	0.0	2.1	4.1	2.5	△ 11.8
無回答	2.8	0.0	0.7	2.9	0.7	2.0	△ 12.7	☆ 26.5

6) インターネットで利用しているサービス（地域別）

- ・ 地域別にみると、「ホームページの検索・閲覧」は、横曽根地域が 87.1%と高くなっている。
- ・ 「LINE等のメッセージングアプリ」は、戸塚地域が68.2%と高くなっている。
- ・ 「ネットショッピング」は、戸塚地域が67.6%と高くなっている。
- ・ 「電子メール」は、中央地域が62.6%、横曽根地域が61.9%と高くなっている。
- ・ 「YouTube等の動画の閲覧」は、神根地域が55.6%、中央地域が55.4%、安行地域が54.2%と高くなっている。
- ・ 「ホテルや交通機関などの各種予約・申込み」は、戸塚地域が50.9%、横曽根地域が50.3%、中央地域が48.9%と高くなっている。
- ・ 「SNS (Facebook、Twitter等)」は、横曽根地域が39.4%と高くなっている。
- ・ 「Apple MusicやNetflix等の音楽・動画配信サービス」は、戸塚地域が20.8%と高くなっている。

【インターネットで利用しているサービス（地域別）】

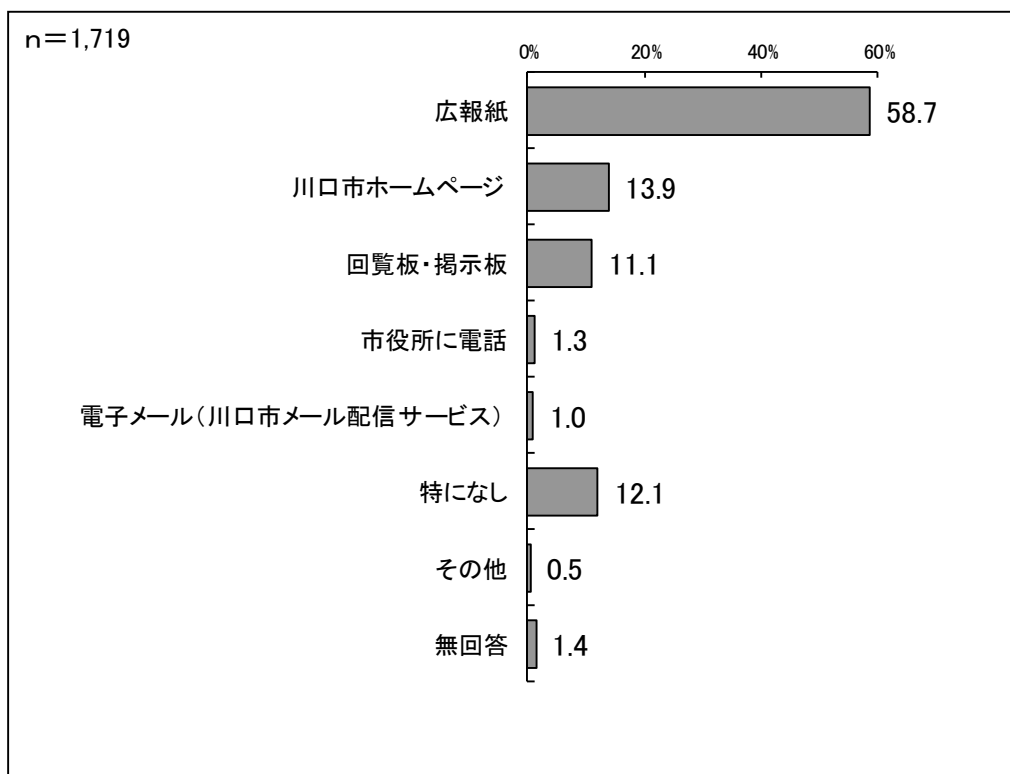
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
ホームページの検索・閲覧	81.2	△ 86.3	△ 87.1	80.1	▲ 75.5	77.6	78.8	77.3	81.9	83.2	84.8
LINE等のメッセージングアプリ	59.3	56.1	61.9	59.6	56.3	▲ 53.7	54.5	▲ 54.0	62.7	△ 68.2	59.8
ネットショッピング	58.2	59.7	54.2	60.9	57.6	▲ 52.2	53.5	▲ 52.7	62.7	△ 67.6	56.7
電子メール	53.4	△ 62.6	△ 61.9	53.4	▲ 45.0	● 43.3	● 42.4	50.7	▲ 44.6	57.2	56.7
YouTube等の動画の閲覧	48.7	△ 55.4	51.6	47.2	▲ 43.0	▲ 43.3	△ 55.6	▲ 42.7	△ 54.2	46.2	51.8
ホテルや交通機関などの各種予約・申込み	43.8	△ 48.9	△ 50.3	▲ 38.5	43.0	▲ 35.8	42.4	39.3	▲ 36.1	△ 50.9	43.9
SNS (Facebook、Twitter等)	33.1	36.0	△ 39.4	34.2	▲ 23.8	31.3	29.3	32.7	36.1	35.8	34.1
行政機関への各種申請や申請書の入手	15.6	15.8	18.1	13.0	14.6	11.9	12.1	16.0	13.3	16.8	18.3
Apple MusicやNetflix等の音楽・動画配信サービス	14.9	16.5	16.8	14.9	13.2	11.9	▲ 8.1	12.7	18.1	△ 20.8	12.2
自身のホームページやブログの公開	4.4	4.3	5.8	3.1	4.6	4.5	5.1	4.0	6.0	4.0	3.0
その他	2.2	1.4	3.2	2.5	2.6	4.5	2.0	4.0	0.0	2.3	0.6
無回答	2.8	2.9	1.3	1.2	4.0	4.5	5.1	2.7	1.2	1.7	3.0

18. 川口市の行政情報の入手手段

1) 川口市の行政情報の入手手段

- 川口市の行政情報の入手手段について、「広報紙」が 58.7%と最も高く、次いで、「川口市ホームページ」が 13.9%、「回覧板・掲示板」が 11.1%、「市役所に電話」が 1.3%となっている。

【川口市の行政情報の入手手段（全体）】



2) 川口市の行政情報の入手手段（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「広報紙」は、女性 60～64 歳が 81.0%、女性 65～74 歳が 76.3%と高くなっている。
- ・ 「川口市ホームページ」は、女性 30～39 歳が 25.3%と高くなっている。
- ・ 「特になし」は、男性 18～29 歳が 37.7%、女性 18～29 歳が 35.4%と高くなっている。

【川口市の行政情報の入手手段（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
広報紙	58.7	★ 24.7	● 45.5	▲ 53.6	56.9	60.9	○ 72.0	△ 66.7
川口市ホームページ	13.9	△ 20.8	△ 19.8	△ 21.0	△ 21.1	9.4	▲ 5.3	● 2.3
回覧板・掲示板	11.1	15.6	10.9	▲ 5.8	9.2	12.5	15.9	11.5
市役所に電話	1.3	1.3	1.0	0.7	0.9	4.7	0.8	1.1
電子メール (川口市メール配信サービス)	1.0	0.0	1.0	2.2	0.0	0.0	0.0	1.1
特になし	12.1	☆ 37.7	△ 19.8	15.9	11.9	10.9	▲ 4.5	8.0
その他	0.5	0.0	1.0	0.7	0.0	0.0	1.5	0.0
無回答	1.4	0.0	1.0	0.0	0.0	1.6	0.0	△ 9.2

【川口市の行政情報の入手手段（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
広報紙	58.7	★ 33.3	● 46.0	61.9	△ 67.5	☆ 81.0	☆ 76.3	○ 69.4
川口市ホームページ	13.9	13.5	○ 25.3	17.9	14.6	▲ 5.2	▲ 5.0	● 1.7
回覧板・掲示板	11.1	13.5	10.0	8.3	9.3	6.9	15.0	14.0
市役所に電話	1.3	2.1	1.3	0.0	1.3	1.7	0.6	3.3
電子メール (川口市メール配信サービス)	1.0	1.0	0.7	3.2	2.0	0.0	0.0	0.0
特になし	12.1	☆ 35.4	16.7	7.8	▲ 5.3	▲ 5.2	● 1.3	▲ 5.0
その他	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	2.5
無回答	1.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	1.3	4.1

3) 川口市の行政情報の入手手段（地域別）

- ・ 地域別にみると、「広報紙」は、横曽根地域が64.1%と高くなっている。
- ・ 「回覧板・掲示板」は、神根地域が17.2%、新郷地域が16.8%と高くなっている。

【川口市の行政情報の入手手段（地域別）】

	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
広報紙	58.7	58.6	△ 64.1	56.9	61.2	60.4	59.7	61.1	61.9	▲ 52.0	62.1
川口市ホームページ	13.9	18.4	16.3	15.7	15.2	9.9	▲ 8.2	▲ 7.6	13.3	18.9	11.1
回覧板・掲示板	11.1	▲ 5.3	▲ 5.4	12.3	11.2	△ 16.8	△ 17.2	13.5	12.4	9.7	11.1
市役所に電話	1.3	2.0	2.2	1.0	1.7	1.0	0.7	1.1	0.0	2.6	0.5
電子メール （川口市メール配信サービス）	1.0	1.3	0.5	1.0	0.6	0.0	0.7	0.0	1.9	2.0	1.0
特になし	12.1	13.8	10.9	11.8	9.0	8.9	9.7	16.2	8.6	14.8	9.6
その他	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	1.0	0.7	0.5	1.0	0.0	1.0
無回答	1.4	0.7	0.0	1.0	1.1	2.0	3.0	0.0	1.0	0.0	3.5

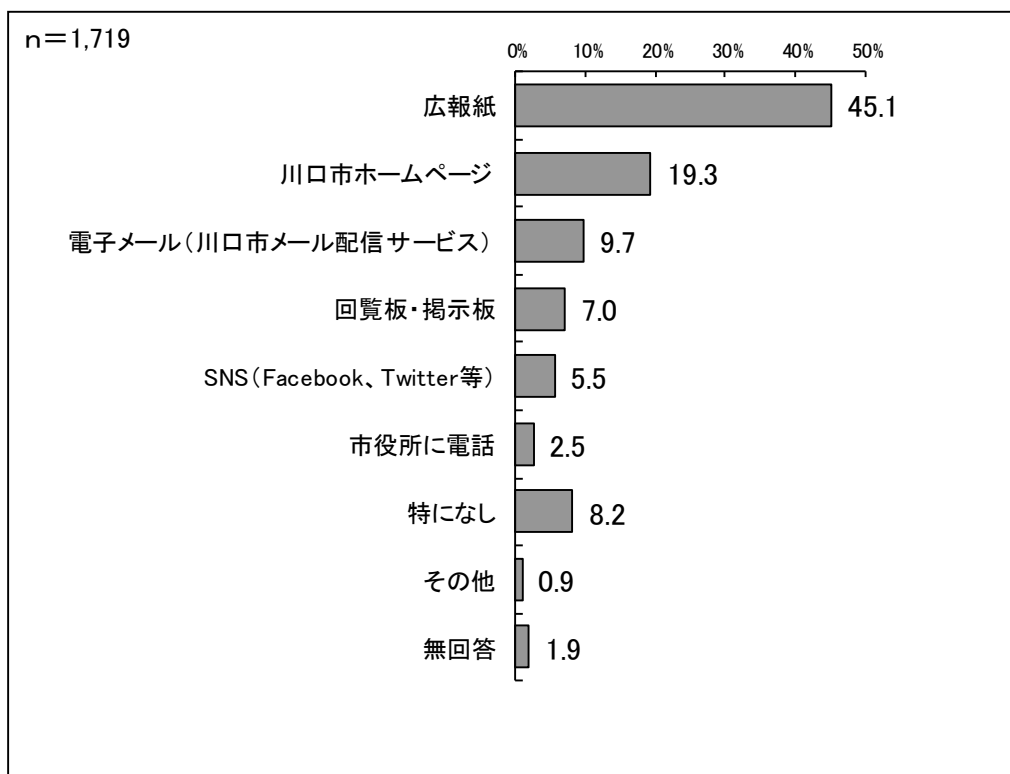
(%)

19. 最も利用したい行政情報の入手手段

1) 最も利用したい行政情報の入手手段

- 最も利用したい行政情報の入手手段について、「広報紙」が45.1%と最も高く、次いで、「川口市ホームページ」が19.3%、「電子メール(川口市メール配信サービス)」が9.7%、「回覧板・掲示板」が7.0%となっている。

【最も利用したい行政情報の入手手段（全体）】



2) 最も利用したい行政情報の入手手段（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「広報紙」は、女性 65～74 歳が 70.0%、女性 60～64 歳が 67.2%、男性 65～74 歳が 63.6%と高くなっている。
- ・ 「川口市ホームページ」は、男性 50～59 歳が 30.3%と高くなっている。
- ・ 「電子メール（川口市メール配信サービス）」は、男性 40～49 歳が 18.8%、女性 30～39 歳が 16.0%と高くなっている。
- ・ 「回覧板・掲示板」は、女性 75 歳以上が 19.0%と高くなっている。
- ・ 「SNS（Facebook、Twitter 等）」は、男性 18～29 歳が 24.7%、女性 18～29 歳が 22.9%と高くなっている。
- ・ 「特になし」は、女性 18～29 歳が 24.0%と高くなっている。

【最も利用したい行政情報の入手手段（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
広報紙	45.1	★ 16.9	● 33.7	● 31.2	○ 40.4	46.9	☆ 63.6	○ 57.5
川口市ホームページ	19.3	18.2	△ 25.7	△ 27.5	○ 30.3	23.4	▲ 12.9	● 5.7
電子メール （川口市メール配信サービス）	9.7	14.3	8.9	△ 18.8	14.7	9.4	▲ 3.8	5.7
回覧板・掲示板	7.0	5.2	3.0	3.6	4.6	3.1	9.8	△ 13.8
SNS（Facebook、Twitter等）	5.5	☆ 24.7	△ 11.9	9.4	▲ 0.0	4.7	0.8	▲ 0.0
市役所に電話	2.5	0.0	1.0	0.0	1.8	4.7	3.0	5.7
特になし	8.2	△ 18.2	11.9	7.2	6.4	6.3	4.5	3.4
その他	0.9	2.6	3.0	1.4	1.8	0.0	1.5	1.1
無回答	1.9	0.0	1.0	0.7	0.0	1.6	0.0	6.9

【最も利用したい行政情報の入手手段（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
広報紙	45.1	★ 16.7	● 32.7	46.3	47.0	☆ 67.2	☆ 70.0	○ 55.4
川口市ホームページ	19.3	18.8	△ 28.7	22.9	△ 25.2	▲ 13.8	● 6.3	★ 2.5
電子メール （川口市メール配信サービス）	9.7	9.4	△ 16.0	11.5	12.6	6.9	▲ 1.3	▲ 1.7
回覧板・掲示板	7.0	7.3	2.7	4.6	2.6	6.9	11.9	○ 19.0
SNS（Facebook、Twitter等）	5.5	☆ 22.9	8.0	2.3	3.3	▲ 0.0	0.6	▲ 0.0
市役所に電話	2.5	0.0	1.3	1.4	3.3	1.7	2.5	△ 9.1
特になし	8.2	☆ 24.0	10.0	8.3	6.0	3.4	5.0	5.0
その他	0.9	1.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0
無回答	1.9	0.0	0.7	2.3	0.0	0.0	1.9	△ 7.4

3) 最も利用したい行政情報の入手手段（地域別）

- 地域別にみると、「川口市ホームページ」は、中央地域が 25.7%、戸塚地域が 24.5% と高くなっている。
- 「電子メール（川口市メール配信サービス）」は、南平地域が 15.2% と高くなっている。

【最も利用したい行政情報の入手手段（地域別）】

(%)

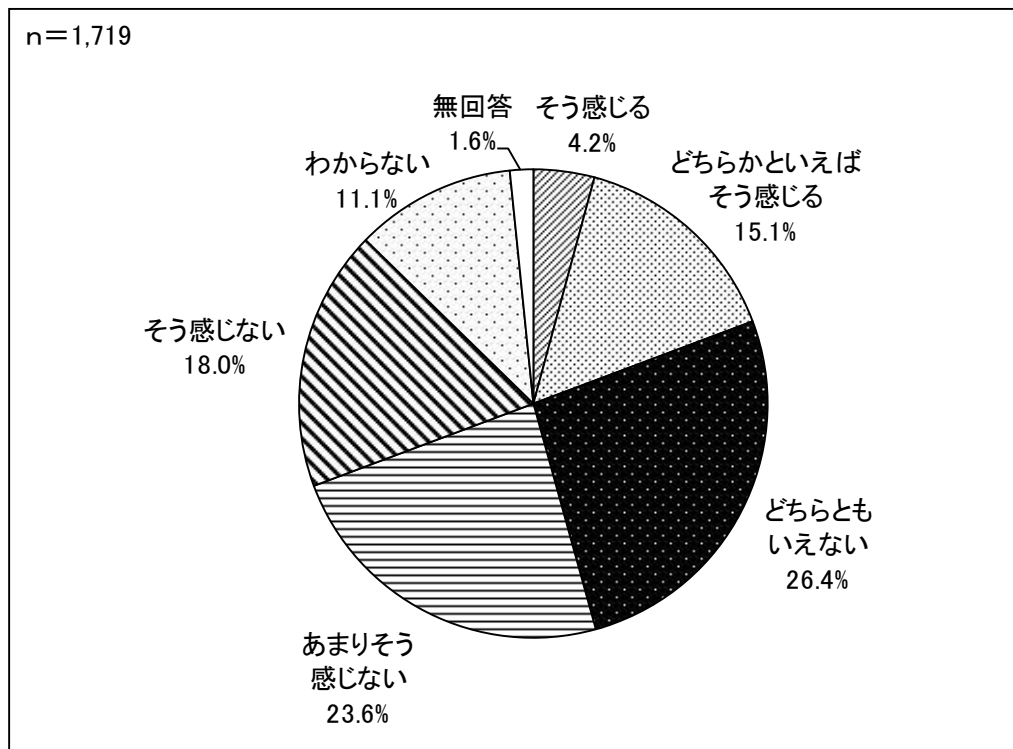
	全体	中央 地域	横曽根 地域	青木 地域	南平 地域	新郷 地域	神根 地域	芝 地域	安行 地域	戸塚 地域	鳩ヶ谷 地域
広報紙	45.1	42.8	44.6	47.1	44.4	48.5	47.0	48.1	41.9	41.8	48.5
川口市ホームページ	19.3	△ 25.7	21.7	16.7	16.3	17.8	15.7	16.2	▲ 13.3	△ 24.5	19.7
電子メール （川口市メール配信サービス）	9.7	13.2	10.9	8.8	△ 15.2	9.9	9.0	5.9	11.4	8.7	7.6
回覧板・掲示板	7.0	▲ 1.3	3.8	8.3	7.3	7.9	9.0	9.2	7.6	5.6	8.6
SNS（Facebook、Twitter等）	5.5	7.9	5.4	6.4	3.9	2.0	6.0	3.8	8.6	7.1	4.5
市役所に電話	2.5	0.7	2.7	2.0	5.1	4.0	1.5	3.2	1.9	2.6	0.5
特になし	8.2	7.9	8.7	7.4	5.6	5.0	9.0	11.4	11.4	8.7	7.1
その他	0.9	0.0	1.6	2.0	0.0	2.0	0.0	1.1	1.9	0.5	0.0
無回答	1.9	0.7	0.5	1.5	2.2	3.0	3.0	1.1	1.9	0.5	3.5

20. 日本人住民と外国人住民が互いに暮らしやすいまちだと感じるか

1) 互いに暮らしやすいまちだと感じるか

- 川口市は、日本人住民と外国人住民が互いに理解・尊重し合い、共存する、暮らしやすい良いまちだと感じるかについて、「そう感じる」(4.2%)と「どちらかといえばそう感じる」(15.1%)を合わせた回答が19.3%、「あまりそう感じない」(23.6%)と「そう感じない」(18.0%)を合わせた回答が41.6%となっている。また、「どちらともいえない」が26.4%となっている。

【互いに暮らしやすいまちだと感じるか (全体)】



2) 互いに暮らしやすいまちだと感じるか（性別、性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた回答は、女性 18～29 歳が 33.4%と高くなっている。
- ・ 「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答は、男性 60～64 歳が 56.3%、男性 40～49 歳が 53.6%、男性 50～59 歳が 51.4%と高くなっている。

【互いに暮らしやすいまちだと感じるか（性別、性・年齢別）】

		(人)								(%)
		合計	そう感じる	どちらかとい えば そう感じる	どちらとも いえ ない	あまりそう 感じ ない	そう感 じ ない	わからない	無回答	
全体		1,719	4.2	15.1	26.4	23.6	18.0	11.1	1.6	
男性		709	5.1	14.8	24.0	24.4	21.7	8.3	1.7	
女性		955	3.6	15.4	28.8	23.1	14.9	13.3	0.9	
男 性	18～29歳	77	7.8	16.9	▲ 18.2	24.7	△ 23.4	9.1	0.0	
	30～39歳	101	4.0	19.8	▲ 19.8	22.8	△ 25.7	6.9	1.0	
	40～49歳	138	2.9	13.8	21.7	24.6	○ 29.0	7.2	0.7	
	50～59歳	109	4.6	14.7	22.0	26.6	△ 24.8	6.4	0.9	
	60～64歳	64	7.8	10.9	▲ 20.3	○ 34.4	21.9	▲ 4.7	0.0	
	65～74歳	132	3.8	12.1	○ 39.4	21.2	13.6	9.1	0.8	
	75歳以上	87	8.0	14.9	▲ 19.5	20.7	▲ 12.6	14.9	△ 9.2	
女 性	18～29歳	96	6.3	○ 27.1	21.9	18.8	▲ 10.4	15.6	0.0	
	30～39歳	150	4.0	15.3	26.7	△ 30.0	15.3	8.7	0.0	
	40～49歳	218	5.0	12.8	28.9	25.7	18.8	8.3	0.5	
	50～59歳	151	0.7	18.5	△ 33.1	21.9	16.6	7.9	1.3	
	60～64歳	58	3.4	17.2	31.0	25.9	▲ 10.3	12.1	0.0	
	65～74歳	160	3.1	13.1	30.6	19.4	13.8	△ 18.8	1.3	
	75歳以上	121	2.5	▲ 9.1	28.1	19.0	▲ 12.4	○ 25.6	3.3	

3) 互いに暮らしやすいまちだと感じるか（地域別）

- ・ 地域別にみると、「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた回答は、戸塚地域が25.5%と高くなっている。
- ・ 「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答は、横曽根地域が57.0%、中央地域が50.7%、芝地域が50.2%と高くなっている。

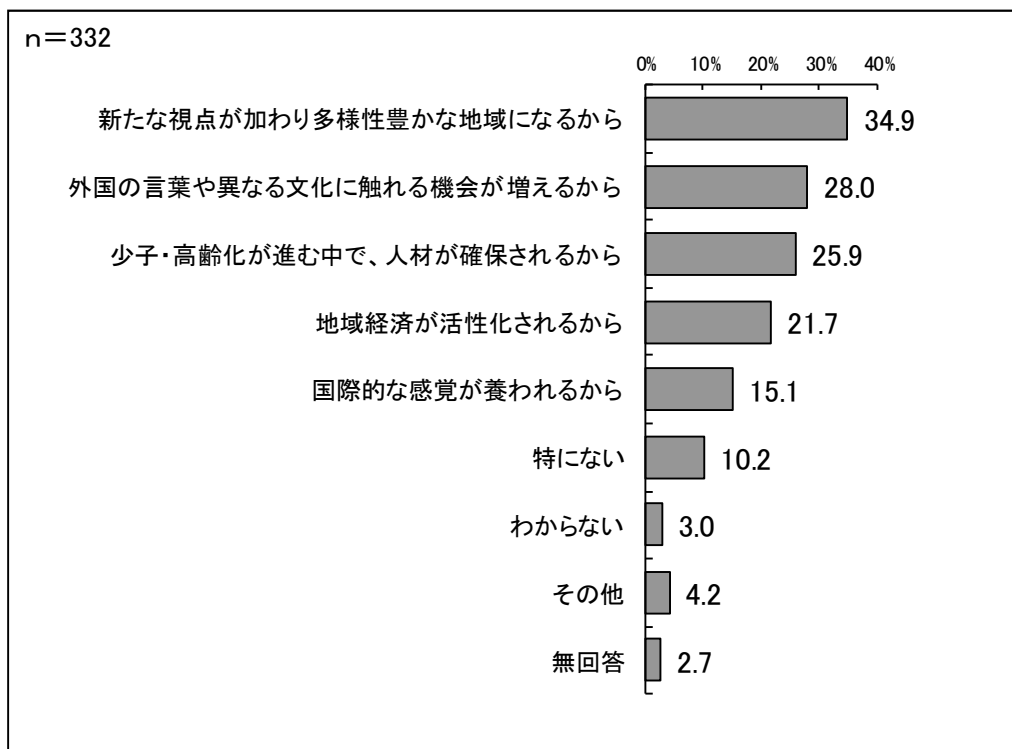
【互いに暮らしやすいまちだと感じるか（地域別）】

	(人)								(%)
	合計	そう感じる	どちらかといえば そう感じる	どちらとも いえない	あまりそう 感じない	そう感じ ない	わからない	無回答	
全体	1,719	4.2	15.1	26.4	23.6	18.0	11.1	1.6	
中央地域	152	3.9	14.5	22.4	28.3	22.4	8.6	0.0	
横曽根地域	184	4.9	13.6	▲ 18.5	27.7	○ 29.3	▲ 5.4	0.5	
青木地域	204	2.5	15.7	22.1	26.5	22.5	8.3	2.5	
南平地域	178	4.5	18.0	△ 31.5	19.1	▲ 11.8	12.4	2.8	
新郷地域	101	2.0	19.8	23.8	19.8	13.9	△ 16.8	4.0	
神根地域	134	6.0	16.4	23.9	24.6	▲ 10.4	△ 17.2	1.5	
芝地域	185	6.5	10.3	21.6	25.9	△ 24.3	10.8	0.5	
安行地域	105	2.9	▲ 9.5	○ 39.0	21.0	▲ 11.4	△ 16.2	0.0	
戸塚地域	196	4.1	△ 21.4	△ 33.7	21.9	▲ 10.2	8.7	0.0	
鳩ヶ谷地域	198	5.1	13.6	△ 33.8	20.2	14.6	10.6	2.0	

4) そう感じる理由

- 川口市は、日本人住民と外国人住民が互いに理解・尊重し合い、共存する、暮らしやすい良いまちだと感じると回答した人に、そう感じる理由を聞いたところ、「新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから」が 34.9%と最も高く、次いで、「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから」が 28.0%、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから」が 25.9%、「地域経済が活性化されるから」が 21.7%となっている。

【そう感じる理由（全体）】



5) そう感じる理由（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから」は、男性 40～49 歳が 56.5%と高くなっている。
- ・ 「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから」は、女性 40～49 歳が 48.7%と高くなっている。
- ・ 「少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから」は、女性 60～64 歳が 50.0%、男性 50～59 歳が 47.6%、女性 75 歳以上が 42.9%、男性 60～64 歳が 41.7%と高くなっている。
- ・ 「地域経済が活性化されるから」は、男性 60～64 歳が 50.0%、男性 30～39 歳が 37.5%と高くなっている。
- ・ 「国際的な感覚が養われるから」は、女性 30～39 歳が 31.0%と高くなっている。

【そう感じる理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから	34.9	31.6	△ 41.7	☆ 56.5	● 23.8	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 25.0
外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから	28.0	▲ 21.1	△ 37.5	26.1	● 14.3	○ 41.7	★ 9.5	25.0
少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから	25.9	△ 31.6	▲ 16.7	21.7	☆ 47.6	☆ 41.7	△ 33.3	30.0
地域経済が活性化されるから	21.7	26.3	☆ 37.5	21.7	○ 33.3	☆ 50.0	▲ 14.3	25.0
国際的な感覚が養われるから	15.1	▲ 5.3	▲ 8.3	13.0	★ 0.0	★ 0.0	○ 28.6	20.0
特にない	10.2	10.5	8.3	8.7	△ 19.0	● 0.0	9.5	▲ 5.0
わからない	3.0	△ 10.5	0.0	0.0	4.8	0.0	4.8	5.0
その他	4.2	0.0	0.0	4.3	4.8	0.0	4.8	5.0
無回答	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	△ 10.0

【そう感じる理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから	34.9	31.3	37.9	35.9	△ 44.8	△ 41.7	38.5	★ 14.3
外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから	28.0	28.1	△ 37.9	☆ 48.7	31.0	★ 8.3	23.1	★ 0.0
少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから	25.9	25.0	▲ 20.7	★ 10.3	● 13.8	☆ 50.0	26.9	☆ 42.9
地域経済が活性化されるから	21.7	21.9	24.1	▲ 12.8	● 10.3	16.7	● 7.7	△ 28.6
国際的な感覚が養われるから	15.1	15.6	☆ 31.0	○ 25.6	10.3	16.7	11.5	14.3
特にない	10.2	△ 18.8	6.9	7.7	13.8	△ 16.7	11.5	● 0.0
わからない	3.0	0.0	6.9	2.6	0.0	0.0	3.8	0.0
その他	4.2	0.0	3.4	0.0	△ 13.8	0.0	3.8	☆ 21.4
無回答	2.7	0.0	3.4	5.1	0.0	0.0	3.8	○ 14.3

6) そう感じる理由（地域別）

- ・ 地域別にみると、「新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから」は、横曽根地域が47.1%と高くなっている。
- ・ 「外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから」は、新郷地域が50.0%と高くなっている。
- ・ 「少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから」は、芝地域が38.7%と高くなっている。
- ・ 「地域経済が活性化されるから」は、芝地域が48.4%と高くなっている。

【そう感じる理由（地域別）】

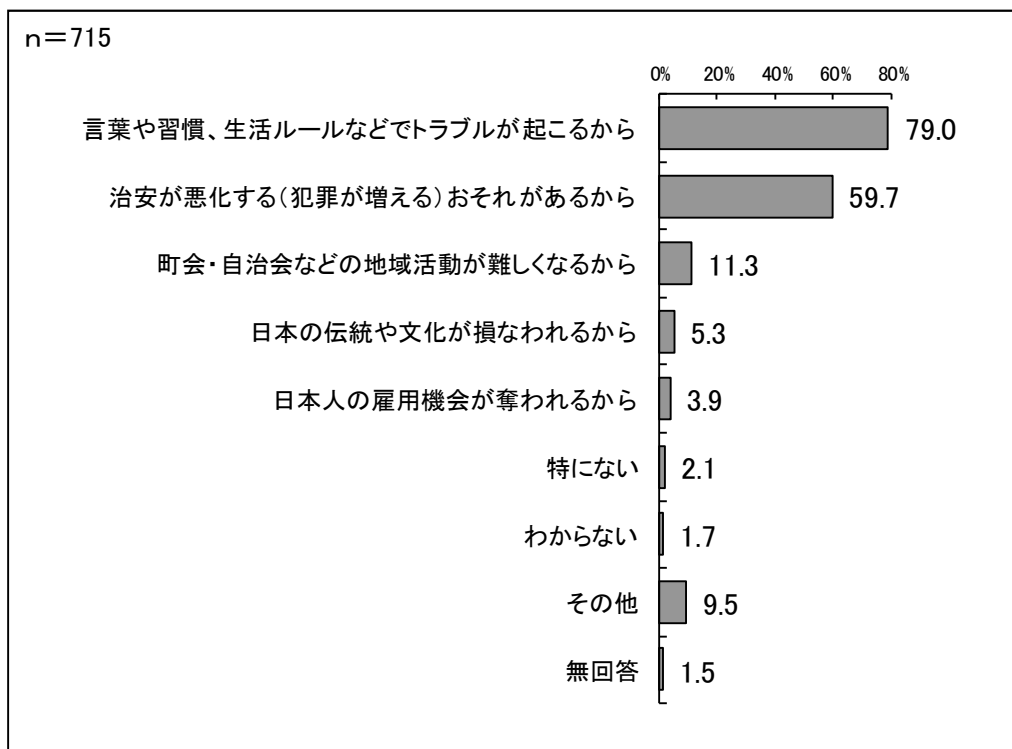
(%)

	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから	34.9	△ 42.9	○ 47.1	△ 40.5	35.0	36.4	● 23.3	★ 19.4	30.8	36.0	35.1
外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから	28.0	▲ 21.4	26.5	▲ 21.6	27.5	☆ 50.0	26.7	★ 12.9	○ 38.5	30.0	32.4
少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから	25.9	△ 32.1	23.5	27.0	△ 32.5	● 13.6	30.0	○ 38.7	23.1	24.0	▲ 16.2
地域経済が活性化されるから	21.7	△ 28.6	20.6	18.9	20.0	18.2	▲ 13.3	☆ 48.4	23.1	20.0	● 10.8
国際的な感覚が養われるから	15.1	10.7	17.6	18.9	▲ 10.0	18.2	20.0	▲ 9.7	★ 0.0	14.0	△ 24.3
特にない	10.2	7.1	11.8	8.1	15.0	9.1	13.3	12.9	7.7	8.0	10.8
わからない	3.0	0.0	0.0	2.7	2.5	△ 9.1	6.7	0.0	0.0	6.0	0.0
その他	4.2	3.6	5.9	2.7	0.0	4.5	3.3	△ 9.7	0.0	4.0	8.1
無回答	2.7	3.6	0.0	0.0	5.0	4.5	3.3	3.2	0.0	4.0	0.0

7) そう感じない理由

- 川口市は、日本人住民と外国人住民が互いに理解・尊重し合い、共存する、暮らしやすい良いまちだと感じないと回答した人に、そう感じない理由を聞いたところ、「言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから」が79.0%と最も高く、次いで、「治安が悪化する(犯罪が増える)おそれがあるから」が59.7%、「町会・自治会などの地域活動が難しくなるから」が11.3%、「日本の伝統や文化が損なわれるから」が5.3%となっている。

【そう感じない理由 (全体)】



8) そう感じない理由（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから」は、女性 60～64 歳が 95.2%、女性 18～29 歳が 92.9%と高くなっている。
- ・ 「治安が悪化する(犯罪が増える)おそれがあるから」は、男性 30～39 歳が 71.4%、女性 40～49 歳が 70.1%と高くなっている。
- ・ 「町会・自治会などの地域活動が難しくなるから」は、男性 75 歳以上が 31.0%、男性 65～74 歳が 28.3%と高くなっている。

【そう感じない理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから	79.0	● 67.6	75.5	78.4	80.4	77.8	78.3	★ 48.3
治安が悪化する(犯罪が増える)おそれがあるから	59.7	△ 67.6	○ 71.4	△ 64.9	64.3	55.6	★ 37.0	★ 41.4
町会・自治会などの地域活動が難しくなるから	11.3	▲ 2.7	▲ 6.1	9.5	12.5	13.9	☆ 28.3	☆ 31.0
日本の伝統や文化が損なわれるから	5.3	2.7	2.0	5.4	7.1	5.6	6.5	10.3
日本人の雇用機会が奪われるから	3.9	0.0	4.1	4.1	3.6	0.0	4.3	3.4
特にない	2.1	2.7	0.0	1.4	1.8	2.8	4.3	6.9
わからない	1.7	△ 8.1	2.0	1.4	0.0	2.8	2.2	0.0
その他	9.5	10.8	8.2	△ 14.9	7.1	11.1	10.9	6.9
無回答	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	4.3	△ 6.9

【そう感じない理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから	79.0	○ 92.9	△ 85.3	△ 85.6	△ 84.5	☆ 95.2	81.1	● 68.4
治安が悪化する(犯罪が増える)おそれがあるから	59.7	▲ 53.6	61.8	○ 70.1	62.1	▲ 52.4	60.4	★ 36.8
町会・自治会などの地域活動が難しくなるから	11.3	14.3	● 0.0	▲ 6.2	△ 19.0	▲ 4.8	▲ 5.7	○ 23.7
日本の伝統や文化が損なわれるから	5.3	△ 10.7	5.9	3.1	3.4	▲ 0.0	5.7	△ 10.5
日本人の雇用機会が奪われるから	3.9	3.6	4.4	3.1	1.7	△ 9.5	1.9	7.9
特にない	2.1	0.0	2.9	0.0	1.7	0.0	3.8	5.3
わからない	1.7	0.0	0.0	3.1	0.0	4.8	0.0	2.6
その他	9.5	7.1	10.3	6.2	10.3	9.5	11.3	7.9
無回答	1.5	0.0	0.0	2.1	1.7	0.0	1.9	2.6

9) そう感じない理由（地域別）

- ・ 地域別にみると、「言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから」は、横曽根地域が89.5%、中央地域が88.3%と高くなっている。
- ・ 「治安が悪化する（犯罪が増える）おそれがあるから」は、青木地域が70.0%と高くなっている。
- ・ 「町会・自治会などの地域活動が難しくなるから」は、南平地域が16.4%と高くなっている。
- ・ 「日本の伝統や文化が損なわれるから」は、神根地域が12.8%と高くなっている。

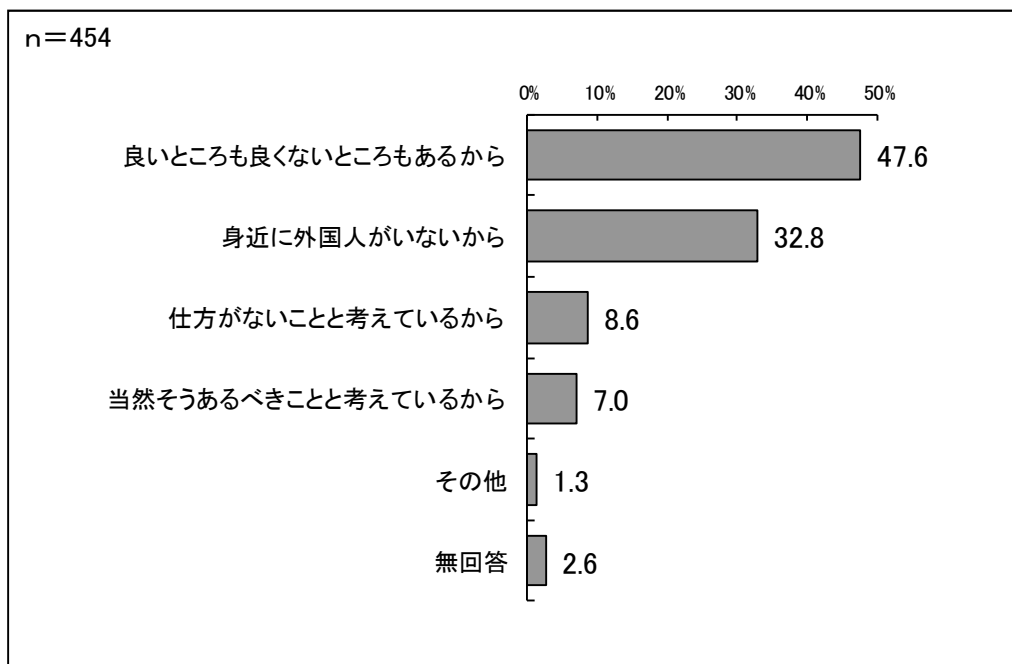
【そう感じない理由（地域別）】

	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから	79.0	△ 88.3	○ 89.5	83.0	78.2	● 67.6	76.6	78.5	★ 61.8	76.2	▲ 73.9
治安が悪化する（犯罪が増える）おそれがあるから	59.7	55.8	58.1	○ 70.0	61.8	64.7	57.4	58.1	★ 44.1	63.5	59.4
町会・自治会などの地域活動が難しくなるから	11.3	7.8	16.2	9.0	△ 16.4	▲ 2.9	10.6	14.0	8.8	▲ 4.8	14.5
日本の伝統や文化が損なわれるから	5.3	6.5	3.8	10.0	1.8	5.9	△ 12.8	4.3	▲ 0.0	3.2	2.9
日本人の雇用機会が奪われるから	3.9	2.6	1.9	6.0	7.3	2.9	2.1	3.2	2.9	7.9	1.4
特にない	2.1	0.0	0.0	3.0	0.0	5.9	2.1	1.1	△ 11.8	3.2	1.4
わからない	1.7	0.0	1.0	0.0	1.8	0.0	2.1	1.1	△ 8.8	0.0	4.3
その他	9.5	10.4	11.4	6.0	7.3	11.8	8.5	10.8	8.8	12.7	7.2
無回答	1.5	3.9	1.9	1.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.9	1.6	1.4

10) どちらともいえない理由

- 川口市は、日本人住民と外国人住民が互いに理解・尊重し合い、共存する、暮らしやすい良いまちだと感じるかについて、どちらともいえないと回答した人にその理由を聞いたところ、「良いところも良くないところもあるから」が47.6%と最も高く、次いで、「身近に外国人がいないから」が32.8%、「仕方がないことと考えているから」が8.6%、「当然そうあるべきことと考えているから」が7.0%となっている。

【どちらともいえない理由（全体）】



11) どちらともいえない理由（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「良いところも良くないところもあるから」は、女性 60～64 歳が 66.7%と高くなっている。
- ・ 「身近に外国人がいないから」は、女性 30～39 歳が 52.5%と高くなっている。
- ・ 「仕方がないことと考えているから」は、男性 18～29 歳が 21.4%、女性 75 歳以上が 20.6%と高くなっている。

【どちらともいえない理由（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
良いところも良くないところもあるから	47.6	● 35.7	50.0	△ 56.7	45.8	46.2	44.2	▲ 41.2
身近に外国人がいないから	32.8	35.7	▲ 25.0	● 20.0	37.5	△ 38.5	32.7	▲ 23.5
仕方がないことと考えているから	8.6	○ 21.4	5.0	13.3	▲ 0.0	7.7	5.8	11.8
当然そうあるべきことと考えているから	7.0	▲ 0.0	△ 15.0	10.0	△ 16.7	7.7	△ 15.4	5.9
その他	1.3	△ 7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
無回答	2.6	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	1.9	△ 11.8

【どちらともいえない理由（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
良いところも良くないところもあるから	47.6	△ 57.1	47.5	52.4	△ 56.0	☆ 66.7	● 36.7	● 35.3
身近に外国人がいないから	32.8	● 19.0	☆ 52.5	33.3	● 20.0	33.3	○ 46.9	32.4
仕方がないことと考えているから	8.6	9.5	▲ 0.0	4.8	△ 16.0	▲ 0.0	8.2	○ 20.6
当然そうあるべきことと考えているから	7.0	9.5	▲ 0.0	4.8	6.0	▲ 0.0	2.0	2.9
その他	1.3	4.8	0.0	1.6	2.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.6	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	6.1	△ 8.8

12) どちらともいえない理由（地域別）

- ・ 地域別にみると、「良いところも良くないところもあるから」は、青木地域が73.3%と高くなっている。
- ・ 「身近に外国人がいないから」は、安行地域が51.2%、神根地域が46.9%、新郷地域が45.8%と高くなっている。
- ・ 「仕方がないことと考えているから」は、中央地域が23.5%と高くなっている。

【どちらともいえない理由（地域別）】

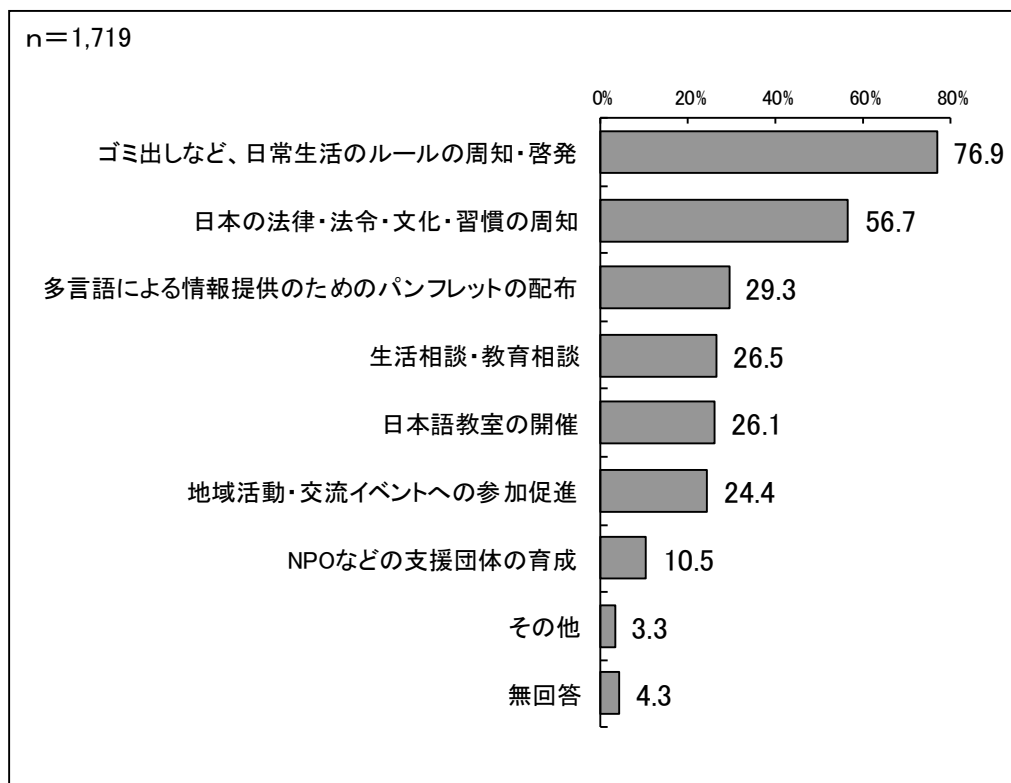
	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
良いところも良くないところもあるから	47.6	△ 55.9	50.0	☆ 73.3	42.9	● 33.3	● 37.5	△ 55.0	▲ 39.0	45.5	● 37.3
身近に外国人がいないから	32.8	★ 5.9	▲ 23.5	★ 8.9	37.5	○ 45.8	○ 46.9	★ 17.5	☆ 51.2	△ 42.4	△ 41.8
仕方がないことと考えているから	8.6	○ 23.5	▲ 2.9	6.7	7.1	▲ 0.0	9.4	△ 15.0	9.8	7.6	6.0
当然そうあるべきことと考えているから	7.0	8.8	○ 17.6	8.9	8.9	8.3	6.3	5.0	▲ 0.0	3.0	9.0
その他	1.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	3.0
無回答	2.6	0.0	5.9	2.2	3.6	△ 12.5	0.0	2.5	0.0	1.5	3.0

2 1. 共生のために市が力を入れるべき施策

1) 共生のために市が力を入れるべき施策

- 外国人と日本人が共生していくため市が力を入れるべき施策について、「ゴミ出しなど、日常生活のルールの周知・啓発」が76.9%と最も高く、次いで、「日本の法律・法令・文化・習慣の周知」が56.7%、「多言語による情報提供のためのパンフレットの配布」が29.3%、「生活相談・教育相談」が26.5%、「日本語教室の開催」が26.1%となっている。

【共生のために市が力を入れるべき施策（全体）】



2) 共生のために市が力を入れるべき施策（性・年齢別）

- ・ 性・年齢別にみると、「ゴミ出しなど、日常生活のルールの周知・啓発」は、女性 60～64 歳が 87.9%、女性 50～59 歳が 87.4%と高くなっている。
- ・ 「多言語による情報提供のためのパンフレットの配布」は、女性 18～29 歳が 44.8%、女性 40～49 歳が 39.4%と高くなっている。
- ・ 「日本語教室の開催」は、女性 18～29 歳が 38.5%と高くなっている。

【共生のために市が力を入れるべき施策（男性・年齢別）】

(%)

	全体	男性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
ゴミ出しなど、日常生活のルールの周知・啓発	76.9	● 62.3	72.3	▲ 69.6	△ 82.6	△ 84.4	75.8	▲ 71.3
日本の法律・法令・文化・習慣の周知	56.7	▲ 50.6	57.4	△ 63.8	△ 62.4	60.9	54.5	52.9
多言語による情報提供のためのパンフレットの配布	29.3	33.8	26.7	▲ 23.2	30.3	29.7	▲ 22.0	● 16.1
生活相談・教育相談	26.5	28.6	26.7	26.1	28.4	26.6	▲ 21.2	● 11.5
日本語教室の開催	26.1	29.9	▲ 20.8	26.8	21.1	△ 32.8	▲ 19.7	26.4
地域活動・交流イベントへの参加促進	24.4	24.7	23.8	23.2	28.4	△ 29.7	△ 30.3	26.4
NPOなどの支援団体の育成	10.5	14.3	9.9	10.9	11.0	10.9	9.8	9.2
その他	3.3	0.0	5.0	8.0	3.7	4.7	3.8	2.3
無回答	4.3	3.9	3.0	2.2	1.8	0.0	1.5	△ 13.8

【共生のために市が力を入れるべき施策（女性・年齢別）】

(%)

	全体	女性						
		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75歳以上
ゴミ出しなど、日常生活のルールの周知・啓発	76.9	● 65.6	79.3	80.3	○ 87.4	○ 87.9	△ 83.1	73.6
日本の法律・法令・文化・習慣の周知	56.7	▲ 51.0	58.7	△ 66.1	△ 64.9	56.9	▲ 50.0	★ 38.8
多言語による情報提供のためのパンフレットの配布	29.3	☆ 44.8	33.3	○ 39.4	33.8	32.8	26.3	● 16.5
生活相談・教育相談	26.5	△ 33.3	30.7	△ 36.2	31.1	24.1	26.3	● 13.2
日本語教室の開催	26.1	○ 38.5	28.0	△ 33.9	27.2	27.6	▲ 20.6	● 15.7
地域活動・交流イベントへの参加促進	24.4	26.0	26.7	26.6	▲ 17.2	▲ 19.0	25.0	▲ 14.9
NPOなどの支援団体の育成	10.5	9.4	12.7	12.8	11.3	8.6	10.0	▲ 4.1
その他	3.3	1.0	4.0	2.8	2.6	1.7	3.1	1.7
無回答	4.3	1.0	4.0	3.2	0.7	0.0	4.4	△ 11.6

3) 共生のために市が力を入れるべき施策（地域別）

- ・ 地域別にみると、「日本の法律・法令・文化・習慣の周知」は、芝地域が 65.9%と高くなっている。
- ・ 「多言語による情報提供のためのパンフレットの配布」は、戸塚地域が 35.2%と高くなっている。
- ・ 「生活相談・教育相談」は、戸塚地域が 35.2%、中央地域が 31.6%と高くなっている。
- ・ 「日本語教室の開催」は、芝地域が 33.5%、神根地域が 31.3%と高くなっている。
- ・ 「地域活動・交流イベントへの参加促進」は、鳩ヶ谷地域が 31.8%と高くなっている。

【共生のために市が力を入れるべき施策（地域別）】

	全体	中央地域	横曽根地域	青木地域	南平地域	新郷地域	神根地域	芝地域	安行地域	戸塚地域	鳩ヶ谷地域
ゴミ出しなど、日常生活の ルールの周知・啓発	76.9	77.0	81.5	79.4	75.3	● 64.4	72.4	81.6	76.2	77.0	77.8
日本の法律・法令・文化・ 習慣の周知	56.7	57.9	60.3	59.3	54.5	● 44.6	56.0	△ 65.9	59.0	61.2	▲ 48.5
多言語による情報提供のた めのパンフレットの配布	29.3	28.3	32.6	30.9	30.3	▲ 23.8	29.9	25.9	30.5	△ 35.2	25.3
生活相談・教育相談	26.5	△ 31.6	27.7	▲ 20.6	24.7	23.8	23.1	22.2	27.6	△ 35.2	28.3
日本語教室の開催	26.1	▲ 17.8	23.4	27.0	23.6	26.7	△ 31.3	△ 33.5	27.6	30.6	21.7
地域活動・交流イベントへ の参加促進	24.4	19.7	23.4	19.6	23.6	27.7	29.1	22.7	24.8	24.0	△ 31.8
NPOなどの支援団体の育成	10.5	13.2	12.0	8.8	10.7	9.9	9.0	9.7	▲ 3.8	14.8	10.6
その他	3.3	4.6	7.1	2.9	1.1	4.0	3.0	4.3	0.0	3.6	2.0
無回答	4.3	2.6	2.7	4.4	3.9	△ 10.9	4.5	2.2	2.9	1.0	6.1

第3章 調査結果の分析

第3章 調査結果の分析

1) 川口市の特徴

- 本調査において、今後も本市に「住み続けたい」と回答した人は、今回調査を含め平成19年度以降8割を超える高い値で推移している。高い居住意向を維持し続けている理由には、本市の良いところ、好きなところで約6割の人が「都心に出やすい」をあげ、5割を超える人が「買い物など日常生活が便利である」をあげるなど、利便性の高さが大きな要因となっている。
- 本市の好きな場所、もの、行事については「グリーンセンター」をあげた人が5割近くと最も多く、次いで「たたら祭り」が3割半ば、「中央図書館」が約3割、「川口総合文化センターリリア」が2割半ばと、誇れる文化や芸術を有することが本市の魅力となっている。
- 「川口市自治基本条例」の周知状況については、「条例の内容を知っている」が2.1%、「名称は聞いたことがある」が19.7%と、合わせて約2割にとどまっていることから、周知・啓発が課題である。
- 本市の状況や取り組みについての実感では、「いつでも安心して水道や下水道を利用できるまち」で「そう感じる」と「ややそう感じる」を合わせた回答が6割半ばと最も多く、安全・安心な上下水道を利用できるまちのイメージは定着してきている。次いで、6割強の人が「大型店から商店街まで買い物がしやすいまち」をあげており、人々が買い物を楽しめる商業環境づくりと商店街の魅力づくりの取り組みが一定の評価を得ている。また、「豊かな水と緑に親しめる場所があるまち」が5割弱、「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」、「植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまち」、「ごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまち」が4割半ばと、「人と環境にやさしいまち」、「生涯安心なまち」、「地域の魅力と誇りを育むまち」として本市の施策が実を結んできている。
- 都市整備の施策の満足度については、満足とやや満足を合わせた回答が「下水道事業の推進」で7割強と最も多く、以下「良好な住環境の推進」、「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」、「総合的な交通基盤の充実」で5割以上となっている。
- 子育て・子育て環境の充実度については、充実とやや充実を合わせた回答が「子どもやその親同士の交流の場」で4割を超えて最も多いものの、これが唯一、充実（充実とやや充実）が不足（やや不足と不足）を上回った施策となっている。
- 鳩ヶ谷市との合併から7年が経ち、それによる変化を聞いたところ、6割半ばの人は「変化はない」と回答している。なお、地域別にみると、「良くなった」と「悪くなった」のいずれもが、鳩ヶ谷地域で高くなっている。

- 町会・自治会への加入状況については、「加入している」との回答が6割半ばと最も多くなっている。また、「加入しているが、今後はやめたいと考えている」、「加入していないが、今後も加入する予定は無い」、「過去に加入していたが、脱会した」と答えた人の理由として、「加入していなくても困らない」、「加入にメリットが感じられない」がそれぞれ5割を超えている。
- 暮らしの中で困り事があった場合、相談できる人や機関が思い当たるかについては、「調べればわかると思う」が約4割と最も多く、次いで「思い当たる」、「よくわからない」がそれぞれ2割を超えている。一方、1割半ばの人は「思い当たらない」と答えている。
- 便利だと考える防災・災害情報の配信方法については、「防災行政無線」、「スマートフォンアプリ」がともに3割近くと多く、「防災行政無線」はとくに60歳以上で高い値となっている。
- 災害時の食料の備蓄については、「1～2日分」が3割強、「3日分」が2割強、「4～6日分」が約1割などとなっている。一方、「備蓄していない」は3割強となっている。また、災害時に備えた持出し袋の用意については、「用意している」が4割強、「用意していない」が5割半ば。震災時における避難所の認知については、「知っている」が7割半ば、「知らない」が2割半ばとなっている。
- インターネットの利用で使用している電子機器については、「スマートフォン」が約5割と最も多く、次いで「パソコン」が2割半ばとなっている。また、インターネットで利用しているサービスについては、「ホームページの検索・閲覧」が8割を超えて最も多く、次いで「LINE等のメッセージアプリ」、「ネットショッピング」がともに6割近くとなっている。
- 川口市の行政情報の入手手段については、「広報紙」が6割近くと最も多く、「川口市ホームページ」、「回覧板・掲示板」が1割超となっている。また、最も利用したい行政情報の入手手段については、「広報紙」が4割半ばと最も多く、次いで「川口市ホームページ」が約2割、「電子メール（川口市メール配信サービス）」が約1割となっている。
- 川口市は、日本人住民と外国人住民が互いに理解・尊重し合い、共存する、暮らしやすい良いまちだと感じるかについては、「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた回答が約2割、「あまりそう感じない」と「そう感じない」を合わせた回答が4割強と、そう感じていない市民の割合が多くなっている。そう感じない理由については、「言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから」が8割弱、「治安が悪化する（犯罪が増える）おそれがあるから」が約6割であった。また、外国人と日本人が共生していくため市が力を入れるべき施策については、「ゴミ出しなど、日常生活のルールの周知・啓発」が7割半ばと最も多く、次いで「日本の法律・法令・文化・習慣の周知」が5割半ば、「多言語による情報提供のためのパンフレットの配布」が約3割などとなっている。

2) 川口市の課題

① 保健・医療体制の充実、子育て・高齢者世帯への支援

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい状況や取り組みとして「保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち」をあげた人が4割半ばと、質問に掲げた全23の状況や取り組みの中で最も多く、また、「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち」が3割半ば（3番目に多い）、「子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち」が約3割（5番目に多い）との結果から、全ての人にやさしい“生涯安心なまち”の実現に寄せられる期待が特に大きく、さらなる保健・医療の充実、高齢者や子育て世帯への支援などの取り組みが求められる。

② 安全・安心な市民生活の確保

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい状況や取り組みの中で2番目に多いものが、「さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち」で4割強であった。これは、川口市の良いところ、好きなところとして「災害が少ない」が3番目に高いこと、そして、川口市の良くないところ、嫌いなところとして「災害が多い」が最も少なく、「治安が悪い」が約3割と最も多い結果となっていることから、特に犯罪に対し対策を必要としており、誰もが“安全で快適に暮らせるまち”の実現のために、治安や防犯に対する取り組みが求められている。また、自由記述からは、増加する外国人住民との習慣やマナーの違いに対し、戸惑いや不安を感じるという意見が多くみられることから、文化の違いを尊重し理解し合う取り組みも必要である。

③ 交通環境の整備

今後さらに力を入れて（充実させて）ほしい状況や取り組みとして「安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち」をあげた人が約3割と、全23の状況や取り組みの中で4番目に多くなっており、地域別にみると、新郷・安行・神根地域でポイントが高い。また、自由記述からは、自転車のマナー向上を求め、歩行者が安全に通行できるための道路整備を望む意見も寄せられた。

まとめ

今年度の調査結果から、本市に「住み続けたい」との回答が昨年度からはやや下降しているものの、12年連続して8割を超える高い割合を示しており、住み続けたいと思うまちづくりが一定の成果をあげている。一方で、「治安が悪い」との回答が昨年度より3ポイント以上低下し3割を下回ったものの、依然として最も多かった。自由記述からは、外国人住民との共生を心配する意見も多いことから、「多様な主体の共生共栄」の推進が、「住み続けたいまち」として選ばれるための重要な課題となっている。

参考資料（調査票・単純集計結果）

総合計画(まちづくり)のための

川口市民意識調査

～市民のみなさまの声をお聞かせください～

市民のみなさまには、日ごろから市政推進にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

川口市では、「川口市総合計画」に基づき、様々な施策を実施しておりますが、この計画を進行管理し、より良いものとしていくために、本市のまちづくりに対する市民のみなさまの評価やご意見を伺う「市民意識調査」を毎年実施しております。

この調査は、本市にお住まいの満18歳以上の方から、無作為に5,000人を抽出し、調査票を送らせていただいております。

この調査票に記入していただきました内容は、本市において厳重に管理し、統計的な処理を行うこと以外に使用することは一切ありません。

川口市を一層、住んで良かった、これからも住み続けたいと実感できるより良いまちとするために、ぜひともこの調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年6月 川口市長 奥ノ木 信夫

【回答の方法】

- ① 調査対象者本人（封筒のあて名の方）が、ご回答をお願いします。
- ② 回答済みの本調査票を三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて封をし、**6月22日（金）までに郵便ポストへ投函をお願いします。**

（切手は必要ありません）

【回答にあたってのお願い】

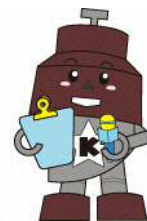
- ① **回答は無記名です。**調査票、封筒ともに氏名・住所の記入は必要ありません。
- ② 回答は、問の番号順に進んでお答えください。回答内容によって、一部の方にお答えいただく設問がありますが、記載のとおり該当する設問に進んでください。

【お問合せ先】

川口市役所 企画財政部 企画経営課 企画係

電話 048（259）7627

FAX 048（257）1008



川口市マスコット「きゅぽらん」

(表記のない項目は、n=1,719 を 100.0 として%を算出)

◆川口市での暮らしやまち全体の印象についておたずねいたします。

問1 今後とも、川口市に住み続けたいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

82.0 住み続けたい 12.3 住み続けたくない 5.8 無回答

問2 あなたが思う川口市のことについておたずねいたします。あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 川口市の良いところ、好きなところは何ですか。(○は3つまで)

24.4 公共交通機関が充実している	14.3 自然環境が豊かである
10.4 道路事情が良い	1.4 街並みが美しい
53.8 買い物など日常生活が便利である	7.2 治安が良い
10.5 勤務先が近くにある	1.2 娯楽施設が充実している
59.9 都心に出やすい	11.8 住まいの環境が良好である
5.7 医療サービスが充実している	5.2 近隣の人々とのきずなが強い
1.5 福祉サービスの水準が高い	25.5 災害が少ない
2.6 子育ての環境が充実している	6.5 公害が少ない
1.2 子どもの教育環境が充実している	9.3 物価が安い
11.2 公園などの憩いの場が豊富である	2.9 特になし
2.0 文化活動をする場が豊富である	2.8 その他
4.6 スポーツをする場が豊富である	2.0 無回答

自由記入

(2) 川口市の良くないところ、嫌いなところは何ですか。(○は3つまで)

17.0 公共交通機関が充実していない	6.6 自然環境が悪い
15.4 道路事情が悪い	14.1 街並みがきたない
5.4 買い物など日常生活が不便である	29.9 治安が悪い
4.0 勤務先が遠くにある	8.0 娯楽施設が充実していない
2.7 都心に出にくい	4.7 住まいの環境が悪い
14.1 医療サービスが不十分である	11.6 近隣の人々とのきずなが弱い
11.6 福祉サービスの水準が低い	0.9 災害が多い
7.9 子育ての環境が整っていない	1.9 公害が多い
6.1 子どもの教育環境が悪い	5.9 物価が高い
13.3 公園などの憩いの場が乏しい	9.9 特になし
6.3 文化活動をする場が乏しい	14.5 その他
8.4 スポーツをする場が乏しい	3.5 無回答

自由記入

問3 川口市の好きな場所、もの、行事は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 8.7 川口市マスコット「きゅぼらん」 | 0.5 旧鋳物問屋鍋平邸 |
| 9.9 川口宿鳩ヶ谷宿日光御成道まつり | 9.2 川口神社 |
| 9.4 川口マラソン | 3.0 錫杖寺 |
| 8.4 SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 | 5.2 峯ヶ岡八幡神社 |
| 35.7 たたら祭り | 3.4 地藏院 |
| 3.0 市産品フェア | 4.2 赤山城跡(赤山陣屋跡) |
| 3.8 彩の国ビジュアルプラザ映像ミュージアム | 0.9 木曾呂の富士塚 |
| 7.3 科学館 | 3.1 赤山歴史自然公園(イイナパーク川口) |
| 24.6 川口総合文化センターリリア | 6.9 青木町平和公園 |
| 29.5 中央図書館 | 16.1 川口西公園(リリアパーク) |
| 1.2 かわぐち市民パートナーズステーション | 5.4 荒川運動公園 |
| 2.8 アートギャラリー・アトリア | 7.8 川口自然公園 |
| 47.2 グリーンセンター | 3.5 ゴリラ公園 |
| 10.6 川口緑化センター樹里安 | 0.3 御成坂公園 |
| 6.6 川口オートレース場 | 10.2 その他 |
| 5.1 旧田中家住宅 | 7.1 無回答 |

自由記入

◆ 川口市が取り組む施策等に対する評価についておたずねいたします。

問4 あなたは、「川口市自治基本条例」を知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------|
| 2.1 条例の内容を知っている | 19.7 名称は聞いたことがある | 77.5 知らない |
| | | 0.8 無回答 |

※川口市では、自治体の憲法と言われる「川口市自治基本条例」を平成21年4月1日に施行いたしました。この条例は、市民が市民として幸せに暮らせる地域社会を実現するための基本的なルールを定めたものです。

- 問5 川口市の状況や取り組みについておたずねいたします。
 以下のそれぞれの質問に対してあてはまるものに○をつけてください。
 (○は1つ)

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 ややそ う感じ る	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
1	川口市は保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまちだと感じますか。	9.0	37.7	34.7	13.1	3.9	1.6
2	川口市は子育てしやすい環境づくりに力を入れているまちだと感じますか。	4.7	25.7	44.7	16.1	4.7	4.1
3	川口市は高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまちだと感じますか。	2.9	20.6	48.5	20.7	5.7	1.7
4	川口市は、年齢・性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが安心して暮らせるまちだと感じますか。	3.8	24.1	45.8	17.9	6.5	1.9
5	川口市は子どもたちが積極的に学ぶことができる環境が整っているまちだと感じますか。	2.8	21.4	47.3	19.6	5.2	3.7
6	川口市は学校や家庭、地域が協力し、子どもたちの成長を支えているまちだと感じますか。	4.5	26.6	44.3	16.3	4.8	3.5
7	川口市は文化・芸術活動やスポーツなどの生涯学習をしやすい環境が整っているまちだと感じますか。	3.7	25.6	46.0	17.9	4.5	2.3
8	川口市は性別や国籍などによる差別のない、お互いを尊重し理解し合えるまちだと感じますか。	4.0	23.6	48.2	15.0	6.7	2.5
9	川口市は市内産業が元気なまちだと感じますか。	3.3	21.8	42.8	23.2	6.7	2.3
10	川口市はものづくり産業が活発なまちだと感じますか。	4.4	25.5	39.8	22.2	5.9	2.2
11	川口市は大型店から商店街まで買い物がしやすいまちだと感じますか。	17.5	43.7	22.2	11.7	3.4	1.5
12	川口市は植木や特産野菜など特色ある都市農業が行われているまちだと感じますか。	10.0	36.1	32.1	15.8	4.1	2.0
13	川口市は自然や歴史、文化財など市内外に誇れる魅力があるまちだと感じますか。	5.2	22.8	42.4	21.0	6.6	2.0

質問 番号	質問項目	5 そう感 じる	4 ややそ う感じ る	3 どちら ともい えない	2 あまり そう感 じない	1 そう感 じない	無回答
14	川口市は豊かな水と緑に親しめる場所があるまちだと感じますか。	9.0	38.3	28.4	17.4	5.3	1.5
15	川口市はCO2削減など地球環境に配慮した取り組みを積極的に行っているまちだと感じますか。	2.5	15.9	47.2	25.8	6.5	2.2
16	川口市はごみの減量化や、リサイクルなどを積極的に行っているまちだと感じますか。	9.7	36.2	32.9	16.2	3.8	1.2
17	川口市は、住・工・商・緑など地域ごとの特性を踏まえた適正なまちづくりが推進されていると感じますか。	3.0	20.6	51.7	18.0	4.4	2.3
18	川口市は安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまちだと感じますか。	7.3	33.4	32.9	16.9	7.6	1.8
19	川口市はいつでも安心して水道や下水道を利用できるまちだと感じますか。	20.4	45.0	24.0	6.7	2.5	1.3
20	川口市はさまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われていると感じますか。	4.1	24.0	42.2	19.4	8.3	2.0
21	川口市はボランティアや地域活動など(町会・自治会など)、市民が元気に活動できるまちだと感じますか。	4.9	25.7	48.4	14.8	4.6	1.6
22	川口市は、市民が市政に参加しやすく行政と協力してまちづくりを行っていると感じますか。	2.3	12.7	53.1	21.8	8.1	2.0
23	川口市は効果的かつ効率的な行財政運営がなされていると感じますか。	1.6	12.9	56.9	18.6	7.5	2.4

問6 問5の23の質問項目のうち、あなたが、川口市に今後さらに力を入れて（充実させて）ほしいと感じるものについて、問5の表の質問番号（1～23）から上位5つを選び、その番号を下の枠の中に記入してください。

- 46.5 保健・医療体制が充実し、健康に暮らせるまち
- 43.2 さまざまな災害や犯罪などに対する安全・安心なまちづくりが行われているまち
- 36.5 高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせるまち
- 30.3 安全・安心・快適に移動できる交通環境が整っているまち
- 29.9 子育てしやすい環境づくりに力を入れているまち

問7 川口市の都市整備に対する「満足度」について、おたずねいたします。
以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

番号	施策	回答欄 (満足度)				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
1	「良好な住環境の推進」はされていると感じますか。 (良好な住宅や住宅環境の整備)	6.9	49.5	31.4	6.8	5.4
2	「魅力と活力を育む土地利用の推進」はされていると感じますか。(計画的な土地利用、市街地や駅周辺の整備等)	3.5	37.9	42.7	9.4	6.5
3	「総合的な交通基盤の充実」はされていると感じますか。 (道路・交通環境整備、バスなどの公共交通機能充実等)	8.1	42.3	33.2	11.1	5.3
4	「下水道事業の推進」はされていると感じますか。 (下水道の普及や機能の向上等)	19.4	52.8	17.3	5.6	4.9
5	「美しくうるおいのある景観形成の推進」はされていると感じますか。(美しくうるおいのある景観形成の推進等)	4.4	38.0	41.9	9.7	5.9
6	「豊かな水と緑に親しめる都市の創出」はされていると感じますか。(緑地や河川環境の整備、治水対策等)	6.1	44.7	34.7	9.2	5.3

問8 健やかな子育て・子育て環境づくりに対する「充実度」について、おたずねいたします。以下の質問に対してあてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

番号	施策	回答欄 (充実度)				
		充実	やや充実	やや不足	不足	無回答
1	子どもやその親同士の交流の場は充実していると感じますか。	5.8	37.3	36.0	5.1	15.9
2	子育てに関する相談の出来る場所は充実していると感じますか。	4.7	31.5	40.2	6.8	16.9
3	子育てへの不安や負担が軽減され、安心して楽しく子育てができる環境が充実していると感じますか。	3.2	30.4	40.5	9.0	16.9
4	病児・病後児保育、一時預かり保育、延長保育など、多様化する保育ニーズに対応していると感じますか。	3.3	25.3	39.7	14.7	17.0
5	放課後の児童の活動や成長を見守る環境が充実していると感じますか。	4.1	30.5	37.2	10.9	17.3
6	児童センターなどによる、子どもが自ら育つ力をつけ、心身ともに健やかに成長するための取り組みは充実していると感じますか。	4.0	30.6	39.1	8.6	17.7
7	いじめ問題や不登校などの課題について未然防止や早期発見のための取り組みは充実していると感じますか。	1.2	20.1	43.2	17.4	18.0

◆ 川口市は平成23年10月に鳩ヶ谷市と合併しました。合併についておたずねいたします。

問9 合併して約7年がたちますが、あなたにとって、合併による変化はありましたか。
あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

4.9 良くなった (問9-1へ) 65.3 変化はない 4.7 悪くなった (問9-1へ) 23.4 わからない
1.6 無回答

問9-1 問9で1または3を選択した方におたずねいたします。
良くなったこと(もの)、悪くなったこと(もの)は何ですか。

(自由記入)

◆ 町会・自治会についておたずねいたします。

問10 町会もしくは自治会への加入状況について、あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

65.3 加入している
3.6 加入していないが、今後は加入を考えている
6.2 加入しているが、今後はやめたいと考えている (問10-1へ)
19.0 加入していないが、今後も加入する予定は無い (問10-1へ)
3.8 過去に加入していたが、脱会した (問10-1へ)
2.0 無回答

問10-1 問10で3、4、5のいずれかを選択した方におたずねいたします。
その理由についてあてはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも) (n=500)

39.2 町会・自治会が何をしているのかわからない 56.0 加入していなくても困らない
14.8 加入方法がわからない 53.6 加入にメリットが感じられない
36.4 行事や活動が大変そう 10.2 周りに加入世帯が少ない
25.4 会費を払うのに抵抗がある 17.6 その他 (自由記入)
1.4 無回答

◆ 福祉についておたずねいたします。

問 1 1 暮らしの中でお困り事（高齢、介護、障害、子育て、家計等）があった場合、相談できる人や機関が思い当たりますか。あてはまる番号に○をつけてください。
（ ○は1つ ）

- | | |
|-----------------|--------------|
| 22.7 思い当たる | 21.0 よくわからない |
| 40.2 調べればわかると思う | 14.5 思い当たらない |
| | 1.5 無回答 |

◆ 防災についておたずねいたします。

問 1 2 防災・災害情報がどのような方法で配信されていれば、便利だと考えますか。あてはまる番号に○をつけてください。（ ○は1つ ）

- | | |
|-----------------|------------------------------|
| 12.6 川口市ホームページ | 27.3 スマートフォンアプリ |
| 18.5 川口市メールサービス | 7.3 SNS (Facebook、Twitter 等) |
| 27.5 防災行政無線 | 3.1 その他 |
| | 3.7 無回答 |
- （ 自由記入 ）

問 1 3 ご自宅に災害時の食料をどの程度備蓄していますか。（ ○は1つ ）

- | | |
|-----------|--------------|
| 3.0 7日分以上 | 32.9 1～2日分 |
| 9.4 4～6日分 | 31.7 備蓄していない |
| 22.1 3日分 | 0.9 無回答 |

問 1 4 災害時に備えて避難時に必要な持出し袋等を用意していますか。（ ○は1つ ）

- | | | |
|-------------|--------------|---------|
| 42.7 用意している | 56.4 用意していない | 0.9 無回答 |
|-------------|--------------|---------|

問 1 5 震災時におけるご自宅付近の避難所を知っていますか。（ ○は1つ ）

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| 75.0 知っている | 24.1 知らない | 0.9 無回答 |
|------------|-----------|---------|

◆ インターネットの利用についておたずねいたします。

問16 インターネットを利用するために、主にどのような電子機器（デバイス）を使用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 25.7 パソコン | 0.6 テレビのインターネット機能 |
| 49.1 スマートフォン | 16.1 使っていない |
| 4.1 タブレット | 2.6 無回答 |
| 1.3 フィーチャーフォン（いわゆるガラケーなど） | |
| 0.6 ゲーム機 | |

問16-1 問16で1～6のいずれかを選択した方におたずねいたします。
 問16の電子機器でインターネットを利用する際、どのようなサービス
 を利用していますか。あてはまるものに○をつけてください。
 （○はいくつでも）（n=1,398）

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 81.2 ホームページの検索・閲覧 | 58.2 ネットショッピング |
| 33.1 SNS（Facebook、Twitter等） | 43.8 ホテルや交通機関などの各種予約・申込み |
| 53.4 電子メール | 15.6 行政機関への各種申請や申請書の入手 |
| 59.3 LINE等のメッセージングアプリ | 2.2 その他（自由記入） |
| 4.4 自身のホームページやブログの公開 | 2.8 無回答 |
| 48.7 YouTube等の動画の閲覧 | |
| 14.9 Apple MusicやNetflix等の音楽・動画配信サービス | |

◆ 行政情報の入手手段についておたずねいたします。

問17 川口市の行政情報を、現在どのような手段で入手していますか。
 最も利用している手段に○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 58.7 広報紙 | 12.1 特になし |
| 13.9 川口市ホームページ | 0.5 その他（自由記入） |
| 1.0 電子メール（川口市メール配信サービス） | 1.4 無回答 |
| 11.1 回覧板・掲示板 | |
| 1.3 市役所に電話 | |

問18 川口市の行政情報を、今後はどのような手段で入手したいですか。
 最も利用したい手段に○をつけてください。（○は1つ）

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 45.1 広報紙 | 2.5 市役所に電話 |
| 19.3 川口市ホームページ | 8.2 特になし |
| 9.7 電子メール（川口市メール配信サービス） | 0.9 その他（自由記入） |
| 5.5 SNS（Facebook、Twitter等） | 1.9 無回答 |
| 7.0 回覧板・掲示板 | |

◆ 日本人住民と外国人住民の暮らしについておたずねいたします。

問19 市内には、約3万4千人の外国人が住んでおり、今後も増えていくことが予想されています。川口市は、日本人住民と外国人住民がお互いに理解・尊重し合い、共存する、暮らしやすい良いまちだと感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は1つ)

- | | | | |
|------|---------------|----------|---------|
| 4.2 | そう感じる | (問19-1へ) | |
| 15.1 | どちらかといえばそう感じる | (問19-1へ) | |
| 26.4 | どちらともいえない | (問19-3へ) | |
| 23.6 | あまりそう感じない | (問19-2へ) | |
| 18.0 | そう感じない | (問19-2へ) | |
| 11.1 | わからない | | 1.6 無回答 |

問19-1 問19で1、2のいずれかを選択した方におたずねいたします。
その理由についてあてはまるものに○をつけてください。
(○は2つまで) (n=332)

- | | | | |
|------|-------------------------|------|------------|
| 28.0 | 外国の言葉や異なる文化に触れる機会が増えるから | 10.2 | 特にない |
| 34.9 | 新たな視点が加わり多様性豊かな地域になるから | 3.0 | わからない |
| 15.1 | 国際的な感覚が養われるから | 4.2 | その他 (自由記入) |
| 25.9 | 少子・高齢化が進む中で、人材が確保されるから | 2.7 | 無回答 |
| 21.7 | 地域経済が活性化されるから | | |

問19-2 問19で4、5のいずれかを選択した方におたずねいたします。
その理由についてあてはまるものに○をつけてください。
(○は2つまで) (n=715)

- | | | | |
|------|--------------------------|-----|------------|
| 59.7 | 治安が悪化する(犯罪が増える)おそれがあるから | 2.1 | 特にない |
| 79.0 | 言葉や習慣、生活ルールなどでトラブルが起こるから | 1.7 | わからない |
| 11.3 | 町会・自治会などの地域活動が難しくなるから | 9.5 | その他 (自由記入) |
| 5.3 | 日本の伝統や文化が損なわれるから | 1.5 | 無回答 |
| 3.9 | 日本人の雇用機会が奪われるから | | |

問19-3 問19で3を選択した方におたずねいたします。
その理由についてあてはまるものに○をつけてください。
(○は1つ) (n=454)

- | | | | |
|------|--------------------|-----|------------|
| 7.0 | 当然そうあるべきことと考えているから | 1.3 | その他 (自由記入) |
| 32.8 | 身近に外国人がいないから | 2.6 | 無回答 |
| 47.6 | 良いところも良くないところもあるから | | |
| 8.6 | 仕方がないことと考えているから | | |

問20 外国人と日本人が共生していくためには、市は外国人住民向けにどの施策に力を入れるべきでしょうか。(Oはいくつでも)

- | | | | |
|------|-------------------------|------|---------------|
| 24.4 | 地域活動・交流イベントへの参加促進 | 10.5 | NPOなどの支援団体の育成 |
| 26.1 | 日本語教室の開催 | 26.5 | 生活相談・教育相談 |
| 76.9 | ゴミ出しなど、日常生活のルールの周知・啓発 | 3.3 | その他 |
| 56.7 | 日本の法律・法令・文化・習慣の周知 | 4.3 | 無回答 |
| 29.3 | 多言語による情報提供のためのパンフレットの配付 | | |

自由記入

自由記入欄

川口市の市政やまちづくりについて、ご意見やご要望等を自由にお書きください。

- ◆ 調査結果を統計的に分析するために必要です。ご協力をお願いいたします。
あなたご自身のことについておたずねいたします。あてはまる番号を1つ選び○をつけてください。

F1 あなたの性別は。

41.2 男性 55.6 女性 3.2 無回答

F2 あなたの年齢は。(年齢は回答日現在)

1.7 20歳未満	9.8 40～44歳	8.4 65～69歳
4.4 20～24歳	10.9 45～49歳	8.7 70～74歳
4.0 25～29歳	8.4 50～54歳	12.1 75歳以上
6.8 30～34歳	6.7 55～59歳	3.1 無回答
7.8 35～39歳	7.1 60～64歳	

F3 あなたのお生まれは。

28.6 川口市内 55.0 埼玉県外 3.4 無回答
10.8 川口市以外の埼玉県内 2.2 国外

F4 あなたの職業は、次の分類ではどれにあてはまりますか。

2.5 専門職（医師、弁護士、大学教授、僧侶など）
5.4 管理職（官公庁や事業所の重役、部課長など）
20.9 事務・技術職（一般事務員、公務員、技師、保育士、看護師など）
9.4 販売・生産・労務職（店員、工員、職人、運転手、作業員など）
0.2 農林水産業従事者
7.7 自営業・サービス業従事者
13.5 パート・アルバイト従事者
3.4 学生
16.4 家事に専念している
16.4 無職
0.8 その他（ ）
3.5 無回答

F5 F4で1～8または11を選んだ方にお伺いします。あなたの現在の勤務先、通学先は、次のうちどれにあてはまりますか。(n=1,094)

37.2	川口市内	41.5	東京都内		
13.5	埼玉県内（川口市以外）	3.6	埼玉県、東京都以外の県	4.2	無回答

F6 あなたの家族構成は、どれにあてはまりますか。

9.1	ひとり暮らし（単身世帯）	8.6	親と子と孫など（3世代以上）	
21.7	夫婦のみ	1.3	その他（	）
54.2	親と子（2世代）	5.0	無回答	

F7 あなたのお住まいは、どれにあたりますか。

54.0	持家（一戸建）
21.5	持家（分譲マンションなど集合住宅）
16.2	民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）
2.3	UR都市機構（旧公団）・公社・市営・県営の賃貸住宅・アパート
0.7	社宅・公務員住宅など給与住宅
0.3	住み込み、寮、寄宿舍など
4.9	無回答

F8 あなたは、川口市（※旧鳩ヶ谷市も含みます）にお住まいになってどのくらいになりますか。

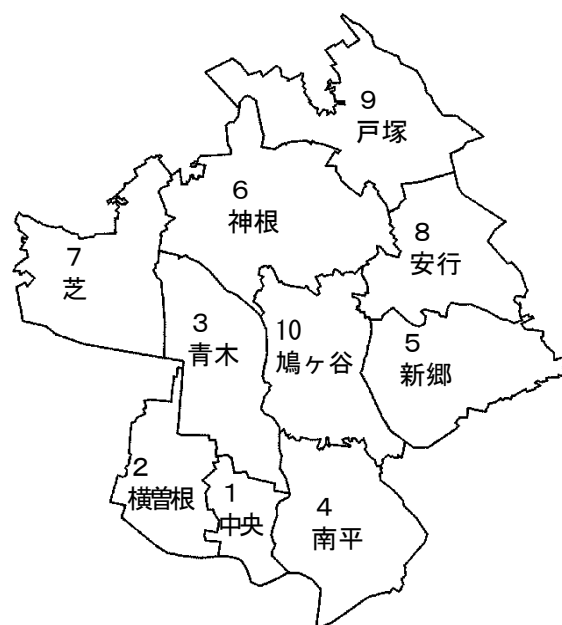
18.2	生まれてからずっと住んでいる	16.4	在住して10年以上～20年未満
11.1	在住して5年未満	10.8	在住して20年以上～30年未満
8.5	在住して5年以上～10年未満	30.5	在住して30年以上
		4.6	無回答

F9 あなたが住んでいる地域は川口市内のどちらですか。あてはまる番号に○を付けてください。

- | | | |
|------------|----------|------------|
| 8.8 中央地域 | 5.9 新郷地域 | 11.4 戸塚地域 |
| 10.7 横曽根地域 | 7.8 神根地域 | 11.5 鳩ヶ谷地域 |
| 11.9 青木地域 | 10.8 芝地域 | 4.8 無回答 |
| 10.4 南平地域 | 6.1 安行地域 | |

※回答のための住所一覧と地図です。回答は上の番号に○をしてください。

1中央地域	本町、栄町、金山町、舟戸町、幸町、川口1～3丁目
2横曽根地域	川口4～6丁目、飯塚、西川口、仲町、飯原町、原町、宮町、南町、緑町、荒川町、並木元町、並木
3青木地域	青木、中青木、西青木、上青木、上青木西、前上町、前川、南前川、前川町、本前川
4南平地域	朝日、末広、新井町、元郷、弥平、領家、東領家、河原町
5新郷地域	赤井、東本郷、蓮沼、前野宿、東貝塚、大竹、峯、新堀町、榛松、新堀、江戸、江戸袋、本蓮
6神根地域	安行領根岸、安行領在家、道合、神戸、木曾呂、東内野、源左衛門新田、石神、赤芝新田、西新井宿、新井宿、赤山、在家町、北園町、柳根町
7芝地域	芝、伊刈、芝宮根町、芝東町、芝高木、小谷場、芝中田、芝新町、芝下、芝樋ノ爪、芝富士、芝園町、芝塚原、芝西、柳崎
8安行地域	安行、安行原、安行領家、安行慈林、安行吉岡、安行藤八、安行吉蔵、安行北谷、安行小山、安行西立野、安行出羽
9戸塚地域	戸塚、西立野、長蔵新田、久左衛門新田、藤兵衛新田、行衛、東川口、差間、北原台、戸塚鋏町、戸塚境町、戸塚東、戸塚南、長蔵
10鳩ヶ谷地域	坂下町、桜町、里、辻、鳩ヶ谷本町、前田、鳩ヶ谷緑町、南鳩ヶ谷、八幡木、三ツ和



※この地域分けは、今回のアンケートだけの区分です。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査票は、返信用封筒に入れて6月22日(金)までに郵便ポストへ投函をお願いいたします。

切手は不要です。調査票及び封筒に記名の必要はありません

**総合計画のための市民意識調査
結果報告書**

平成30年8月

発行：川口市役所

〒332-8601

埼玉県川口市青木2丁目1番1号

電話：048-258-1110（代表）